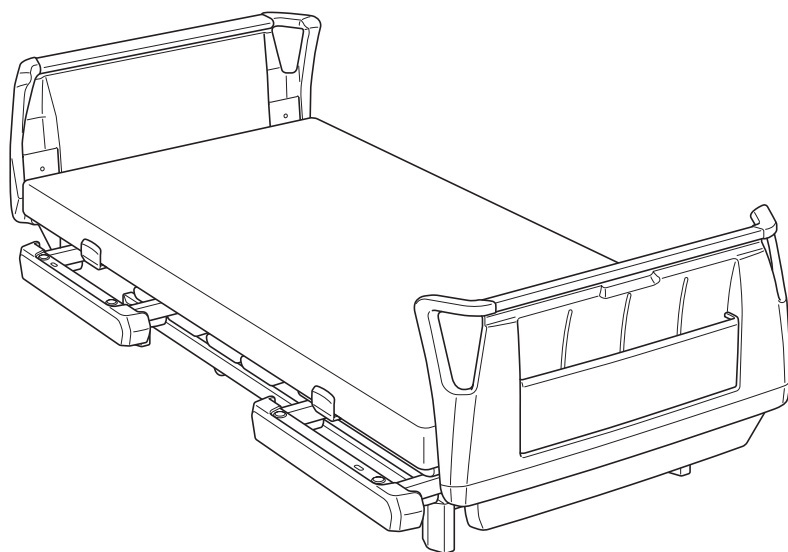




PARAMOUNT BED

介護用ベッド KQ-B6000シリーズ



※イラストは別売のマットレスを取付けた状態です。

取扱説明書

保証書別添

まえがき

このたびは、介護用ベッドKQ-B6000シリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この「取扱説明書」には、ベッドを安全にお使いいただくための注意事項と使用方法などを記載しています。

- ベッドをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- ベッドで療養する方ばかりでなく、介護する方もこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除きこの「取扱説明書」では、表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。
- このベッドは日本国内専用です。海外では電源電圧が異なるため使用できません。



↑ KQ-B6000シリーズの使いかたを確認できます。

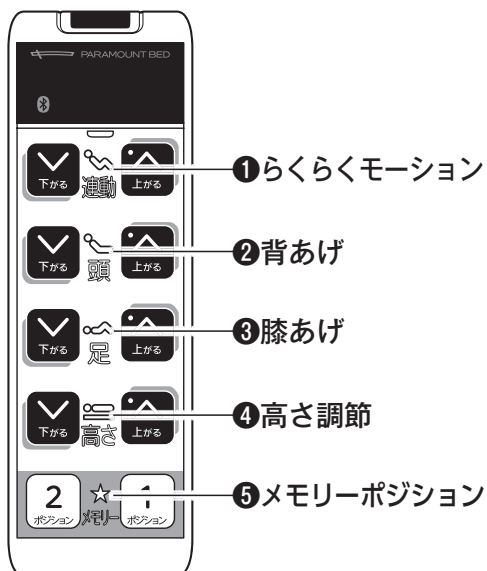


↑ 介護用ベッドの役割を確認できます。

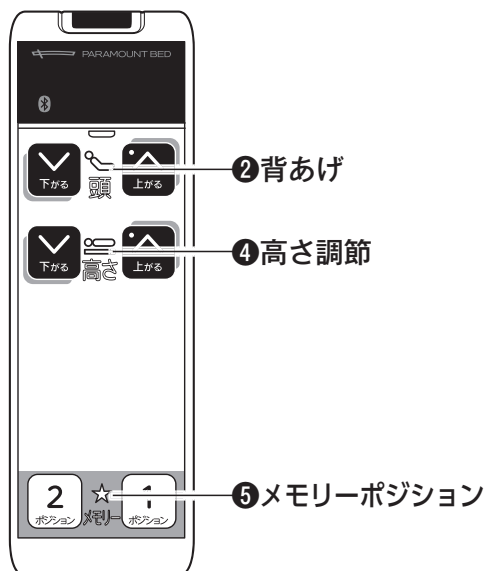
頻繁に用いる機能

KQ・B6000シリーズは、
ご家庭でベッドを使用する方の動作を助け、
介護する方の介護負担を軽くするベッドです。

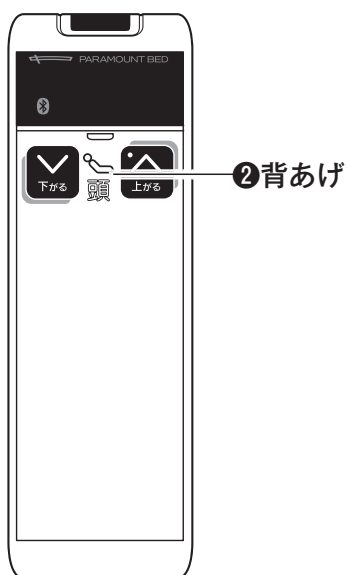
RC-1090 背・ひざ・高



RC-1690 背・高




RC-1290 背




RC-1290H 高



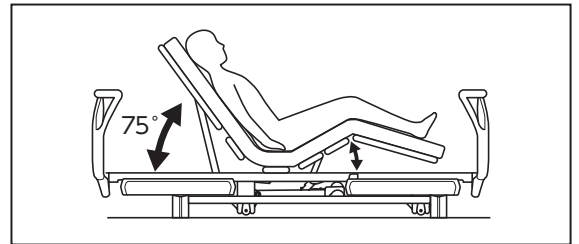
 このマークの数字は、説明のあるページを示しています。

①らくらくモーション


[ 22・23ページ]

背ボトム「あげ/さげ」と連動して、膝・足ボトムが自動で動作します。

身体のずれを大幅に軽減し、背あげ時の姿勢をしっかりと保持します。

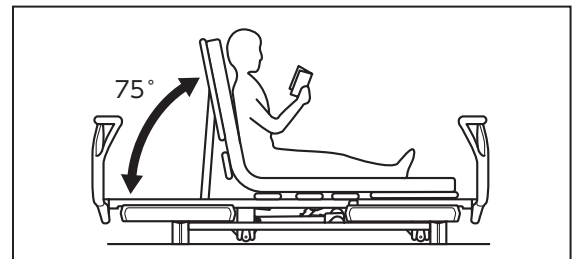


②背あげ


[ 24・29・35ページ]

背ボトムを水平から75°まで調節できます。

背をあげることでベッドからの起きあがり方がより楽に行えます。

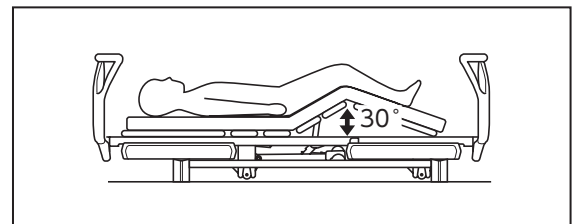


③膝あげ


[ 26ページ]

膝・足ボトムを水平から30°まで調節できます。

背あげ時に、先に膝をあげておくことで身体のずれを少なくすることができます。また、背と膝の角度を適度にあげると、身体に負担のかかりにくいより楽な姿勢がとれます。

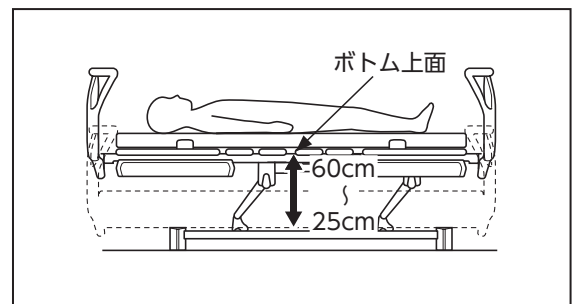


④高さ調節


[ 25・32・36ページ]

ベッドの高さを25cm～60cmまで調節できます。

低床のため、背の低い方でもかかとをしっかりとゆかに着けることができます。また、万一の転落のときにも衝撃を軽減できます。適度な高さまであげることで、介護者はより楽な姿勢で介護ができます。



⑤メモリーポジション

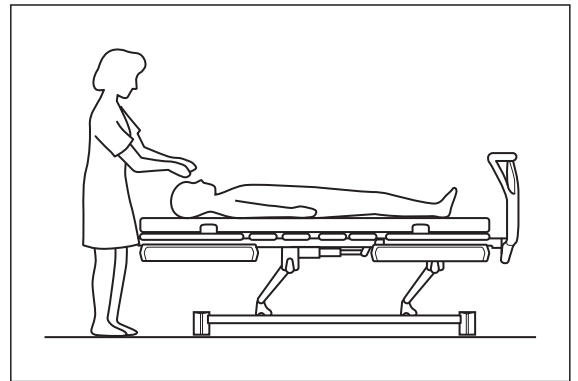
[ 43ページ]

あらかじめ設定したメモリーポジションに向けて、ベッドの背・膝の角度、ベッドの高さ(床高)を調節します。

ボードの取外しが簡単



[[図 118ページ](#)]

シーツ交換、身体の清拭、洗髪、洗顔などの介護がしやすくなります。

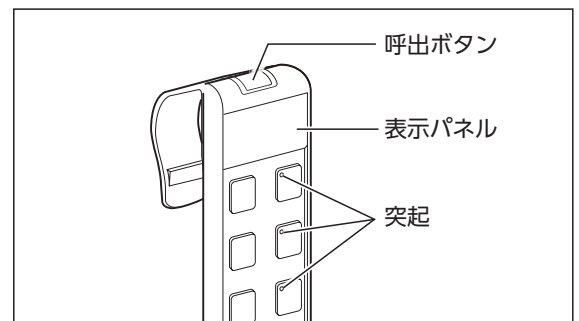


使いやすい手元スイッチ

[[図 20～45ページ](#)]

- 手元スイッチの表示パネルにベッドの状態（背の角度など）が表示され、ベッドの調節時に角度や高さが一目でわかります。
- 操作ボタンの突起により、触感で  あがる /  さがるを区別できます。
- 呼出ボタンを押すと、ブザー音で通知できます。

※呼出機能については、JIS認証範囲外となります。



スマートフォンとの連携

[[図 44ページ](#)]

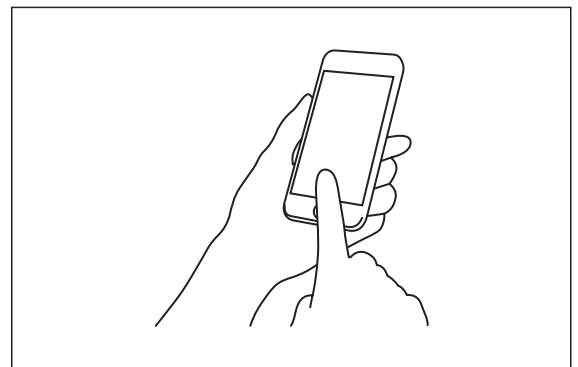
家族や介護者がお持ちのスマートフォンに専用アプリケーションをインストールし、ベッドとBluetooth Low Energy（以下、BLE）接続すると、スマートフォンと連携する以下の機能を使用することができます。

- スマートフォンでのベッド操作
- 手元スイッチの呼出ボタンでのスマートフォンへの通知

※スマートフォンとベッドとの連携については、付属のセットアップガイドをご覧ください。

※スマートフォンとの連携および呼出機能については、JIS認証範囲外となります。

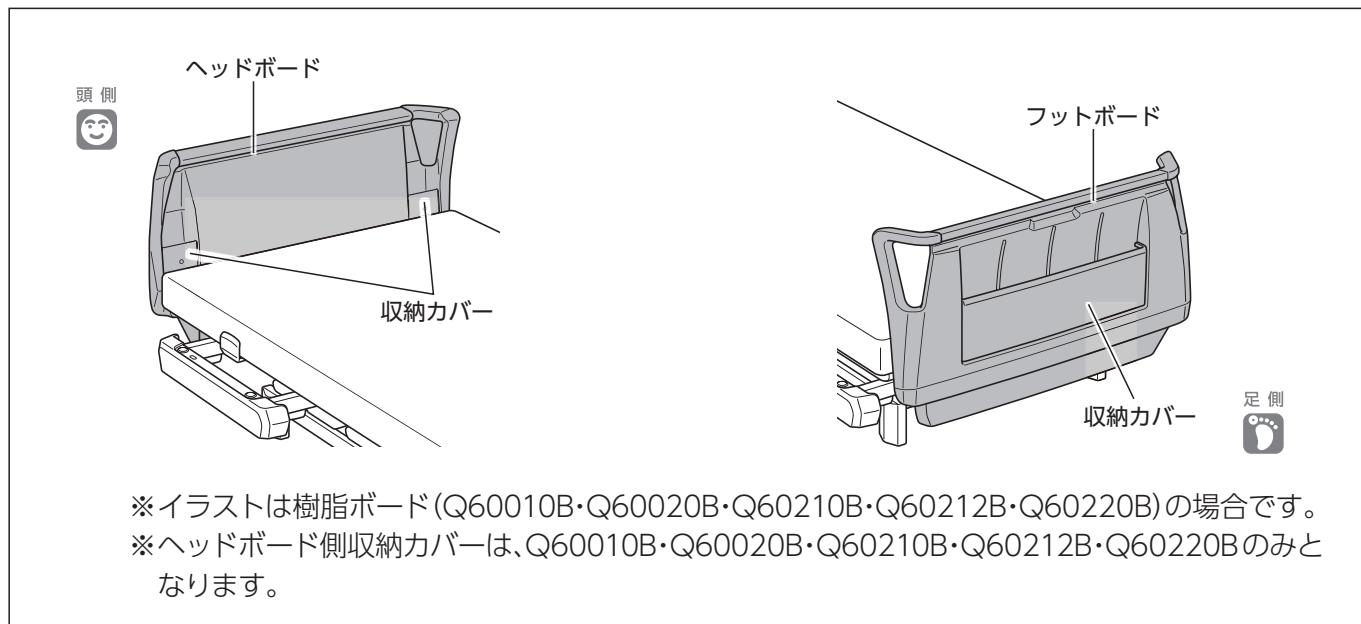
※BluetoothおよびBluetoothロゴは、米国Bluetooth SIG, Inc.の商標です。本文中における®および™は省略しています。



小物の収納が可能なボード

[47ページ]

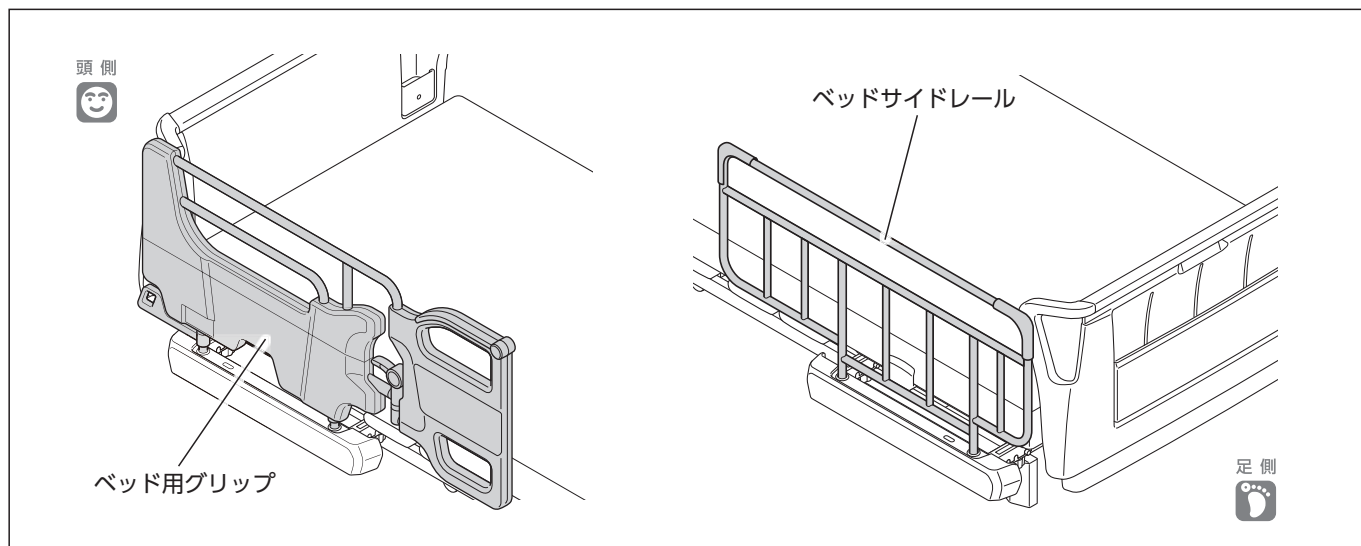
ボード(樹脂ボードのみ)には収納カバーがあり、ベッド周りの小物や取扱説明書などを入れることができます。



多彩なオプション

[52～58ページ]

身体の状態にあわせて、ベッドサイドレールやベッド用グリップなどを取付けることができます。



もくじ

1 各部の名称	7
2 安全上の注意	8~17
3 設置上の注意	18
4 手元スイッチの取付位置	19
1. 手元スイッチの配線方向について	19
2. 手元スイッチの取付けかた	19
3. コードクリップ (付属品) の使いかた	19
5 ベッドの使用方法	20
1. 手元スイッチの使いかた	20・21
2. ベッドの操作のしかた (手元スイッチ (RC-1090) の場合)	22~27
3. ベッドの操作のしかた (手元スイッチ (RC-1690) の場合)	28~33
4. ベッドの操作のしかた (手元スイッチ (RC-1290) の場合)	34・35
5. ベッドの操作のしかた (手元スイッチ (RC-1290H) の場合)	36
6. 手元スイッチによるベッドの設定のしかた	37~45
7. オプション受の使いかた	46
8. 収納カバーの使いかた	47
6 緊急時のベッド操作のしかた	48
1. 手動による背さげのしかた/戻しかた	48~50
2. スマートハンドルによるベッド操作のしかた	51
7 適合オプション	52
1. ベッドサイドレール	53
2. ソフトカバー付/クリアカバー付ベッドサイドレール	54
3-1. キャスター	54
3-2. ハイトスペーサー (延長脚)	55
4. ベッド用グリップ (スイングアーム介助バー/サイドグリップ)	55
5. ソフトカバー付ベッド用グリップ	56
6. サイドサポート	56
7. 延長フレーム (ベッド延長用具)	56
8. オーバーテーブル/アジャストテーブル	57
9. ベッドサイドテーブル	57・58
10. IVポールホルダー (樹脂ボードのみ)	58
11. 呼出受信機	58
8 適合オプションの組合せと取付位置	59
1. ベッド用グリップ (スイングアーム介助バー/サイドグリップ) を使用する場 合	59
2. ベッドサイドレールを使用する場合	60
9 マットレス (別売)	61・62
10 電動介護リフトを使用するときのご注意	63
11 定期点検と日常のお手入れ	64
1. 定期点検について	64
2. 日常のお手入れについて	64

12 故障かな?と思ったら	65・66
13 長期保管と移動(移設)	67
1. 長期保管について	67
2. 移動(移設)について	68
14 仕様	69
1. ベッド本体	69・70
2. 電装品	71
組立・分解方法	72~129
アフターサービス	130

おことわり

7ページ「**1** 各部の名称」以降、本文中に記載の名称を一部以下のように略しております。

ベッド用グリップ (スイングアーム介助バー / サイドグリップ)
 ➡ベッド用グリップ

この取扱説明書に記載されているマークについて



注記について

このマークは、特に重要な内容や間違えやすい内容、注意点などを記載していることを表しています。

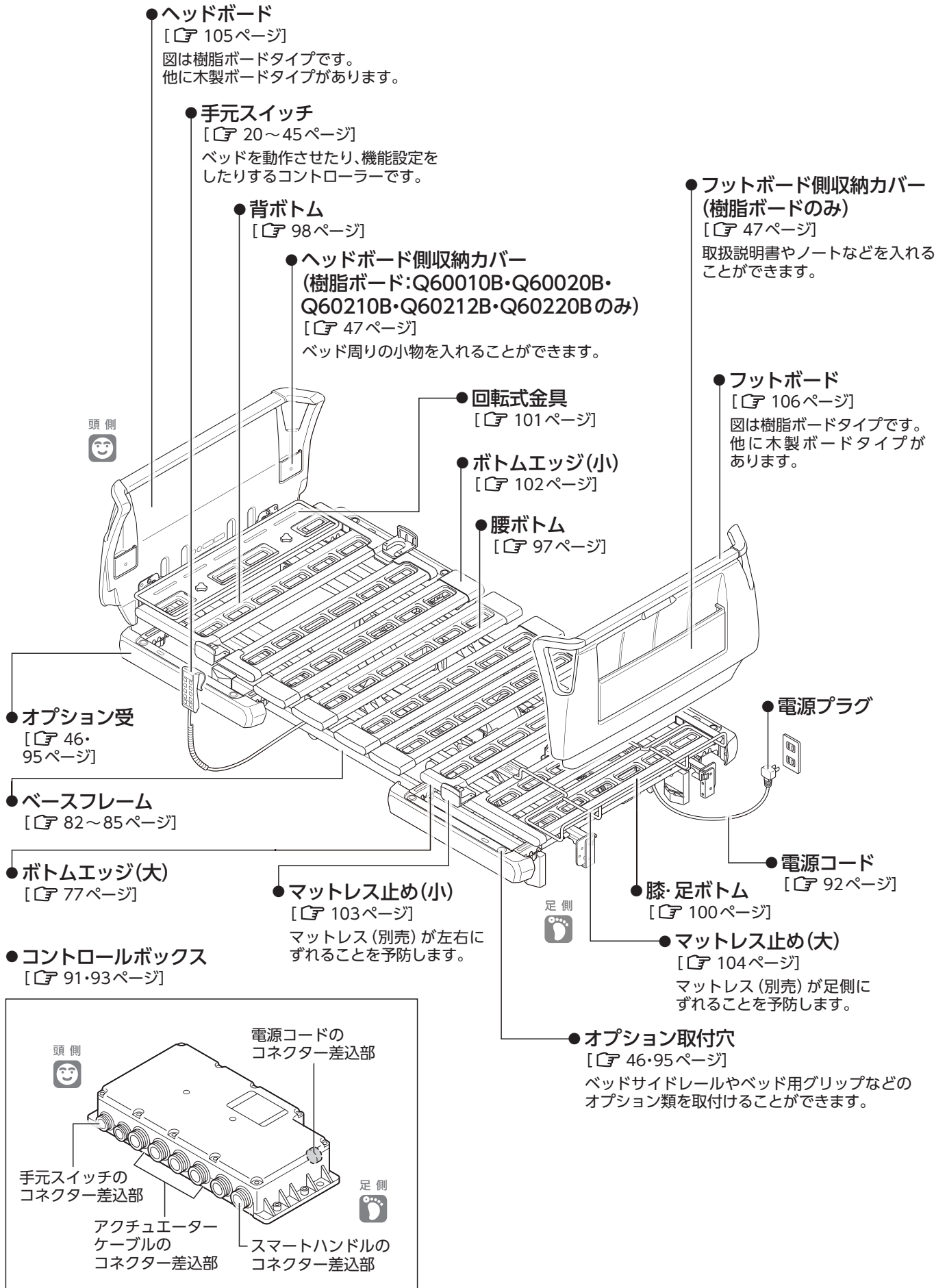
頭側 足側



について

このマークは、ベッドの方向(頭側と足側)を表しています。

1 各部の名称



2 安全上の注意

必ずお守りください

ご使用の前に、必ずこの「安全上の注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度に応じて「警告」と「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

※取扱説明書をお読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷(骨折・圧迫・麻痺など)を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷(打撲・すり傷・切り傷など)を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

『安全上の注意』などに記載の項目で、特に【すき間に関する注意】は、生命にかかわる重大な事故につながる可能性のある重要な項目です。本取扱説明書とあわせ、製品に別添の『すき間および電装品についての注意事項』を必ずお読みいただき、正しく安全にお使いください。なお、特に予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

安全ラベルについて

注意事項の中で、ベッドを使用する方に特に注意していただきたい項目をラベルにしてフットボードの内側、フットボード側収納カバー、電源コード、オプション受に貼ってあります。

※木製ボードにはフットボード側収納カバーはありません。

警告

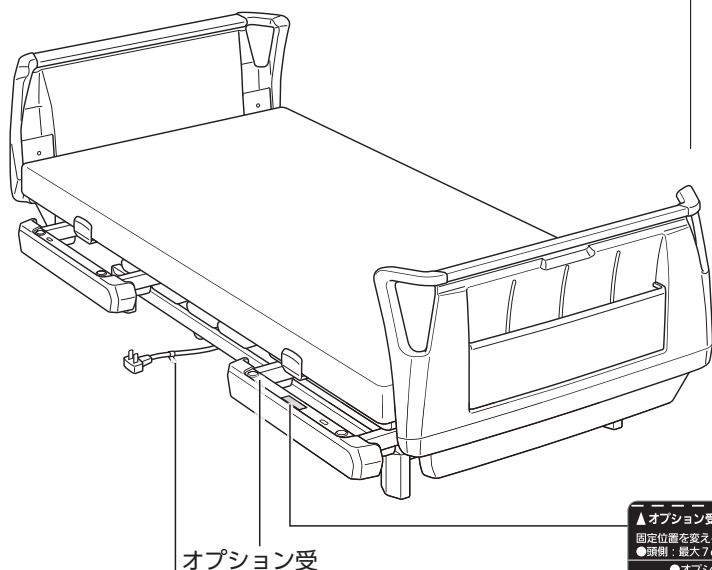
ベッドをお使いになる前に、安全ラベルをよく読んで、内容を理解した上でご使用ください

思わぬけがや故障の原因となります。

注意

安全ラベルは、はがしたり傷つけたりしないでください

安全ラベルが傷ついたりはがれたりした場合は、販売店から新しい安全ラベルを取寄せ、貼り直してください。



▲オプション受引き出し位置▲ オプション受を使用するときは、マットを止めと上の欄を必ずご確認ください。
固定位置を変えることで、オプション受の幅を調節することができます。
●頭側：最大7cm〈片側3.5cm〉 ●足側：最大12cm〈片側6cm〉
●オプション受は、くぼみを突起に掛けてフナットで確実に固定してください。
●取扱説明書に記載のサイドレールおよびベッド用クリップなどを使用してください。 (P.12) (1000)

※必ずお読みください
この取扱説明書には、製品の安全に重要な注意事項が記載されています。必ずお読みください。
●電源プラグやコードに無理な力を加えないでください。 ●ベッドの電動部でコードをはさまないよう配線してください。 ●電源プラグを抜くときはコードでなく先端のプラグを持って抜いてください。 ●電源プラグまたはコードが破損し、感電・火災のおそれがあります。

2 安全上の注意

必ずお守りください

安全上の注意

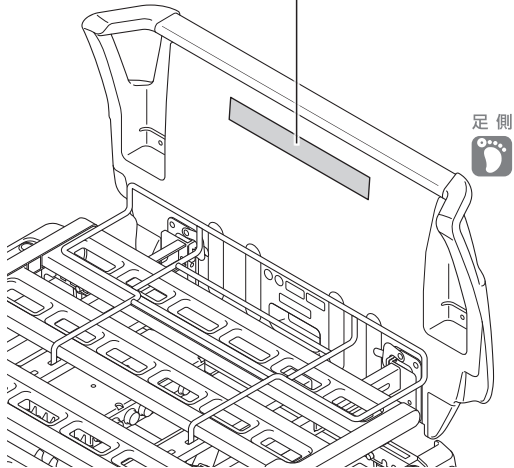
樹脂ボード(Q60010B・Q60020B・Q60210B・Q60212B・Q60220B)

木製ボード：グリップ(Q6006*B・Q6026*B)

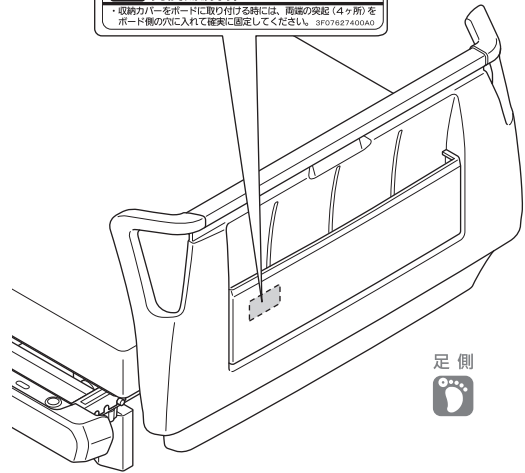
木製ボード：スクエア(Q6007*B・Q6027*B)

樹脂ボード(Q60010B・Q60020B・Q60210B・Q60212B・Q60220B)

※各期(4)に注意してください。
警告 ●オプショナルイーゼルやベッド用の脚を付けた状態で、ベッドの裏面を壁や天井に固定しないでください。固定する場合は、必ず壁や天井の強度を確認してください。また、固定する場合は、必ず壁や天井の強度を確認してください。また、固定する場合は、必ず壁や天井の強度を確認してください。
 ●安全動作荷重：174kg ●最大利用者体重：138kg ●ベッド・オプションを正しく安全に取付けた状態で、ご使用ください。必ず取扱説明書をお読みください。



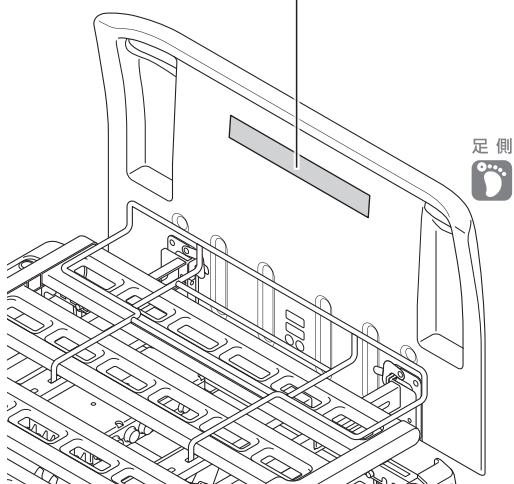
容量：幅51cm×高さ25cm×厚み3cm、重さ1kgまで
警告 ●収納カバーに寄りかかったり、手でつかまったり、手をかけたりしないでください。不意に外れ、転落などによるけがのおそれがあります。
注意 ●記載の容量以上のものを入れたり、収納カバーにももの引っかかりたりしないでください。収納カバーがボードから外れ、収納したものが落下して破損するおそれがあります。
 ●収納カバーをボードに取り付ける際には、両側の突起(4ヶ所)をボード側の穴に入れて確実に固定してください。SF07627400A0



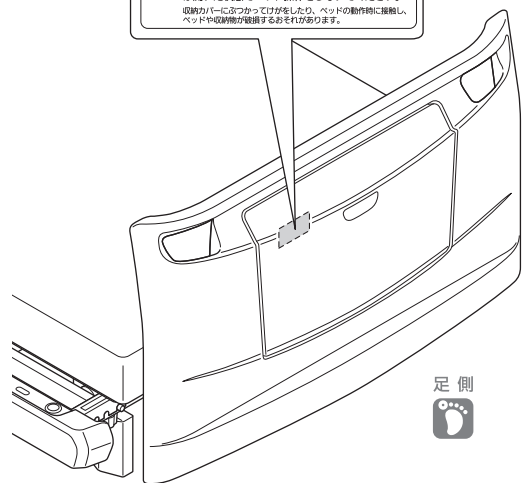
※イラストは樹脂ボード(Q60010B・Q60020B・Q60210B・Q60212B・Q60220B)の場合です。

樹脂ボード(Q60050B・Q60250B)

※各期(4)に注意してください。
警告 ●オプショナルイーゼルやベッド用の脚を付けた状態で、ベッドの裏面を壁や天井に固定しないでください。固定する場合は、必ず壁や天井の強度を確認してください。また、固定する場合は、必ず壁や天井の強度を確認してください。また、固定する場合は、必ず壁や天井の強度を確認してください。
 ●安全動作荷重：174kg ●最大利用者体重：138kg ●ベッド・オプションを正しく安全に取付けた状態で、ご使用ください。必ず取扱説明書をお読みください。



容量：幅43cm×高さ27cm×厚み5cm、重さ1kgまで
警告 ●収納カバーをボードに取り付ける際には、両側の突起(4ヶ所)をボード側の穴に入れて確実に固定してください。SF076250A0
 ●収納カバーに寄りかかったり、手でつかまったり、手をかけたりしないでください。不意に外れ、転落などによるけがのおそれがあります。
注意 ●記載の容量を超えるものを入れたり、収納カバーにももの引っかかりたりしないでください。収納カバーがボードから外れ、収納カバーや収納物が落下・破損し、けがをするおそれがあります。
 ●収納カバーを挿した状態のままにしたり、収納カバーが開いた状態でベッド操作をしないでください。収納カバーにぶつかってけがをしたり、ベッドの動作時に破損し、ベッドや収納物が破損するおそれがあります。



本製品では、以下のシンボルが使用されています。

	PSE マーク
	保護等級
	安全動作荷重
	最大利用者体重
	JIS マーク

警告

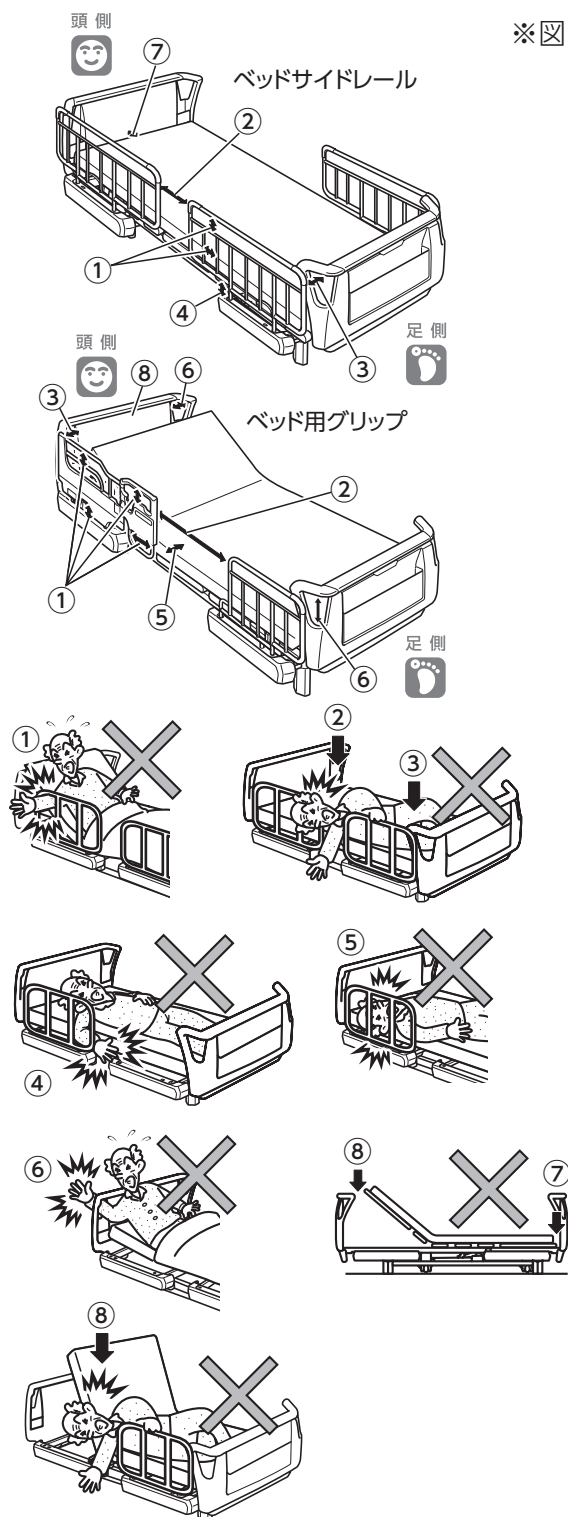
組合せについて

ベッドに直接取付けて使用するベッドサイドレール、マットレスなどは、弊社が指定する適合品をお使いください

指定以外の製品や他社製品と組合せると、意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、けがをしたり、ベッドが故障したりするおそれがあります。

すき間について

※図は一例



すき間に注意してください

- ベッドやベッドサイドレール・ベッド用グリップなどにはすき間があります。また、ベッドサイドレールやベッド用グリップなどを組合せるとすき間ができます。これらのすき間に身体の一部（特に頭や首など）がはさまれると、けがをするおそれがあります。
- 下記の項目に注意してください。

- ① ベッドサイドレールなどの内部のすき間
- ② 2本のベッドサイドレールなどの間のすき間
- ③ ベッドサイドレールなどとボードのすき間
- ④ ベッドサイドレールなどとボトム・マットレスのすき間（高さ方向）
- ⑤ ベッドサイドレールなどとボトム・マットレスのすき間（幅方向）
- ⑥ ボード内部のすき間
- ⑦ ボードとマットレスのすき間
- ⑧ あがっているボトムとボード・ベッドサイドレールなどのすき間

など

- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。
- ベッドサイドレールやベッド用グリップは、59・60ページ「**8**適合オプションの組合せと取付位置」を参照して、正しい組合せでご使用ください。

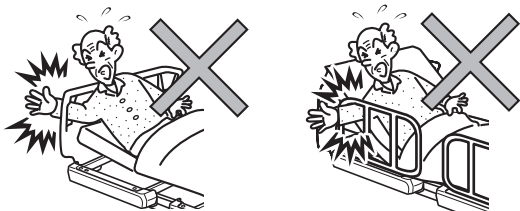
2 安全上の注意

必ずお守りください



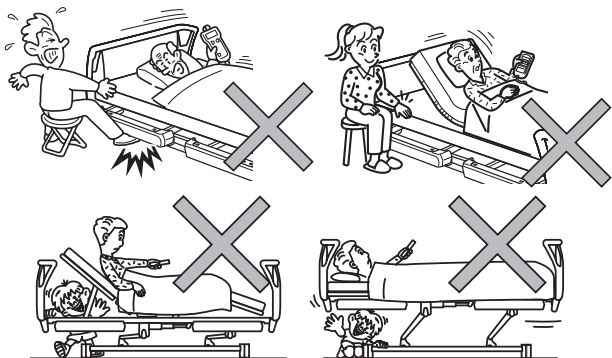
ベッド操作について

身体の一部がすき間に入った状態で、ベッドの操作をしないでください



- すき間にはさまれて、けがをするおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

ベッド操作を行う際は、動く部分に身体の一部を入れないでください



- ベッドの可動部とフレームやボード・ベッドサイドレール・ベッド用グリップなどとの間にはさまれて、けがをするおそれがあります。
- ベッドの操作を行う際は、ベッドの下や内部および周りに人や障害物がないことを確認してください。
- ベッドの操作を止めたい場合は、手元スイッチの操作ボタンから手を離してください。

ボトム角度やベッドの高さを調節するときは、ベッドを使用する方の状態に注意してください

- ベッドを使用する方がボトム角度やベッドの高さを調節中に動くと、ベッドから転落したり、すき間にはさまれたりして、けがをするおそれがあります。
- 特に体位を自分で保持できない方の場合は、身体を支えながら操作してください。

ベッドは正しい向き・姿勢で使用してください



- ベッドの頭側・足側を間違えて寝た状態で背あげ・膝あげ動作を行うと無理な姿勢となり、けがをするおそれがあります。
- うつ伏せや横向き（仰向け以外）で寝た状態での角度調節は、関節を逆に曲げることになり、けがをするおそれがあります。

操作が理解できないと思われる方（12歳以下のお子様や認知症の方など）に操作させないでください

- 誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。1人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。
 - 操作禁止ボタンで手元スイッチの操作ボタン（すべての操作ボタンまたは各動作部位の操作ボタン）をロック（操作禁止）する。（操作方法は42ページ参照）
 - 電源プラグを抜く。

介護者の方などがベッドから離れたり、ベッドを使用する方から一時的に目を離したりするときは、ボトムの角度やベッドの高さに注意してください

万一のベッドからの転落に備え、使用する方の状況に応じて、ボトムの角度を水平にしてベッドの高さを最低高さにしてください。



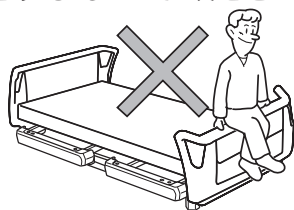
ベッド操作について(つづき)

スマートフォンと連携して、ベッドの操作や設定を行う際は、使いかたに十分に注意してください

- スマートフォンによるベッドの操作や設定は、ベッドが見える位置で行ってください。意図せぬベッドの動作や設定変更により、予期せぬ事故が発生するおそれがあります。
 - 操作が理解できないと思われる方(12歳以下のお子様や認知症の方など)に操作をさせないでください。意図せぬベッドの動作や設定変更により、予期せぬ事故が発生するおそれがあります。
- ※スマートフォンとの連携については、JIS認証範囲外となります。

転落・転倒について

ベッドサイドレール・ベッド用グリップやヘッドボード・フットボードなどに腰掛けたりしないでください

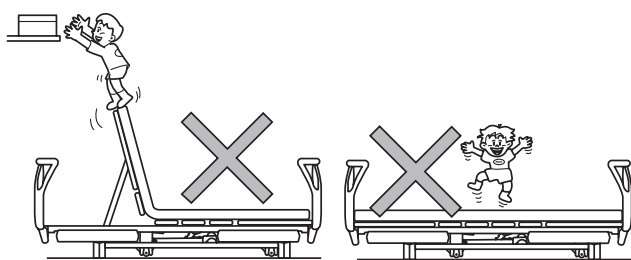


ベッドから転落・転倒してけがをしたり、ベッドやベッドサイドレール・ベッド用グリップなどが破損・変形して、けがをしたりするおそれがあります。

あがった状態の背ボトムを手すり代わりにしないでください

つかまったり、立ちあがったりするときなどに支えとして使用すると、背ボトムが倒れ、転倒してけがをするおそれがあります。

ベッドを踏み台がわりにしたり、ベッドの上で飛び跳ねたりしないでください

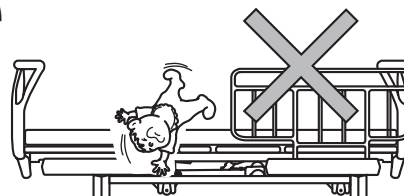


ベッドから転落・転倒したり、ベッドが故障したりするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

端座位や離床の際は、ベッドの高さに注意してください

高さがあがった状態の場合、足がゆかに着かずに転落・転倒して、けがをするおそれがあります。

乳幼児やお子様には使用しないでください



- 本製品は乳幼児やお子様向けに設計されていません。ベッドサイドレールなどのすき間に身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。
- ベッドサイドレールを使用してもすき間から転落して、けがをするおそれがあります。

ベッドに勢いよく乗らないでください

ベッドから転落・転倒したり、ベッドが破損・変形したりして、けがをするおそれがあります。

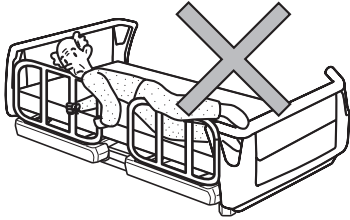
2 安全上の注意

必ずお守りください



転落・転倒について(つづき)

ベッドサイドレール使用時もベッドからの転落に十分注意してください



- ベッドサイドレールとベッドサイドレール、各ボードとベッドサイドレールのすき間から転落し、けがをするおそれがあります。
- ベッドサイドレールの上から身を乗り出して転落し、けがをするおそれがあります。厚みのあるマットレスを使用する場合は、ご注意ください。
- ベッドの背をあげた状態で使用される場合は、転落予防としての効果を十分に発揮できないおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

介護者の方などがベッドから離れたり、ベッドを使用する方から一時的に目を離したりするときは、ボードを外したままベッドを使用しないでください

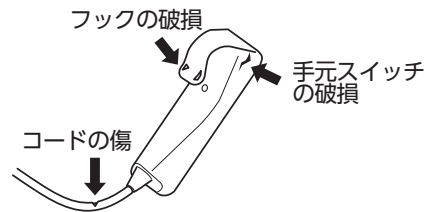
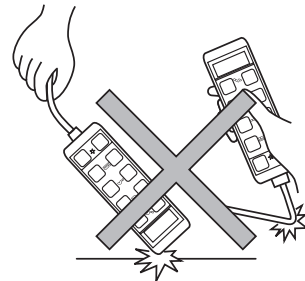
ベッドから転落・転倒して、けがをするおそれがあります。

ベッドの下にもものを置かないでください

- ベッドの高さを下げたとき、ものに当たるとベッドの一部が持ちあがり、転落・転倒してけがをするおそれがあります。
- ベッドがさがっているときに、ものに引っ掛かったままさがると、引っ掛かっていたものが外れた際にベッドの高さが急にさがり、転落・転倒してけがをするおそれがあります。

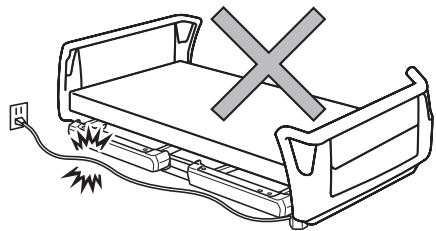
電装品について

手元スイッチなどの電装品の取扱いに注意してください



- ベッドが誤作動してけがをしたり、故障したりする原因となります。また、感電・火災のおそれがあります。
 - ・ぶつかけたり傷をつけたりしないでください。
 - ・落としたり、コードを無理に引っ張ったりしないでください。
- 傷んだ手元スイッチなどの電装品は、修理(交換)を依頼してください。

コード類(電源コードなど)を傷つけないでください



- コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。
 - ・ベッドの可動部でコード類をはさまないようにしてください。
 - ・コード類に重いものを置いたり、無理な力を加えたりしないようにしてください。
 - ・ベッドでコード類を踏みつけしないでください。
- 傷んだコード類は修理(交換)を依頼してください。



警告

電装品について(つづき)

電源コードや手元スイッチのコードに、足を引っ掛けないようにしてください

- プラグやコードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
- 転倒して、けがをするおそれがあります。

ベッド・適合オプション以外のコード類は、ベッド内部を通さないでください

- コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。
- やむを得ずその他の機器のコードをベッド内部やベッドの下を通す場合は、ベッドの可動部などでコードを圧迫するなどしないでください。

電子治療器を使用するときは、電源プラグを抜いてください

電子治療器（マイクロ波治療器、超短波治療器など）を同時に使用した場合、ベッドの故障や誤動作の原因となります。

なお、他のME機器と併用するときは、安全をご確認の上ご使用ください。

お手入れや掃除などの際は、電源プラグを抜いてください

誤操作によりベッドが動作し、けがをするおそれがあります。

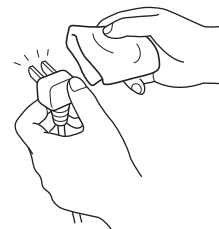
電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜いてください

電源コードのみを持って引き抜くとコードが傷んで、感電・火災のおそれがあります。

電源プラグに無理な力を加えないでください

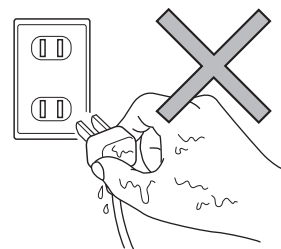
電源プラグが破損し、感電・火災のおそれがあります。

電源プラグにほこりを付着させないでください



- 湿気などで絶縁不良となり、感電・火災のおそれがあります。
- 電源プラグにほこりなどが付着した場合は、乾いた布などでよく拭き取ってください。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください



感電したり、故障したりするおそれがあります。

アクチュエーター（モーター）や手元スイッチなどの電装品に、水などをかけないでください

感電したり、故障したりする原因となります。誤って水などをかけてしまった場合は、電源プラグをコンセントから抜き、パラテクノコールセンター（130ページ参照）までご連絡ください。

2 安全上の注意

必ずお守りください



点検・修理について

お客様による修理・改造はしないでください

- 意図せぬすき間の発生や異常動作などにより、けがをするおそれがあります。
- JIS認証製品は、JISで定められた構造・性能が変更されるような改造を行った場合はJIS認証製品としての取扱いができなくなります。

■ ベッドは定期的に点検してください

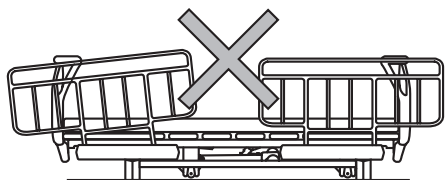
使用の頻度や環境により、製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ、可動部の動作、破損の有無などを点検してください。思わぬけがをするおそれがあります。

被災したベッドは点検・修理を依頼してください

地震・火災・水害などで被災したベッドは、テクノコールセンター（130ページ参照）まで、点検・修理をご依頼ください。感電・火災の原因となったり、ベッドの動作異常で、けがをしたりするおそれがあります。

その他

ベッドサイドレール・ベッド用グリップなどを取付けるときは、正しい向きで取付けてください



- ベッドから転落したり、意図せぬすき間に、身体の一部がはさまれたりしてけがをするおそれがあります。
- 誤った向きで取付けたり、オプション取付穴に異物が入っていたりすると確実に差込むことができず、ベッドサイドレール・ベッド用グリップなどが不意に外れるなどして、けがをするおそれがあります。正しい向きでの取付けかたについては、各オプションの「取扱説明書」を参照してください。
- 誤った向きでは、ベッドの頭側・足側から大きくとび出る場合があります。けがをするおそれがあります。
※ミニタイプは、通常取付状態でも最大2cmとび出しますが正常です。

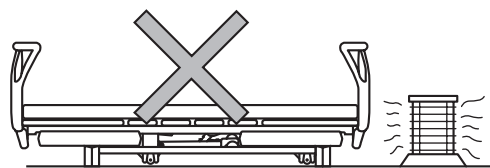
■ ベッドと壁や周りのものとのすき間にはさまれないように注意してください

- 身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。
- 特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

■ オプションや突起物に衣類などが絡まないように注意してください

- 衣類などが絡まった状態でベッドを操作すると、けがをするおそれがあります。
- ベッドの乗り降りなどのときに転倒して、けがをするおそれがあります。

■ 火気に近づけないでください



ベッドの近くで、ストーブなどの熱器具を使用しないでください。変質・変形・火災などの原因となります。

警告

その他(つづき)

ベッドを使用する方の容体にあわせて使用し、治療中の方は医師に相談をしてください

- ベッドの操作により容体を悪化させる可能性があります。
- ベッドのご使用に際して不安や疑問があるときは、かかりつけの医師にご相談ください。

オプション受はベッドの幅(83cm/91cm)にあわせて正しい位置、正しい向きで使用してください。また、オプション受の位置を調節するときは、指や手をはさまれないように注意してください

誤った位置や向きで使用すると、ベッドとベッドサイドレール・ベッド用グリップなどの間に意図せぬすき間ができ、はさまれて、けがをするおそれがあります。(設定方法は46ページ参照)

ボトムエッジ・マットレス止め(小)は、使用されるベッドの幅(83cm/91cm)にあわせて、正しい位置、正しい向きで使用してください

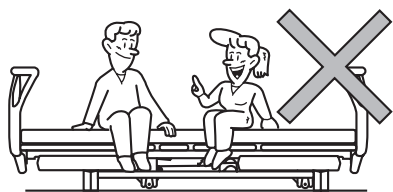
誤った位置や向きで使用すると、ベッドとベッドサイドレール・ベッド用グリップなどの間に意図せぬすき間ができ、はさまれて、けがをするおそれがあります。(設定方法は102・103ページ参照)

回転式金具・マットレス止め(大)は、使用されるベッドの長さ(ミニ/レギュラー/延長フレーム使用時)にあわせて、正しい位置、正しい向きで使用してください

誤った位置や向きで使用すると、ボトムとボードなどの間に意図せぬすき間ができ、はさまれて、けがをするおそれがあります。(設定方法は101・104ページ参照)

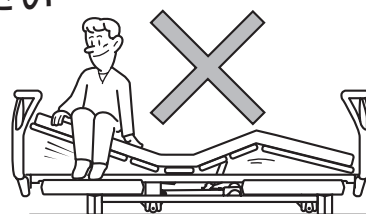
注意

2人以上で使用しないでください



- このベッドは1人用の設計になっています。2人以上で使用すると、ベッドが破損してけがをするおそれがあります。このベッドの最大利用者体重は138kgです。一時的に、介護者がベッドに乗る必要がある場合は、次の点を確認してください。
 - ベッドに乗る方の合計体重が138kgを超えていないこと。
 - ボトムがさがってフラットになり、最低高さになっていること。
- 介護者がベッドに乗る機会の多い場合は、お買い上げの販売店またはパラテクノコールセンター(130ページ参照)に依頼して、1年に1回程度、ベッドの定期点検を受けてください。

あがっているボトムに乗らないでください



ボトムの支持部に大きな力がかかり、破損・変形の原因となります。

ベッドに安全動作荷重を超える荷重を加えないでください

ベッドが破損してけがをするおそれがあります。このベッドの安全動作荷重は174kg(1700N)です。安全動作荷重は、ベッドを安全に使用できる荷重であり、利用者体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重です。

2 安全上の注意

必ずお守りください

注意

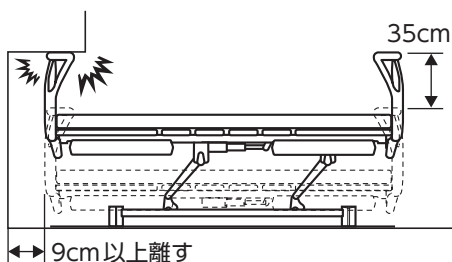
スプレータイプの殺虫剤を、ベッドに直接噴射しないでください

殺虫剤に含まれる溶剤によって、ベッドが破損・変色・溶解するおそれがあります。また、破損・溶解した部分で思わぬけがをするおそれがあります。

手元スイッチ操作時は周囲を確認してください

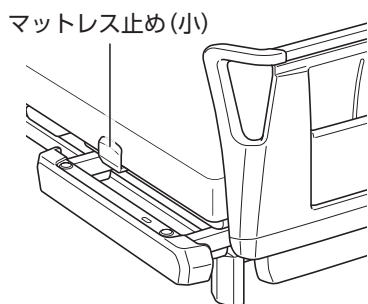
手元スイッチ操作によって周囲のものを破損させたり、ベッドが破損・変形する原因となったりします。

高さ調節をするときは、壁や梁、壁のコンセントに気をつけてください



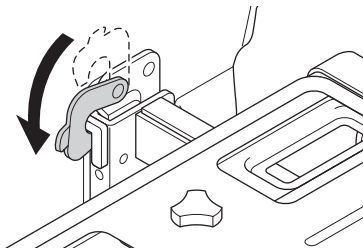
- ベッドや壁・ゆかなどが破損・変形するおそれがあります。ベッドは高さ調節操作で上下に35cm動きます。ご使用のときには、ベッド動作でベッドが壁や梁、電源プラグに当たらないことを確認してください。
- ベッドは高さ調節のときに前後に動作するため、壁から9cm以上離して設置してください。

移乗のときなどに、マットレス止め(小)に身体をぶつけないように注意してください



けがをするおそれがあります。

ヘッドボード・フットボードはボードストッパーを掛けてください



ボードの取付けが不完全な場合、身体を支えるためボードにつかまったときやベッド移動でボードを押す(引く)ときなどに不意に外れ、転倒などによるけがのおそれがあります。(105ページ参照)

木製のボードに濡れたタオルなどをかけたり、加湿器などの蒸気を直接あてないでください

ボードが破損・変質するおそれがあります。水分などが付いた場合は、乾いたタオルなどですみやかに拭き取ってください。

ボード受を持ってベッドを移動させないでください

ボード受の一部分に触れるとけがのおそれがあります。

キャスターを使用する場合は、ベッドを長距離移動させないでください

キャスターが破損する原因となります。

車いすを使用する場合は、ベッドにぶつからないように注意してください

車いすやベッドが破損するおそれがあります。

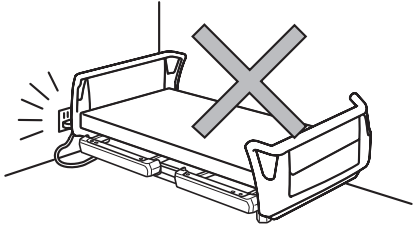
3 設置上の注意

必ずお守りください

警告

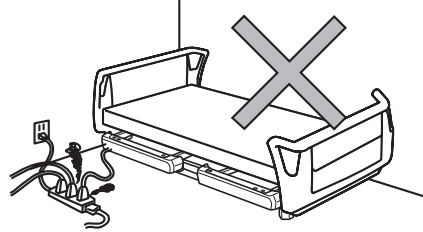
■ ベッドを設置するにあたって、下記の注意事項を守ってください。
ベッドは、一度組立てますと、部屋の中での移動、向きの変更が困難な場合があります。

電源プラグの抜き差しができなくなる場所には、ベッドを設置しないでください



- 誤操作を防止するために、電源プラグを抜くことが必要になる場合があります。
- 誤操作によるけがをするおそれがあります。

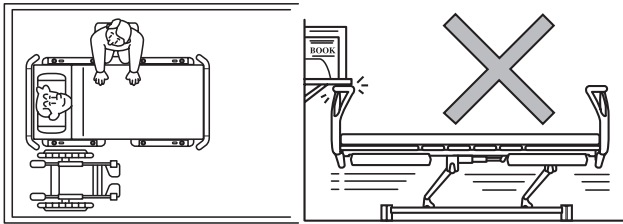
ベッドの電源は直接コンセントからとり、タコ足配線は行わないでください



コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用すると、電源コードや電源プラグが発熱して火災のおそれがあります。

注意

■ ベッド周辺のスペースを確保してください

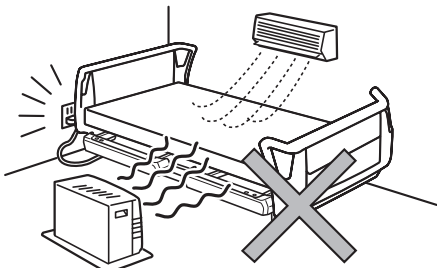


- ベッドを使用する方がベッドから起きあがる場合に、ベッドの左右どちら側からの乗り降りが可能か、車いすをご使用の場合は、ベッドのどちら側で使用するかによって、必要なスペースを確保してください。壁やものなどを傷つけるおそれがあります。
- 介護する方がベッド周りで介護をするためのスペースをどれだけとるか（シーツ交換だけか、おむつ交換・着替え・洗髪・歯磨き・食事の介助などがどうかによってベッドの周囲をどれだけあけるか）を考慮してください。
- ベッドを操作する際、周りの家具備品、部屋の構造物などに当たらないことを確認してください。家具備品や構造物などが破損するおそれがあります。

ベッド使用時に、ゆかにかかる荷重に耐えられる場所に設置してください

ベッドの質量は最大88.5kgです。寝具およびオプションやベッドを使用する方の体重を加えた総質量が、ベッド使用時にゆかにかかる荷重となります。この荷重に耐えられる場所に設置してください。ゆかなどが破損するおそれがあります。

故障の原因となりますので、次のような場所への設置は避けてください



- 直射日光のあたる場所
- 冷暖房器による冷気や暖気が直接あたる場所
- 過度の水蒸気や油蒸気のかかりやすい場所
- 高温・多湿・低温・乾燥した場所
- ほこり・煙・塩分・イオウ分・腐食性物質などの多い場所
- 換気の悪い場所
- 振動や衝撃のある場所
- ゆかが水平でない場所

結露の原因となるので、次のような場所での使用に注意してください

- 温度が低い場所
- 湿度が高い場所
- 短時間での寒暖の差が大きい場所

※上記の場所でご使用される場合は、次のことをおすすめします。

- 清拭タイプマットレスの使用（61・62ページ参照）
- 定期的な換気

4 手元スイッチの取付位置

1.手元スイッチの配線方向について

手元スイッチは、ベッドの左右どちら側で使用するかによって、コードの配線方向が異なります。93ページを参照して、必ず正しい配線方向に配線してください。

2.手元スイッチの取付けかた

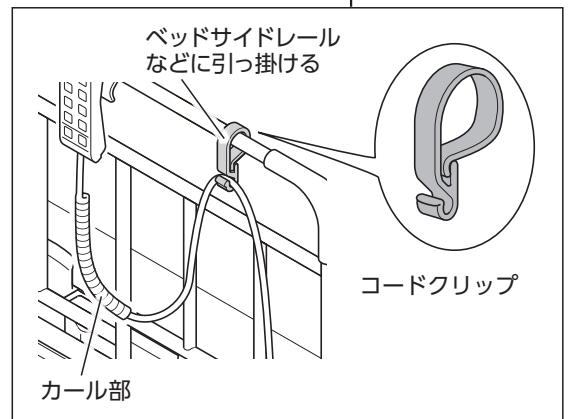
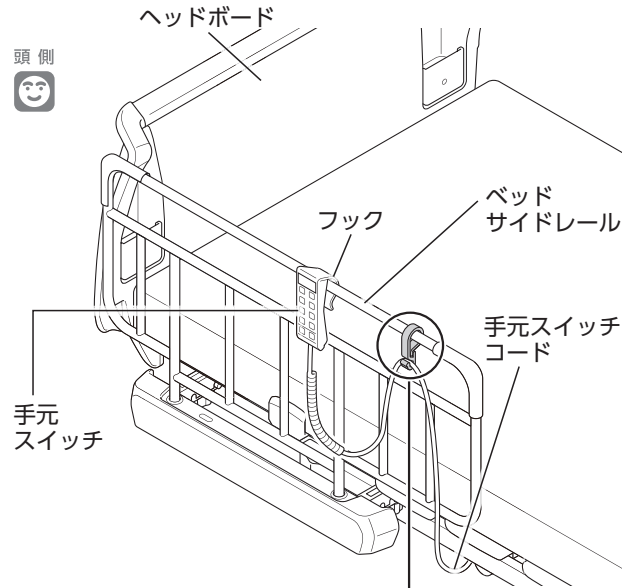
手元スイッチを使用しないときは、ボードまたはベッドサイドレールなどの外側に手元スイッチのフックを掛けてください。

3.コードクリップ(付属品)の使いかた

コードクリップを手元スイッチコードに取付け、ベッドサイドレールなどに引っ掛けることで、コードがゆかに着くことを予防できます。

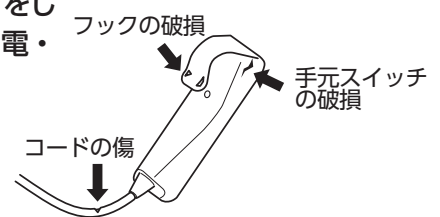
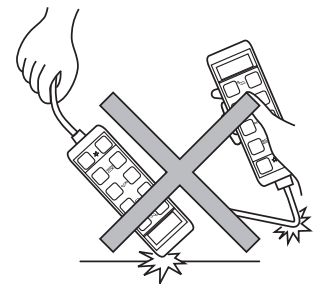


- コードクリップは、乗り降りの妨げにならない位置に取付けてください。
- コードクリップは、手元スイッチコードのカール部が常に引っ張られた状態にならない位置に取付けてください。



警告

- 手元スイッチを使用しないときは、ボードもしくはベッドサイドレールなどの外側に掛けてください。それ以外の場所に掛けると誤って操作ボタンが押され、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。
- 手元スイッチをベッド内側に掛けた状態で操作しないでください。ボトムとベッドサイドレールなどのすき間に手(指)をはさまれてけがをしたり、手元スイッチが破損・変形したりするおそれがあります。
- 手元スイッチの取扱いに注意してください。ベッドが誤動作してけがをしたり、故障したりする原因となります。また、ショートなどによる感電・火災のおそれがあります。
 - ・ぶついたり、傷つけたりしないでください。
 - ・落としたり、コードを無理に引っ張ったりしないでください。
- 傷んだ手元スイッチは修理(交換)を依頼してください。



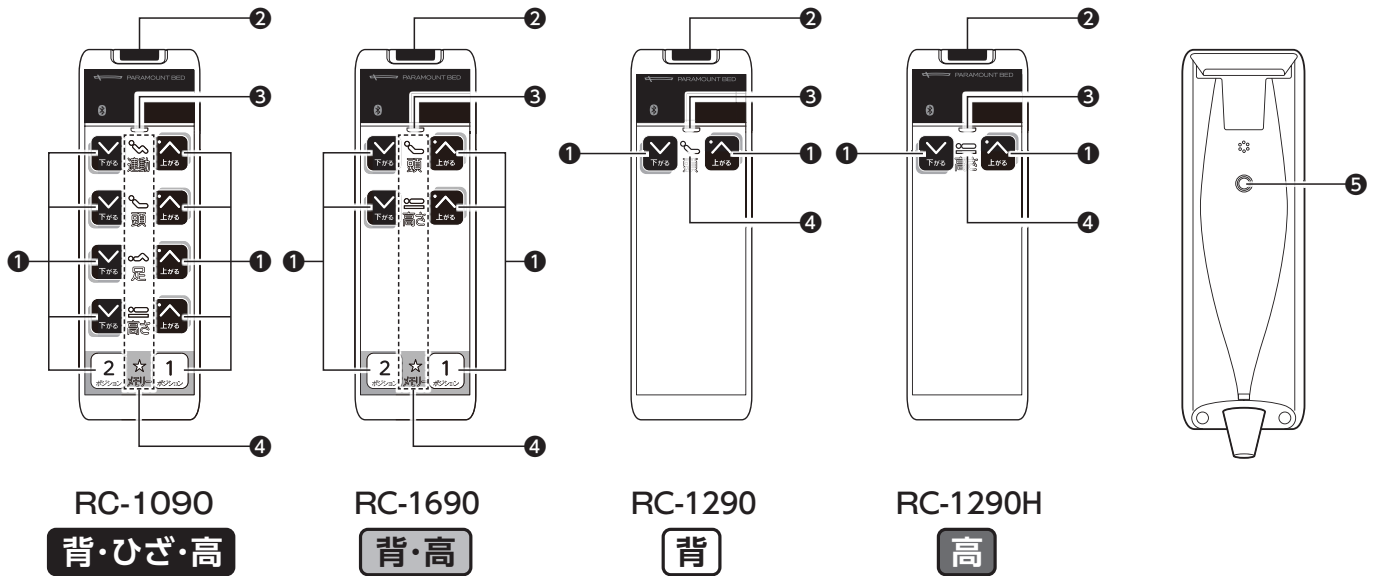
5 ベッドの使用法

※手元スイッチに表示される数値(角度・高さ)は目安としてください。

1. 手元スイッチの使いかた

1-1. 手元スイッチの各部のなまえと働き

操作ボタンと表示ランプ



①操作ボタン

操作ボタンを押すと、ベッドの各操作ができる



警告

ベッドの動作を止めたい場合は手元スイッチの操作ボタンから手を離してください。ベッドの可動部ではさまれたり、圧迫されたりするなどして、けがをす

るおそれがあります。

操作ボタンを押すとベッドが動き、離すとその位置で止まります。また、同時に2つ以上のボタンを押した場合も止まります。



同時に2つ以上のボタンを押して止めた場合、再度操作をするときは一度すべてのボタンから手を離してください。

②呼出ボタン

呼出ボタンを押すと、ブザー音が鳴る
事前にスマートフォンと連携設定を行っている場合は、ブザー音が鳴ると同時にスマートフォンへ通知を送信
※スマートフォンとの連携および呼出機能については、JIS認証範囲外となります。

③電源ランプ

ベッドの通電状態をお知らせ

- 点灯(緑)：正常な通電状態
- 消 灯：電源プラグまたは手元スイッチプラグが外れているか、停電や断線などの場合
- 点滅(赤)：断線や障害物との接触などの異常を表示
「故障かな?と思ったら」(65-66ページ)を参照して処置してください。

④操作選択ランプ

操作ボタンの「有効(操作可能)/ロック(操作禁止)」をお知らせ

- 点灯(白)：操作が可能な状態
- 消 灯：電源が「OFF」になっている。もしくは操作が禁止状態



一定時間、操作がないと消灯します。手元スイッチを手に持つなど揺れがあると自動で点灯します。

⑤設定ボタン

設定ボタンを押すと、操作ボタンで各種設定が変更できる
設定ボタンを長押しすると、BLE接続を開始する
※お持ちのスマートフォンとベッドとのBLE接続方法については、付属のセットアップガイドをご覧ください。

5 ベッドの使用法

表示パネル



①角度/高さ表示/エラーコード

動作中の背ボトム・膝・足ボトム角度またはボトム上面高さを数字で表示
※らくらくモーションや背膝連動の場合、膝角度は表示されません。
※エラーが発生したとき、エラーコードを表示します。
背角度表示… 0°～74°まで2°間隔で表示し、75°で停止
膝角度表示… 0°～30°まで2°間隔で表示
高さ表示… 25cm～60cm
(26cm～60cmまで2cm間隔で表示)

②BLE接続表示

BLEの接続状態を表示
接続状態の詳細については、専用アプリのヘルプを参照してください。

③操作禁止表示

押した操作ボタンがロック(操作禁止)に設定されているときに点滅



お持ちのスマートフォンとベッドとのBLE連携については、付属のセットアップガイドをご覧ください。
※スマートフォンとの連携および呼出機能については、JIS認証範囲外となります。

1-2. ベッド/手元スイッチの電源の入れかた

自動オフ設定が「無効」の場合(初期状態)

1 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

手元スイッチの電源ランプが緑色に点灯し、ベッドの操作ができるようになります。

自動オフ設定が「有効」の場合

1 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

手元スイッチの電源ランプが、緑色に点灯します。

2 手元スイッチの操作ボタン(📶 / 📶)のいずれかを押ししてください。

操作選択ランプが点灯し、ベッドを動作させる準備ができます。(電源 ON 状態)

※ボタンを押すと表示パネルに「On」と表示されます。



電源プラグをコンセントに差し込んだだけでは、手元スイッチの電源は「OFF」の状態です。ベッドの操作や設定を行う場合は、一度、操作ボタンまたは呼出ボタンを押して電源「ON」の状態にすると、行うことができるようになります。

2. ベッドの操作のしかた(手元スイッチ(RC-1090)の場合)

2-1. 背の動かしかた

背あげには①らくらくモーション②背あげの2種類があります。

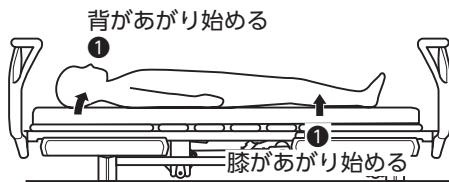


らくらくモーション操作のしかた

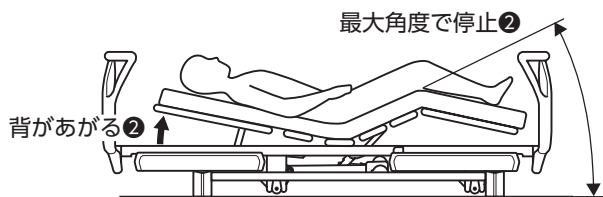
連動ボタンでらくらくモーションによる「背あげ/背さげ」の操作をしてください。

※連動ボタンを押している間は、下記の動作を続けます。

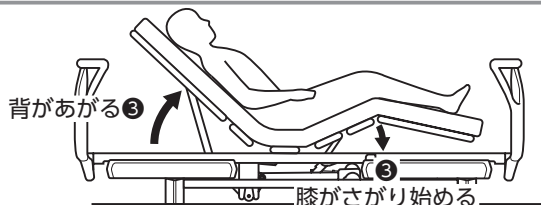
らくらくモーションによる背あげ操作 [連動あげボタン(👤↗️)を押す]



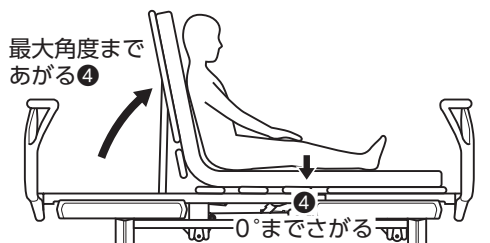
① 背と膝が同時にあがり始める。



② 膝が最大角度まであがると停止し、背はそのままあがる。



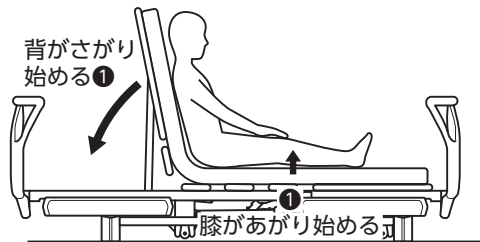
③ 背はそのままあがり、膝がさがり始める。



④ 背が最大角度になるタイミングで、膝が0°までさがる。

5 ベッドの使用法

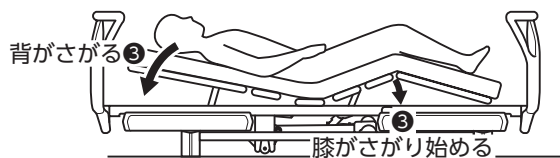
らくらくモーションによる背さげ操作
[連動さげボタン()を押す]



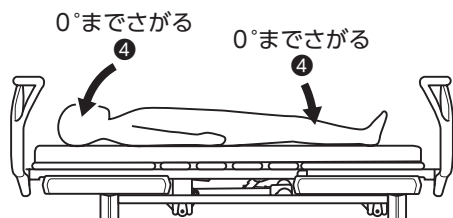
① 背がさがり始めるのとほぼ同時に、膝があがり始める。



② 膝が最大角度まであがると停止し、背はそのままさがる。



③ 背はそのままさがり、膝がさがり始める。



④ 背と膝が連動して、ほぼ同時に0°までさがる。

背あげ操作のしかた

頭ボタンで「背あげ/背さげ」の操作をしてください。

背ボトムを0°～75°まで調節できます。

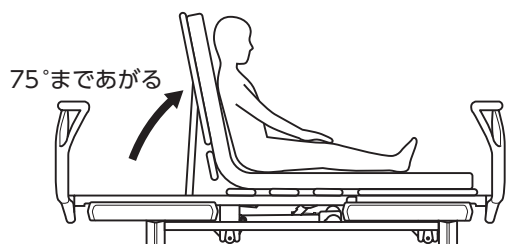
※頭ボタンを押している間は、下記の動作を続けます。

動作範囲

背あげ(頭):0°～75°

背あげ(頭)操作

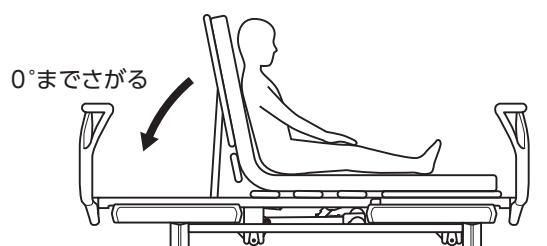
[頭あげボタン()を押す]



- 背が75°まであがる。
ボタンを離すと、背はその位置で止まる。

背さげ(頭)操作

[頭さげボタン()を押す]



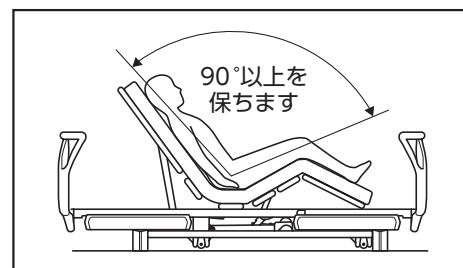
- 背が0°までさがる。
ボタンを離すと、背はその位置で止まる。

角度制限機能について

胸部や腹部にかかる圧迫感を軽減するため、背ボトムと膝・足ボトムとの間の角度が90°より小さくならないように自動的に動作します。



- 安全のため、角度制限機能は解除できません。
- 頭・足のボタン操作を禁止にしている場合でも、角度制限機能による自動動作で、背ボトムと膝・足ボトムは動きます。



5 ベッドの使用方法

2-2. ベッドの高さ調節のしかた

ゆかからベッドのボトム上面までの高さ（床高）を、25cm～60cmまで調節できます。


動作範囲

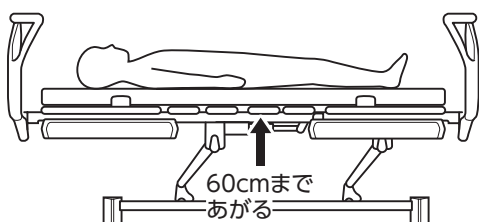
高さ:25cm～60cm

高さボタンで「高さあげ/高ささげ」の操作をしてください。

※高さボタンを押している間は、下記の動作を続けます。


高さあげ操作

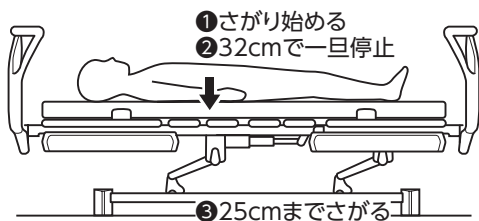
【高さあげボタン（）を押す】



- 高さが60cmまであがる。
ボタンを離すと、ベッドはその高さで止まる。

高ささげ操作

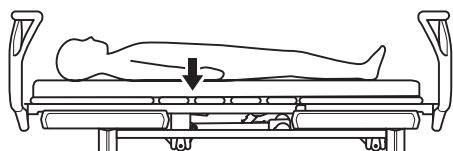
【高ささげボタン（）を押す】




- ① ベッドがさがり始める。
ボタンを離すと、ベッドはその高さで停止する。
ボタンを押していても床高が32cmになると、「ピピッ」と鳴って一旦停止する。

けい こく 警告

床高が32cmになると一旦停止しますが、最低高さではありませんのでご注意ください。端座位や離床の際に、足がゆかに着かずに転落・転倒して、けがをするおそれがあります。



- ② ボタンを離し、再度高ささげボタン（）を押すと「ピピッ」と警告音を鳴らしながら、高さが25cm（最低高さ）までさがる。
最低高さに近づくにつれて、警告音の鳴る間隔が短くなる。

一旦停止後のさげ動作について

- 床高32cm以下の場合、動作速度「普通」より低速でさがります。
- 床高32cm以下で使用しているベッドをさげる場合（低床動作）は、一旦停止せずに25cm（最低高さ）までさがります。



一旦停止時および低床動作中の警告音は、操作音スイッチで操作音「切」に設定しても切ることができません。

2-3. 膝の動かしかた

膝・足ボトムの角度を、0°～30°まで調節できます。

動作範囲

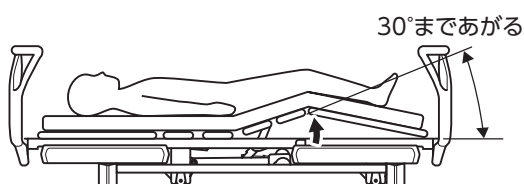
膝あげ(足): 0°～30°

足ボタンで「膝あげ/膝さげ」の操作をしてください。

※足ボタンを押している間は、下記の動作を続けます。

膝あげ操作

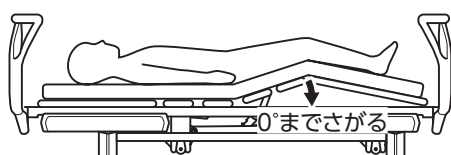
【足あげボタン ( ) を押す】



- 膝が30°まであがる。
ボタンを離すと、膝はその位置で止まる。

膝さげ操作

【足さげボタン ( ) を押す】



- 膝が0°までさがる。
ボタンを離すと、膝はその位置で止まる。

5 ベッドの使用方法

2-4. メモリーポジションへの動かし方

あらかじめ設定したメモリーポジションに向けて、ベッドの背ボトムや膝・足ボトムの角度、ベッドの高さ（床高）を調節します。

※必要に応じてメモリーポジションを設定してください。

メモリーポジションにはあらかじめ初期設定が登録されています。（設定方法および初期設定は43ページ参照）

メモリーボタンの操作をしてください。

※メモリーボタンを押している間は、メモリーポジションに向かって動作を続け、メモリーポジションになると停止します。

メモリーポジション1への操作

[メモリーボタン1 (★)] を押す]

- ① メモリーポジション1に向けてベッドが動作する。
ボタンを離すと、ベッドはその位置で止まる。
- ② メモリーポジション1の位置になると、「ピピッ」と音が鳴り、ベッドが停止する。

メモリーポジション2への操作

[メモリーボタン2 (★)] を押す]

- ① メモリーポジション2に向けてベッドが動作する。
ボタンを離すと、ベッドはその位置で止まる。
- ② メモリーポジション2の位置になると、「ピピッ」と音が鳴り、ベッドが停止する。

メモリーポジション動作中の一旦停止動作について

メモリーポジションを床高32cmより低く登録している場合、メモリーポジション動作中に床高が32cmになると「ピピッ」と鳴って一旦停止します。メモリーボタンから一度手を離し、再度押すと「ピピッ」と警告音を鳴らしながら、メモリーポジションまで動作します。

3. ベッドの操作のしかた(手元スイッチ(RC-1690)の場合)

3-1. 背の動かしかた

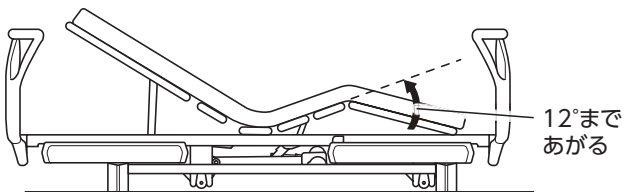
背あげには①背膝連動(背膝連動幹)②背膝連動(ACT 駆動)③背あげの3種類があります。



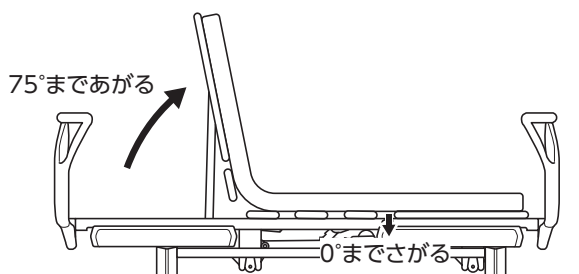
背膝連動(背膝連動幹)

ベッド組立時に背膝連動幹を取付けた場合は、背あげ動作に連動して膝の角度が動作します。(「背膝連動幹の付替え」は94ページ参照)

背を20°まであげたとき、膝が12°まであがります。

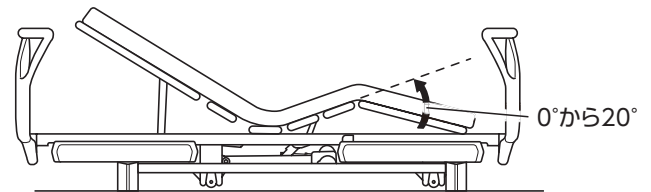


上記から、さらに背を75°まであげたとき、膝が0°までさがります。



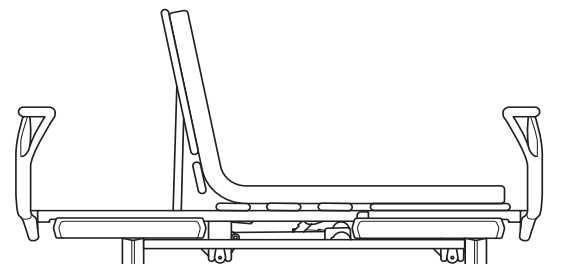
背膝連動(ACT 駆動)

足側フレームがQB6300Fのベッドの場合は、背あげ動作に連動して膝の角度が動作します。



背あげのみ

背あげ動作によらず、膝は0°のままです。



5 ベッドの使用方法

背あげ操作のしかた

頭ボタンで「背あげ/背さげ」の操作をしてください。

動作範囲

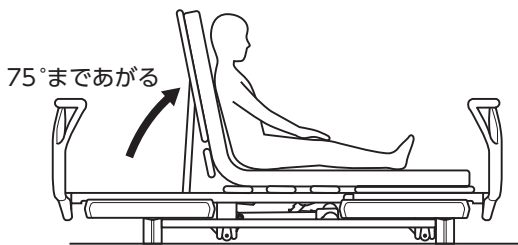
背あげ(頭):0°~75°

背ボトムを角度を0°~75°まで調節できます。

※ベッド組立時に背膝連動幹を取付けた場合は、背あげと連動して、膝・足ボトムが動作します。背を20°まであげたとき、膝が12°まであがります。そこからさらに背を75°まであげたとき、膝が0°までさがります。

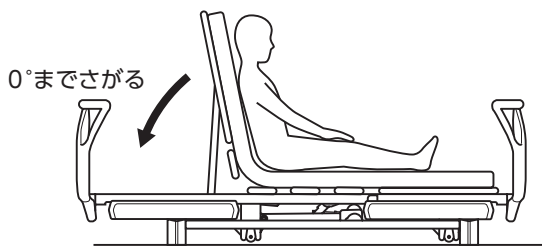
※頭ボタンを押している間は、下記の動作を続けます。

背あげ(頭)操作 [頭あげボタン()を押す]



- 背が75°まであがる。
ボタンを離すと、背はその位置で止まる。

背さげ(頭)操作 [頭さげボタン()を押す]



- 背が0°までさがる。
ボタンを離すと、背はその位置で止まる。

背膝連動操作のしかた (ACT 駆動)

足側フレームがQB6300Fのベッドの場合は、背あげ動作に連動して膝の角度が動作します。

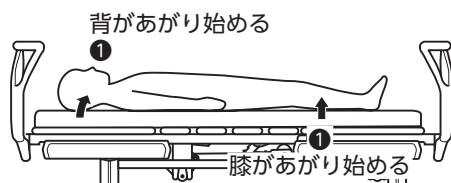
頭ボタンで背膝連動による「背あげ/背下げ」の操作をしてください。

※頭ボタンを押したときの動作が「背膝連動」になっていることを確認してください。

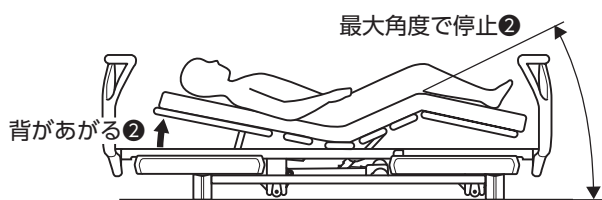
 が橙点灯していることを確認してください。(40ページ 参照)

背膝連動による背あげ操作

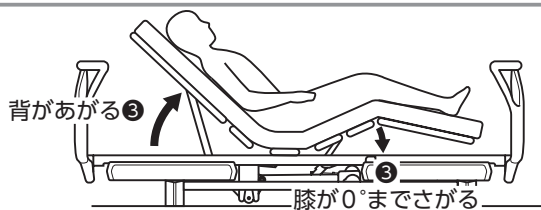
[頭あげボタン( )を押す]



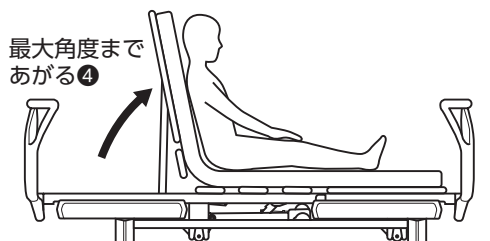
① 背と膝が同時にあがり始める。



② 膝が最大角度まであがると停止し、背はそのままあがる。



③ 背はそのままあがり、膝が0°までさがる。

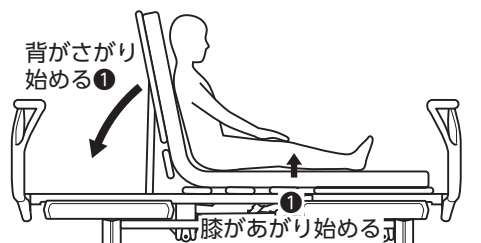


④ 背が最大角度まであがる。

5 ベッドの使用法

背膝連動による背さげ操作

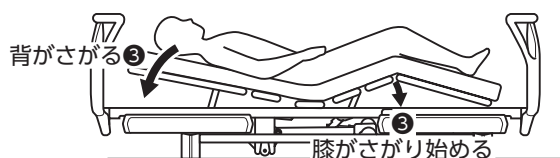
[頭さげボタン(👤📺)を押す]



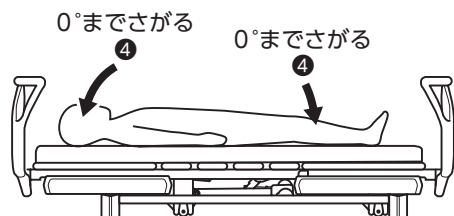
- ① 背がさがり始めるのとほぼ同時に、膝があがり始める。



- ② 膝が最大角度まであがると停止し、背はそのままさがる。



- ③ 背はそのままさがり、膝がさがり始める。



- ④ 背と膝が連動して、ほぼ同時に0°までさがる。

3-2. ベッドの高さ調節のしかた

ゆかからベッドのボトム上面までの高さ（床高）を、25cm～60cmまで調節できます。


動作範囲

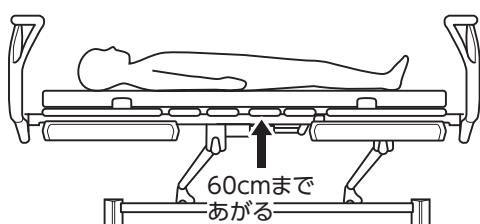
高さ:25cm～60cm

高さボタンで「高さあげ/高ささげ」の操作をしてください。

※高さボタンを押している間は、下記の動作を続けます。


高さあげ操作

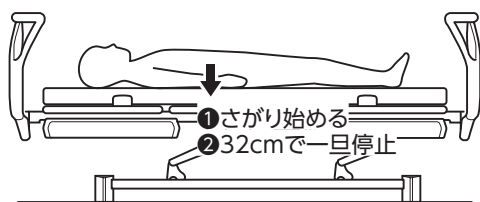
【高さあげボタン（）を押す】



- 高さが60cmまであがる。
ボタンを離すと、ベッドはその高さで止まる。

高ささげ操作

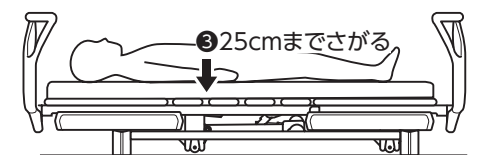
【高ささげボタン（）を押す】




- ① ベッドがさがり始める。
ボタンを離すと、ベッドはその高さで停止する。
ボタンを押していても床高が32cmになると、「ピピッ」と鳴って一旦停止する。

警告

床高が32cmになると一旦停止しますが、最低高さではありませんのでご注意ください。端座位や離床の際に、足がゆかに着かずに転落・転倒して、けがをするおそれがあります。



- ② ボタンを離し、再度高ささげボタン（）を押すと「ピピッ」と警告音を鳴らしながら、高さが25cm（最低高さ）までさがる。
最低高さに近づくとつれて、警告音の鳴る間隔が短くなる。

一旦停止後のさげ動作について

- 床高32cm以下の場合、動作速度「普通」より低速でさがります。
- 床高32cm以下で使用しているベッドをさげる場合（低床動作）は、一旦停止せずに25cm（最低高さ）までさがります。



一旦停止時および低床動作中の警告音は、操作音スイッチで操作音「切」に設定しても切ることができません。

5 ベッドの使用方法

3-3. メモリーポジションへの動かしかた

あらかじめ設定したメモリーポジションに向けて、ベッドの背ボトムの角度、ベッドの高さ（床高）を調節します。
※必要に応じてメモリーポジションを設定してください。

メモリーポジションにはあらかじめ初期設定が登録されています。（設定方法および初期設定は43ページ参照）

メモリーボタンの操作をしてください。

※メモリーボタンを押している間は、メモリーポジションに向かって動作を続け、メモリーポジションになると停止します。

メモリーポジション1への操作 [メモリーボタン1 (★)を押す]

- ① メモリーポジション1に向けてベッドが動作する。
ボタンを離すと、ベッドはその位置で止まる。
- ② メモリーポジション1の位置になると、「ピピッ」と音が鳴り、ベッドが停止する。

メモリーポジション2への操作 [メモリーボタン2 (★)を押す]

- ① メモリーポジション2に向けてベッドが動作する。
ボタンを離すと、ベッドはその位置で止まる。
- ② メモリーポジション2の位置になると、「ピピッ」と音が鳴り、ベッドが停止する。

メモリーポジション動作中の一旦停止動作について

メモリーポジションを床高32cmより低く登録している場合、メモリーポジション動作中に床高が32cmになると「ピピッ」と鳴って一旦停止します。メモリーボタンから一度手を離し、再度押すと「ピピッ」と警告音を鳴らしながら、メモリーポジションまで動作します。

4. ベッドの操作のしかた(手元スイッチ(RC-1290)の場合)

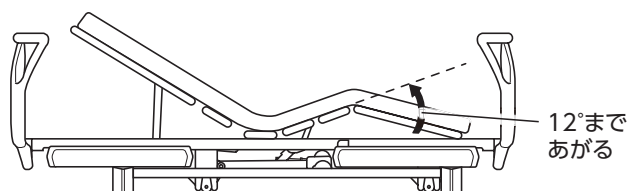
背あげには①背膝連動(背膝連動幹)②背あげの2種類があります。



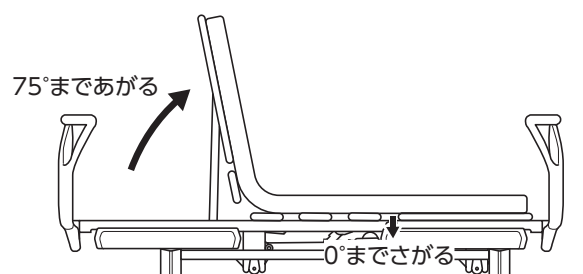
背膝連動(背膝連動幹)

ベッド組立時に背膝連動幹を取付けた場合は、背あげ動作に連動して膝の角度が動作します。(「背膝連動幹の付替え」は94ページ参照)

背を20°まであげたとき、膝が12°まであがります。

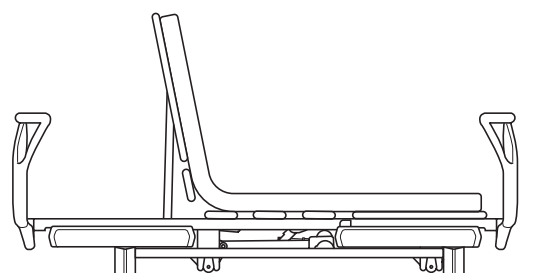


上記から、さらに背を75°まであげたとき、膝が0°までさがります。



背あげのみ

背あげ動作によらず、膝は0°のままです。



5 ベッドの使用方法

頭ボタンで「背あげ/背さげ」の操作をしてください。

動作範囲

背ボトムの角度を0°～75°まで調節できます。

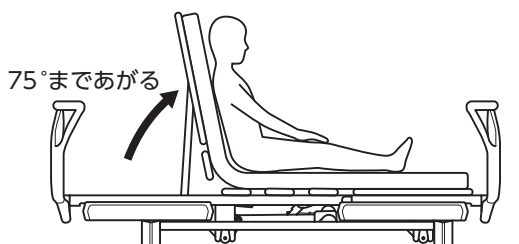
背あげ(頭):0°～75°

※ベッド組立時に背膝連動幹を取付けた場合は、背あげと連動して、膝・足ボトムが動作します。背を20°まであげたとき、膝が12°まであがります。そこからさらに背を75°まであげたとき、膝が0°までさがります。

※頭ボタンを押している間は、下記の動作を続けます。

背あげ(頭)操作

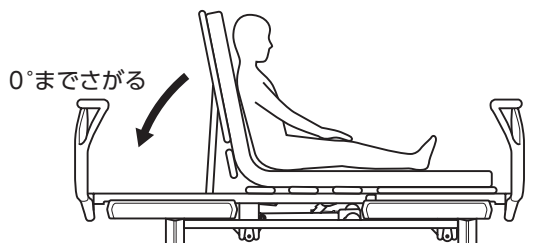
[頭あげボタン()を押す]



- 背が75°まであがる。
ボタンを離すと、背はその位置で止まる。

背さげ(頭)操作

[頭さげボタン()を押す]



- 背が0°までさがる。
ボタンを離すと、背はその位置で止まる。

5. ベッドの操作のしかた(手元スイッチ(RC-1290H)の場合)

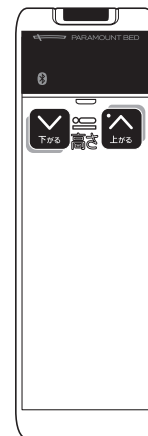
ゆかからベッドのボトム上面までの高さ(床高)を、25cm~60cmまで調節できます。

動作範囲

高さ:25cm~60cm

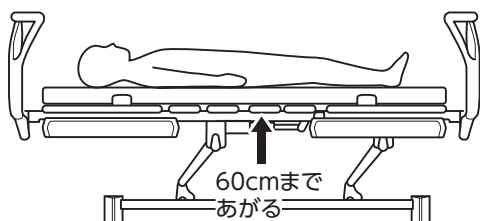
高さボタンで「高さあげ/高ささげ」の操作をしてください。

※高さボタンを押している間は、下記の動作を続けます。



高さあげ操作

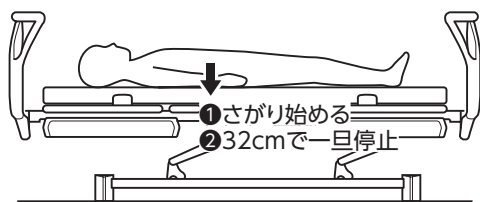
[高さあげボタン (●●●●▲) を押す]



- 高さが60cmまであがる。
ボタンを離すと、ベッドはその高さで止まる。

高ささげ操作

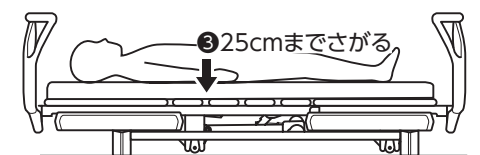
[高ささげボタン (●●●●▼) を押す]



- ① ベッドがさがり始める。
ボタンを離すと、ベッドはその高さで停止する。
ボタンを押していても床高が32cmになると、「ピピッ」と鳴って一旦停止する。

警告

床高が32cmになると一旦停止しますが、最低高さではありませんのでご注意ください。端座位や離床の際に、足がゆかに着かずに転落・転倒して、けがをするおそれがあります。



- ② ボタンを離し、再度高ささげボタン (●●●●▼) を押すと「ピピッ」と警告音を鳴らしながら、高さが25cm(最低高さ)までさがる。
最低高さに近づくとつれて、警告音の鳴る間隔が短くなる。

一旦停止後のさげ動作について

- 床高32cm以下の場合、動作速度「普通」より低速でさがります。
- 床高32cm以下で使用しているベッドをさげる場合(低床動作)は、一旦停止せずに25cm(最低高さ)までさがります。



一旦停止時および低床動作中の警告音は、操作音スイッチで操作音「切」に設定しても切ることができません。

5 ベッドの使用方法

6. 手元スイッチによるベッドの設定のしかた

機能選択スイッチを操作することにより、ベッドの設定を変更できます。

警告

操作が理解できないと思われる方(12歳以下のお子様や認知症の方など)に操作させないでください。操作が理解できないと思われる方が、1人で手元スイッチを操作した場合、誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。1人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。

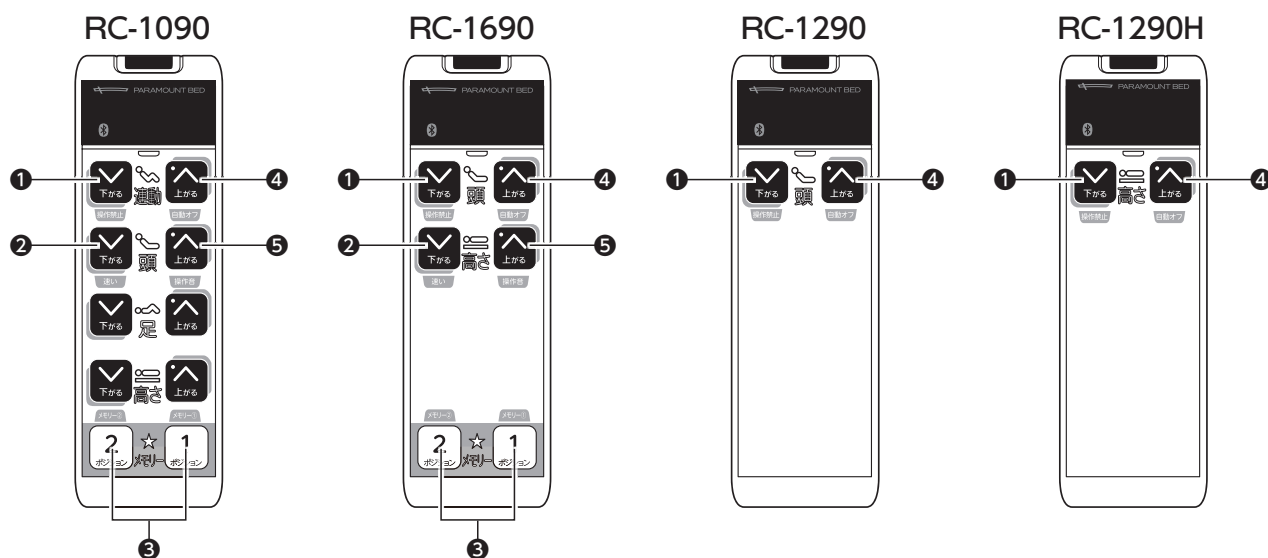
- 操作禁止ボタンで手元スイッチの操作ボタン(すべての操作ボタンまたは各動作部位の操作ボタン)をロック(操作禁止)する。(操作方法は42ページ参照)
- 電源プラグを抜く。

注意

設定ボタンを押すときは、鋭利なものを使用しないでください。破損の原因となります。

6-1. 機能選択スイッチ

手元スイッチ裏面の設定ボタンを押すと、操作ボタン(機能選択スイッチ)で各種設定が変更できます。



① 操作禁止ボタン

手元スイッチの操作ボタンを使えなくすることができます。
RC-1690のみ: ボタンを3秒長押しすると、ベッドの動作(背膝連動(ACT駆動)/背あげ)を切換えることができます。

② 速さ切替ボタン

ベッドの動作速度を切換えることができます。

③ メモリーボタン1/メモリーボタン2

ベッドのポジションを最大2個まで登録することができます。

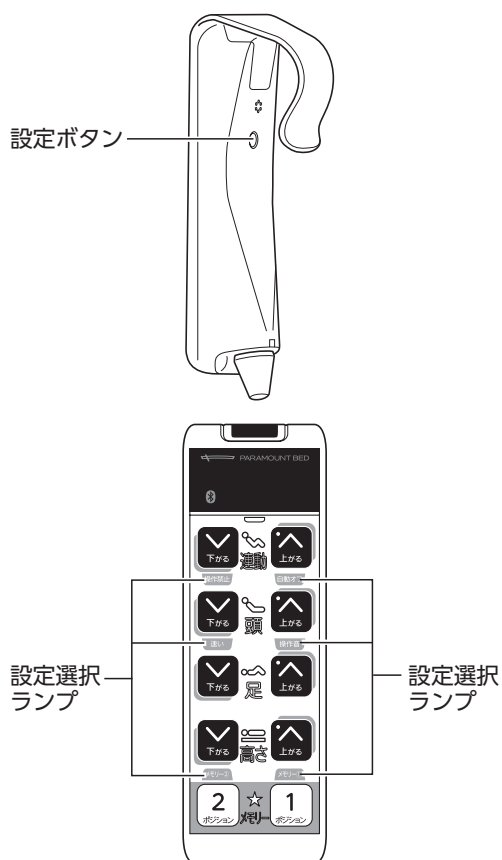
④ 自動オフボタン

手元スイッチを60秒間操作しないと、電源「OFF」の状態にすることができます。

⑤ 操作音ボタン

手元スイッチの操作音の「入/切」を切換えることができます。

6-2. 設定モードへの切換え



手元スイッチ裏面の設定ボタンを押すと、おもて面の設定選択ランプが点灯し、操作ボタンで各種設定ができるようになります。

設定変更が完了したら、再度、設定ボタンを押して、設定を確認してください。設定ボタンを押さないと変更した設定は確定されません。

けい こく
警告

設定ボタンを一度押してから、20秒間ボタン操作が行われない場合は、設定は完了せずに元の設定に戻りますのでご注意ください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

※手元スイッチ(RC-1090)で説明しています。

5 ベッドの使用方法

6-3. ベッドの各動作設定

手元スイッチ (RC-1090) の場合



設定モードへ切換えてから、設定を変更してください。(38ページ参照)
各設定の状態によって、設定選択ランプの明るさが変わります。

※操作禁止の設定については、42ページの「6-4. 操作ボタンのロック (操作禁止) の設定」を参照してください。

● ベッドの動作速度の設定

ベッドの動作速度を「普通/速い」に切換えることができます。

※初期状態では、動作速度が「普通」になっています。
※高さ動作は「普通」のみで切換えできません。

設定選択ランプの明るさ

暗い:普通
明るい:速い



ベッド高さが32cm以下では、高さ調節の動作速度は「普通」より低速でさがります。

● 操作音の設定

手元スイッチの操作ボタンを押したときの操作音の「入/切」を切換えます。

※初期状態では「入」になっています。

設定選択ランプの明るさ

暗い:切
明るい:入

● 手元スイッチの無操作時の自動オフ設定

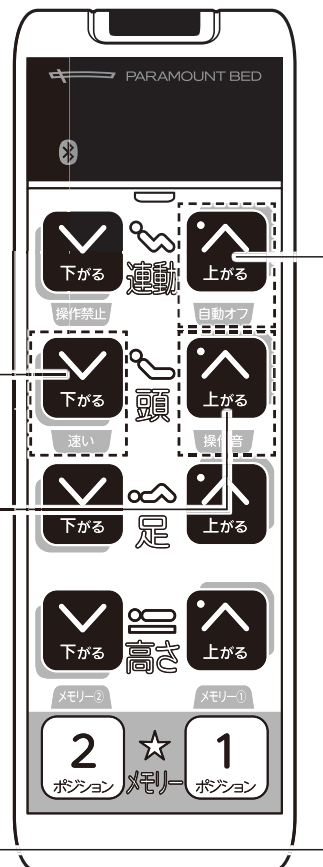
手元スイッチを60秒間操作しないと、手元スイッチを電源「OFF」の状態にすることができます。電源「OFF」の状態の場合、一度操作ボタンを押して電源「ON」の状態にすることで、ベッドの操作や設定を行うことができますようになります。

※初期状態では、自動オフ機能は「無効」になっています。

※一度電源プラグを抜いても、設定は維持されます。

設定選択ランプの明るさ

暗い:無効
明るい:有効



警告

設定変更が完了したら、再度、手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定を確定してください。設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

手元スイッチ(RC-1690)の場合



設定モードへ切換えてから、設定を変更してください。(38ページ参照)
各設定の状態によって、設定選択ランプの明るさが変わります。

※操作禁止の設定については、42ページの「6-4. 操作ボタンのロック(操作禁止)の設定」を参照してください。

● 「背膝連動(ACT駆動)」と「背あげ」の切換え

足側フレームがQB6300Fのベッドの場合は、頭ボタンを押したときの動作(背膝連動(ACT駆動)/背あげ)を交互に切換えることができます。

ボタンを3秒長押しすると、ベッドの動作が切り替わります。

※初期状態では「背あげ」になっています。

設定によって「」が以下の状態になります。

消灯:背あげ

橙点灯:背膝連動(ACT駆動)

● ベッドの動作速度の設定

ベッドの動作速度を「普通/速い」に切換えることができます。

※初期状態では、動作速度が「普通」になっています。

※高さ動作は「普通」のみで切換えできません。

設定選択ランプの明るさ

暗い:普通

明るい:速い



ベッド高さが32cm以下では、高さ調節の動作速度は「普通」より低速でさがります。

● 操作音の設定

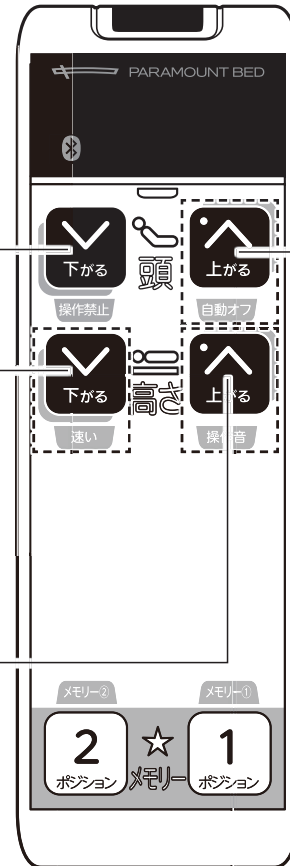
手元スイッチの操作ボタンを押したときの操作音の「入/切」を切換えます。

※初期状態では「入」になっています。

設定選択ランプの明るさ

暗い:切

明るい:入



● 手元スイッチの無操作時の自動オフ設定

手元スイッチを60秒間操作しないと、手元スイッチを電源「OFF」の状態にすることができます。電源「OFF」の状態の場合、一度操作ボタンを押して電源「ON」の状態にすることで、ベッドの操作や設定を行うことができますようになります。

※初期状態では、自動オフ機能は「無効」になっています。

※一度電源プラグを抜いても、設定は維持されます。

設定選択ランプの明るさ

暗い:無効

明るい:有効



設定変更が完了したら、再度、手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定を確定してください。設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

5 ベッドの使用方法

手元スイッチ (RC-1290/RC-1290H) の場合



設定モードへ切換えてから、設定を変更してください。(38ページ参照)

各設定の状態によって、設定選択ランプの明るさが変わります。

※操作禁止の設定については、42ページの「6-4. 操作ボタンのロック (操作禁止) の設定」を参照してください。

● 手元スイッチの無操作時の自動オフ設定

手元スイッチを60秒間操作しないと、手元スイッチを電源「OFF」の状態にすることができます。電源「OFF」の状態の場合、一度操作ボタンを押して電源「ON」の状態にすることで、ベッドの操作や設定を行うことができますようになります。

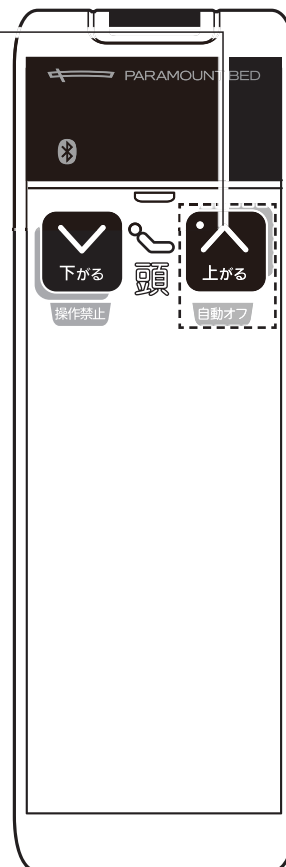
※初期状態では、自動オフ機能は「無効」になっています。

※一度電源プラグを抜いても、設定は維持されます。

設定選択ランプの明るさ

暗い:無効

明るい:有効



※手元スイッチ (RC-1290) で説明しています。

警告

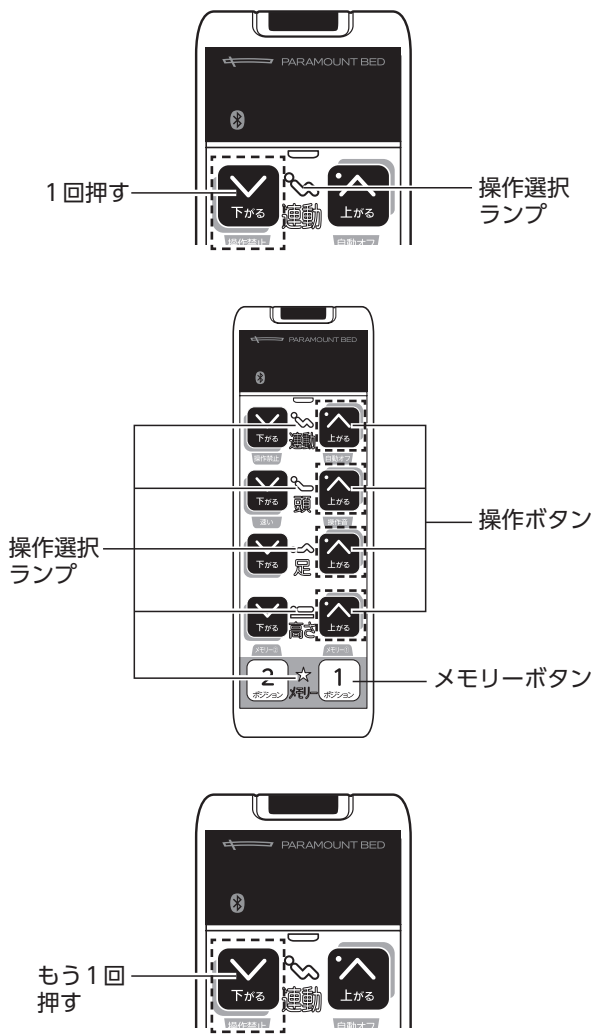
設定変更が完了したら、再度、手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定を確定してください。設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

6-4. 操作ボタンのロック (操作禁止) の設定

手元スイッチの操作ボタンと呼出ボタンを使えなくすることができます。呼出ボタンのロック (操作禁止) の設定については、44 ページを参照してください。

※初期状態では、すべての操作が可能になっています。

設定のしかた





※手元スイッチ (RC-1090) で説明しています。

1 手元スイッチ裏面の設定ボタンを押してください。

おもて面の設定選択ランプが点灯し、操作ボタンで各種設定ができるようになります。(38 ページ参照)

2 操作禁止ボタンを1回押してください。

ロック (操作禁止) されている操作ボタンの操作選択ランプは消灯、ロックされていない操作ボタンの操作選択ランプは点滅します。

3 操作禁止したい、または操作禁止を解除したい操作ボタンの  ボタンを押してください。また、メモリーボタンを操作禁止にしたい、または操作禁止を解除したい場合はメモリーボタンの  ボタンを押してください。

操作ボタンの操作選択ランプが切り替わります。

禁止したい: 点滅 → 消灯

解除したい: 消灯 → 点滅

4 操作禁止ボタンを、もう1回押してください。

操作選択ランプの点滅が消えて設定が完了します。

5 手元スイッチ裏面の設定ボタンを押してください。

設定が確定します。

警告

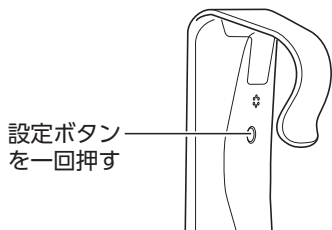
- 頭・足・高さボタンを操作禁止にしても、連動ボタンやメモリーボタンにより、頭・足・高さが動作する場合があります。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。必要に応じて、連動ボタンやメモリーボタンも操作禁止に設定してください。
- 設定変更が完了したら、再度、手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定を確定してください。設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

5 ベッドの使用方法

6-5. メモリーポジションの設定 (RC-1090/RC-1690のみ)

メモリーボタンを使用し、ベッドのポジションを最大2個まで登録します。

設定のしかた



メモリーボタン

※手元スイッチ (RC-1090) で説明しています。

1 ベッドをボタン登録したいポジションまで動作させてください。

2 手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定モードにしてください。

3 ポジションを登録したいメモリーボタン (1 / 2) を押してください。

現在のベッドのポジションが仮登録されます。メモリーボタンを3秒長押しすると、初期設定が仮登録されます。(下記参照)

4 設定ボタンをもう一度押してください。

現在のベッドのポジションが登録され、設定が完了します。



メモリーポジションを再設定したい場合は、再度1～4を行ってください。

警告

- 設定変更が完了したら、再度、手元スイッチ裏面の設定ボタンを押して、設定を確定してください。設定ボタンを押さないと変更した設定が確定されず、意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。
- メモリーポジションの設定は、すべてのアクチュエーターをコントロールボックスに差込んでから行ってください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。



初期設定では、以下のポジションが登録されています。

※初期状態では、メモリーボタンを押しても、高さ調節動作はしません。

メモリーポジション1 ☆ **1** : 背 30° 膝 6° 床高動作なし

メモリーポジション2 ☆ **2** : 背 0° 膝 0° 床高動作なし

※膝あげ動作は、手元スイッチ (RC-1090) のみになります。

6-6. 呼出ボタンの使いかた

呼出ボタンを使用すると、使用者が家族や介護者の方にブザー音で通知することができます。

また、家族や介護者がお持ちのスマートフォンに専用アプリケーションをインストールし設定を行うことで、スマートフォン側でBLE接続を利用した通知を受取ることができます。

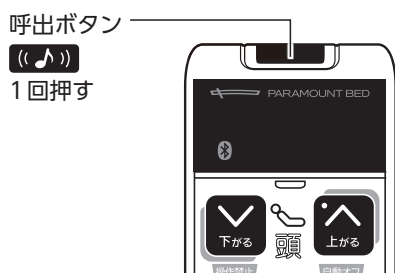
※専用アプリケーションについては付属のセットアップガイドをご覧ください。

※スマートフォンとの連携および呼出機能については、JIS認証範囲外となります。

警告

スマートフォンと連携した通知による呼出機能は、BLEの電波が届く範囲に限られています。使用する前に電波が届く範囲を確認してから使用してください。スマートフォンとの連携による通知の呼出機能は緊急時の使用を目的としたものではありません。スマートフォンの状態によっては通知を受信できないことがあります。呼出が検知されずに発生した事故などによる損害について、弊社は一切の責任を負い兼ねますのでご了承ください。

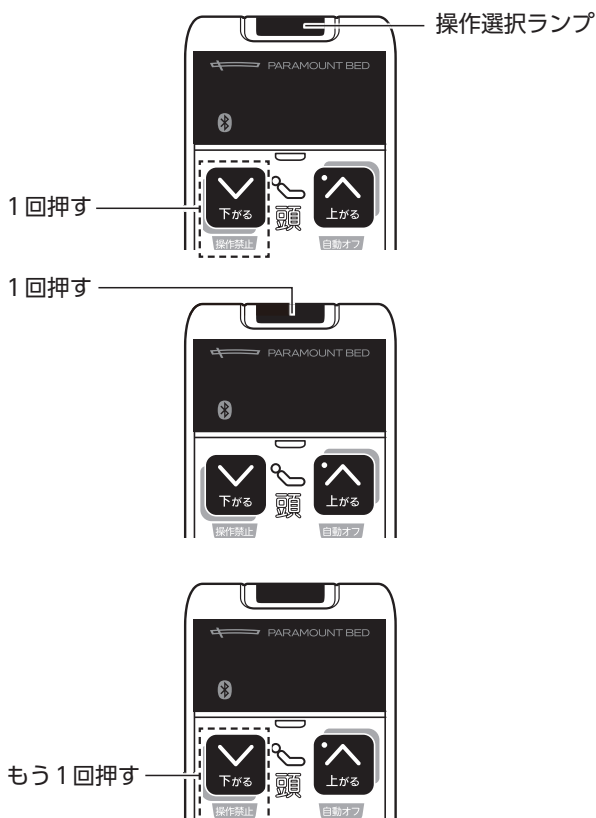
ブザー音の鳴らしかた




1 呼出ボタンを1回押してください。

ブザー音が鳴ります。ベッドとスマートフォンがBLE接続している場合は、お持ちのスマートフォンにメッセージが送信されます。

ロック(操作禁止)のしかた



 設定モードへ切換えてから、設定を変更してください。(38ページ参照)

1 操作禁止ボタンを1回押してください。

ロック(操作禁止)されている場合の操作選択ランプは消灯、ロックされていない場合の操作選択ランプは点滅します。

2 呼出ボタンを押してください。


呼出ボタンの操作選択ランプが切換わります。

禁止したい:点滅→消灯

解除したい:消灯→点滅

3 操作禁止ボタンをもう1回押してください。

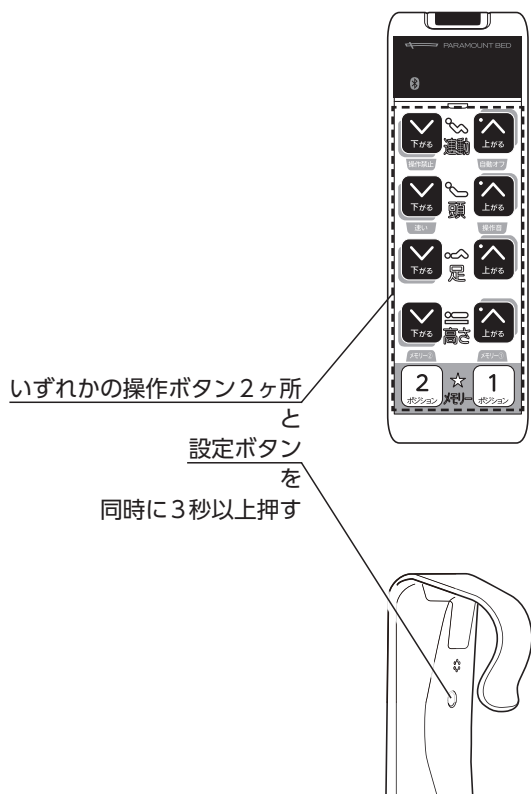
操作選択ランプの点滅が消えて設定が完了します。

 設定変更が完了したら、設定ボタンを押して、設定を確定してください。(38ページ参照)

手元スイッチ(RC-1290)で説明しています。

5 ベッドの使用方法

6-7. 設定の初期化



※手元スイッチ (RC-1090) で説明しています。

設定モードにしていないうちに、手元スイッチ表面のいずれかの操作ボタン2ヶ所と裏面の設定ボタンを同時に3秒以上押し、設定内容をすべて初期状態に戻すことができます。

初期状態 (RC-1090の場合)

設定	状態
操作禁止	すべての操作が可能
速さ	普通
自動オフ	無効
操作音	入
メモリー 1	背:30° 膝:6° 床高動作なし
メモリー 2	背:0° 膝:0° 床高動作なし

初期状態 (RC-1690の場合)

設定	状態
操作禁止	すべての操作が可能
速さ	普通
自動オフ	無効
ベッド動作 ^{※1}	背あげ
操作音	入
メモリー 1	背:30° 床高動作なし
メモリー 2	背:0° 床高動作なし

※1) 足側フレームがQB6300Fのベッドの場合のみ設定ができます。

初期状態 (RC-1290/RC-1290Hの場合)

設定	状態
操作禁止	すべての操作が可能
自動オフ	無効



停電時や電源プラグ、手元スイッチプラグを抜いた場合も、機能選択スイッチで設定した内容は取消されません。

7. オプション受の使いかた

- オプション受4ヶ所（頭側・足側の左右各1ヶ所）のオプション取付穴に、ベッドサイドレールやベッド用グリップなどを取付けることができます。下表に従って、適切な位置に調節してください。

オプション受の状態	91cm		83cm	
	頭側	足側	頭側	足側
使用位置	(a)	(a)	(b)	(b)
格納位置	(b)	(b)	—*1	(c)*2

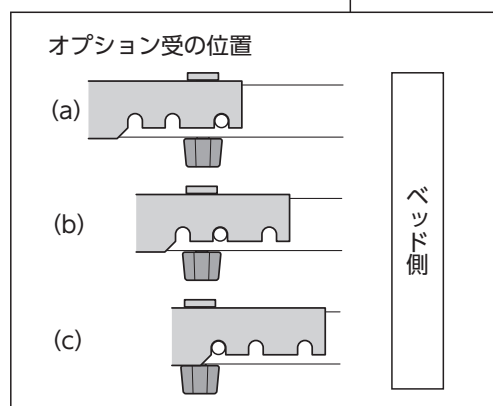
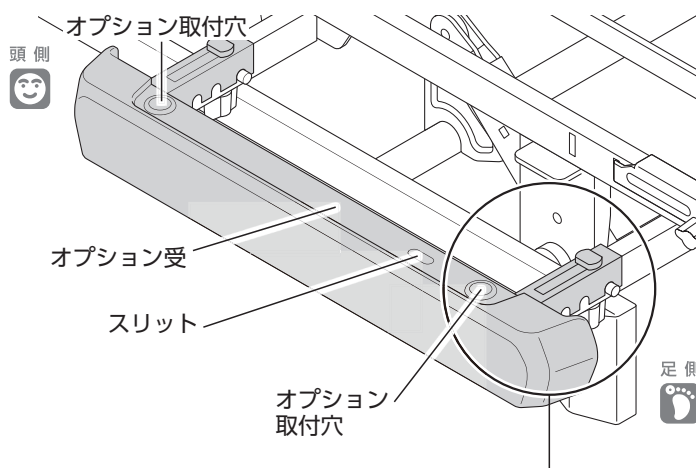
※1) 頭側はフレームと接触するので (c) の位置にはできません。

※2) 足側のみ (c) の位置にスライドさせてベッドの幅を小さくすることができます。完全には格納できません。

- オプション受には左右があります。オプション受を取外してしまった場合は、オプション受のスリットをボード側に向けて取付けてください。

注意

オプション受の位置を調節するときは、手・指をはさまないように注意してください。はさまれてけがをするおそれがあります。

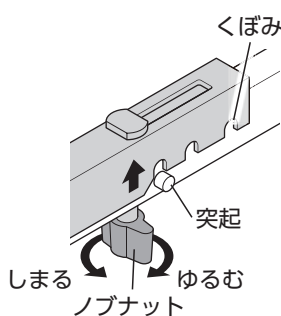


使用 / 格納位置に調節するとき

ベッドサイドレールやベッド用グリップなどを取付けるとき

オプション受を「使用位置」にしてください。

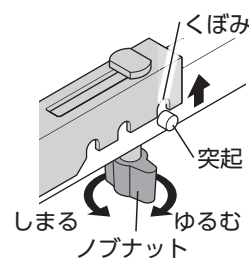
- ① オプション受を固定しているノブナットをゆるめてください。(1つのオプション受につき2ヶ所)
- ② オプション受を持ちあげながら (a) または (b) の位置にスライドさせ、くぼみを突起に掛けてください。
- ③ ノブナットをしっかりと締付けてください。(1つのオプション受につき2ヶ所)



車いすなどをベッドに近づけたいとき
ベッドの設置スペースを小さくしたいとき

※ベッドの幅が最大12cm小さくなります。
オプション受を「格納位置」にしてください。

- ① オプション受を固定しているノブナットをゆるめてください。(1つのオプション受につき2ヶ所)
- ② オプション受を持ちあげながら (b) または (c) の位置にスライドさせ、くぼみを突起に掛けてください。
- ③ ノブナットをしっかりと締付けてください。(1つのオプション受につき2ヶ所)



警告

- オプション受は、オプション受のくぼみを本体の突起にはめ込み、ノブナットでしっかりと固定した状態で使用してください。オプション受が、がたついたり外れたりして、けがをするおそれがあります。
- オプション受は、ボトム幅 (83cm/91cm) にあわせて正しい位置に設定してください。また、オプション受は正しい向きで使用してください。誤った位置や向きで使用すると、ベッドとベッドサイドレール・ベッド用グリップなどの間に意図せぬすき間ができ、はさまれてけがをするおそれがあります。

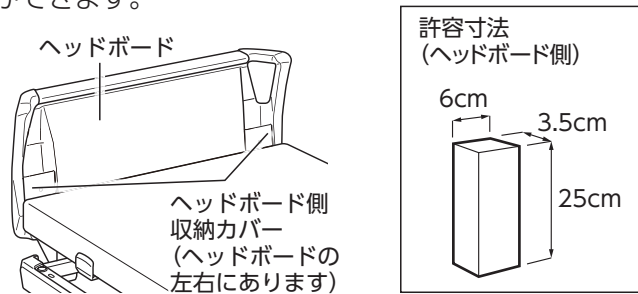
5 ベッドの使用方式

8. 収納カバーの使いかた

ヘッドボード側収納カバーの使いかた

※ヘッドボード側収納カバーは、樹脂ボード (Q60010B・Q60020B・Q60210B・Q60212B・Q60220B) の場合のみ付いています。

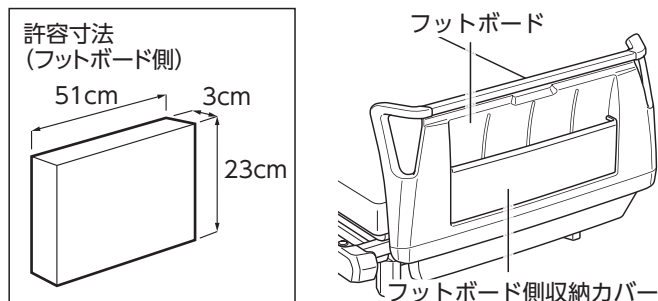
ヘッドボード側収納カバーは、ヘッドボード内側の左右2ヶ所にあります。ベッド周りの小物を入れることができます。



フットボード側収納カバーの使いかた

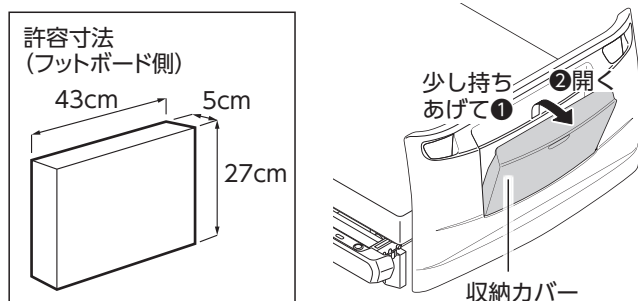
・樹脂ボード (Q60010B・Q60020B・Q60210B・Q60212B・Q60220B) の場合

フットボード側収納カバーは、フットボードの外側にあり、取扱説明書やノートなどを入れることができます。



・樹脂ボード (Q60050B・Q60250B) の場合

収納カバーは、図のように開くことができ、取扱説明書やノートなどを入れることができます。



収納カバーの許容寸法と耐荷重

ボードの種類		許容寸法 [cm]	耐荷重
Q60010B・ Q60020B・ Q60210B・ Q60212B・ Q60220B	ヘッドボード側	幅6×高さ25×厚み3.5	0.5kg
	フットボード側	幅51×高さ23×厚み3	1kg
Q60050B・ Q60250B	フットボード側	幅43×高さ27×厚み5	1kg

警告

- 収納カバーに寄り掛かったり、手でつかまって力を加えたりしないでください。収納カバーが不意に外れ、転倒するなどしてけがをすることがあります。
- 手元スイッチを、ヘッドボード側収納カバーに収納しないでください。誤って操作ボタンが押され、意図せぬベッドの動作により、けがをすることがあります。
- 本製品以外のリモコンをヘッドボード側収納カバーに収納するときは、意図せずリモコンのボタンが押されないように収納してください。リモコンの誤操作により、思わぬけがや誤作動につながるおそれがあります。


注意

- 許容寸法や耐荷重を超えるものを入れないでください。収納カバーや収納物が落下・破損し、けがをすることがあります。
- 収納物が収納カバーからとび出した状態にしないでください。ベッドの動作時に接触し、ベッドや収納物が破損するおそれがあります。
- ヘッドボード側収納カバーにベッド周りの小物を収納するときは、背あげ動作時に収納物が落下したり、ボトムに接触したりしないよう注意してください。ベッドや収納物が破損するおそれがあります。細長いものや薄いものを収納するときは、特にご注意ください。
- 樹脂ボード (Q60050B・Q60250B) の場合は、フットボード側収納カバーを乱暴に開閉しないでください。収納物や収納カバーが破損するおそれがあります。
- 収納カバーにもものを引っ掛けたり、外側から力をかけたりしないでください。収納カバーがボードから外れたり、破損したりするおそれがあります。
- 収納物を取り出すときは、収納カバーに外向きの力を無理に加えないでください。収納カバーが外れたり、破損したりするおそれがあります。
- メガネなど壊れやすいものを入れるときは、ケースなどに入れてから収納カバーに入れてください。破損するおそれがあります。
- 樹脂ボード (Q60050B・Q60250B) の場合は、フットボード側収納カバーを開いた状態でベッドを操作したりしないでください。収納カバーにぶつかってけがをしたり、ベッドの動作時にベッド周りの家具備品・部屋の構造物の一部などに接触して、ベッドや収納物が破損したりするおそれがあります。

6 緊急時のベッド操作のしかた

災害などによる停電時、ベッドの故障などの緊急時に、背ボトムがさげられなくなった場合は、以下の方法で背ボトムをさげることができます。



停電以外の理由で背ボトムがさげられなくなった場合は、「 故障かな?と思ったら」(65・66ページ)に従ってチェックを行い、ベッドが故障している場合には、販売店またはパラテクノコールセンター(130ページ参照)までご連絡ください。

注意

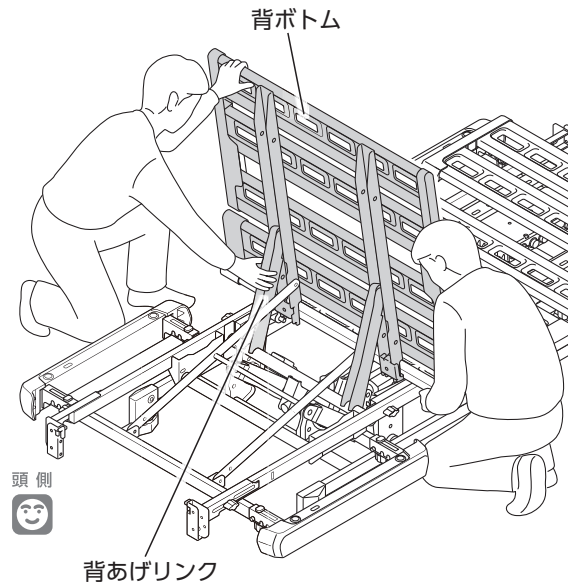
手動による背さげのしかた/戻しかたの作業は、2人以上で行ってください。手や腕などをはさまれて、けがをするおそれがあります。

1.手動による背さげのしかた/戻しかた

背さげのしかた

- ① ベッドの電源プラグを、コンセントから抜いてください。
- ② ベッドをご使用の方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。
- ③ ヘッドボードを取外してください。(118ページ参照)
- ④ 背ボトムと背あげリンクを支えてください。

使用する工具 ペンチ・プライヤー (小)



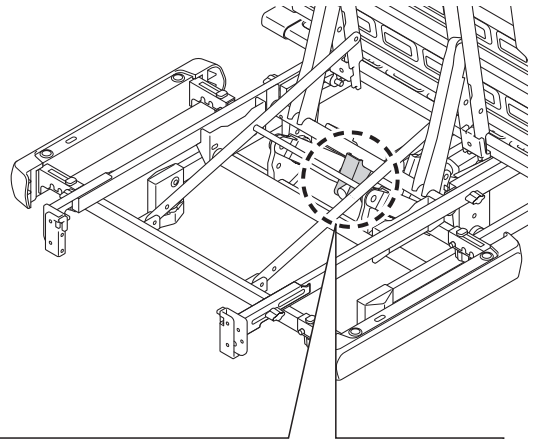
注意

手動による背さげのしかた/戻しかたの作業は、背あげリンクをしっかり持ってください。背あげリンクがさがり、けがをするおそれがあります。

↓ 次ページに続く

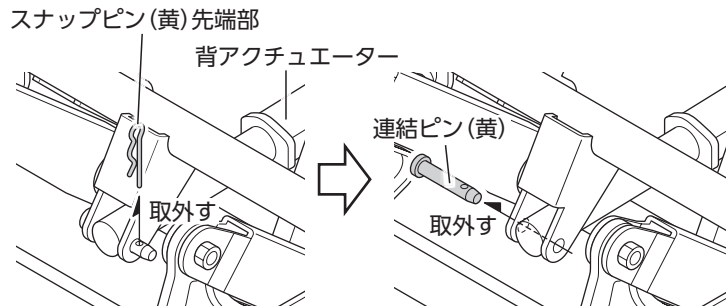
6 緊急時のベッド操作のしかた

- ⑤ 背アクチュエーターを手でしっかりと支えながら、背アクチュエーターについているスナップピン (黄) を取外してください。
- ⑥ 連結ピン (黄) を取外してください。連結ピン (黄) を取外すと、背あげリンクが自由に動くようになります。



取外した連結ピン (黄) は、元の状態に戻すときに使用しますので、紛失しないように保管してください。

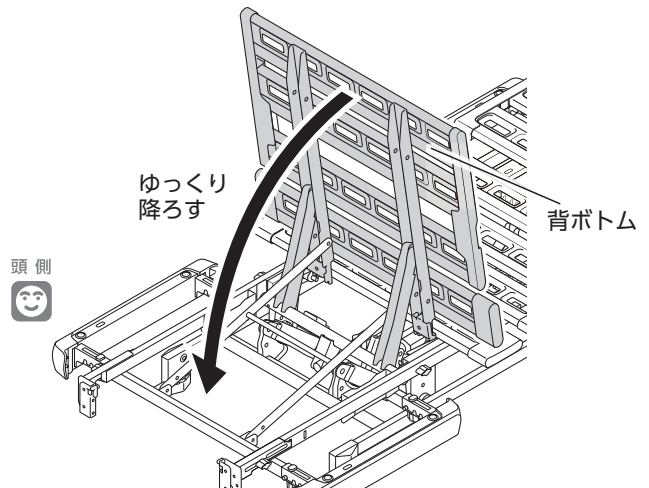
スナップピン (黄) の抜きかた
ペンチで先端部をはさんで
引っ掛けて作業を行うと、取外
しが容易です。



- ⑦ 背あげリンクを降ろしてから、背ボトムをゆっくり降ろしてください。
- ⑧ ヘッドボードを取付けてください。
(105ページ参照)



この作業を行ったときは、停電や故障から復帰後、元の状態に戻すまで、電源プラグはコンセントから抜いたままにしておいてください。



戻しかた

停電時は、電源の復帰後、以下の手順でベッドを元の状態に戻し、「4 組立後の点検」(107~116 ページ参照)に従って点検を行ってください。

- ① ベッドを使用する方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。
- ② ヘッドボードを取外してください。(118ページ参照)
- ③ 背ボトムと背あげリンクを持ち上げて、支えてください。
- ④ 背アクチュエーターを持ち、背アクチュエーターの穴と頭側フレームにある背アクチュエーター取付部の穴の位置をあわせ、連結ピン(黄)を差込んで、スナップピン(黄)で固定してください。

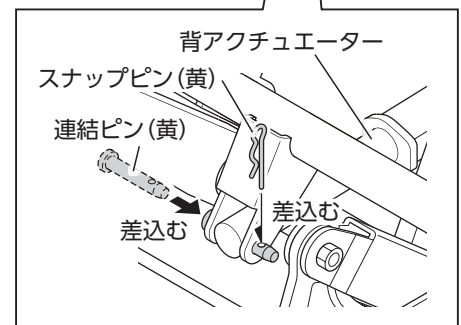
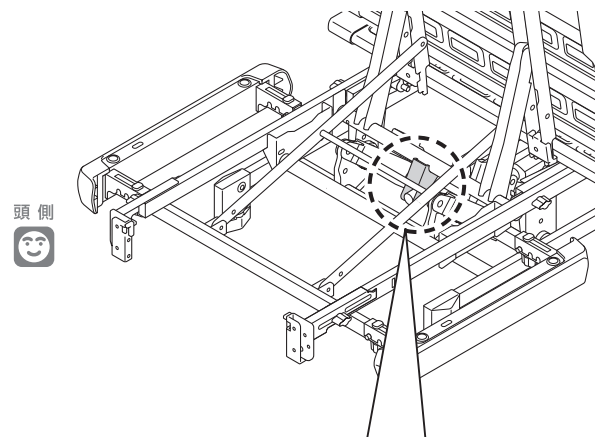
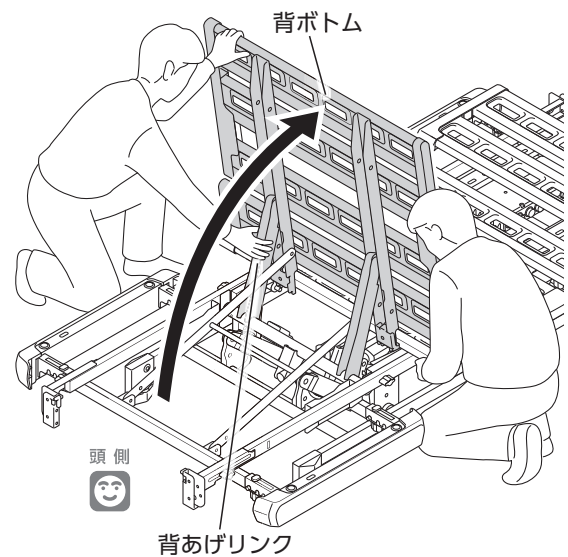


連結ピン(黄)は、手動で背さげしたときに取外したものを使用してください。

ちゅうい
⚠ 注意

スナップピン(黄)は、再利用しないでください。ベッドが破損して、けがをするおそれがあります。新しいスナップピン(黄)は、販売店またはパラテクノコールセンター(130ページ参照)までご依頼ください。

- ⑤ ベッドの電源プラグをコンセントに差込んでください。
- ⑥ 手元スイッチを操作して、背ボトムを一番下までさげてください。
- ⑦ ヘッドボードを取付けてください。(105ページ参照)



6 緊急時のベッド操作のしかた

2.スマートハンドルによるベッド操作のしかた

注意

スマートハンドルの操作時は、ベッドの電源プラグがコンセントから抜けていることを確認してください。スマートハンドルの操作中に誤ってベッドの手元スイッチの操作ボタンが押されると、ベッドが故障するおそれがあります。

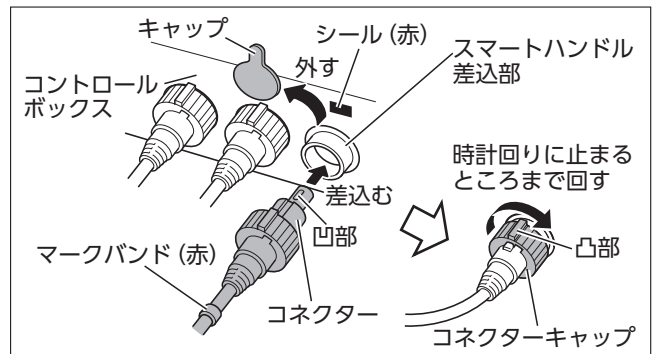


- スマートハンドル (KQ-P70S:別売) をベッドに取付けることにより、「背あげ/背さげ」「膝あげ/膝さげ」「高ささげ」の操作を行うことができます。
- スマートハンドルの収納ケース内に、スマートハンドルの取扱説明書が同梱されています。そちらもあわせてご覧ください。
- スマートハンドルは停電時やベッドの故障*などの緊急時に、すぐに使用できるように収納ケースに保管してください。
※故障内容によっては、スマートハンドルによる操作ができない場合があります。
- スマートハンドルの収納位置については、スマートハンドルの取扱説明書をご覧ください。

スマートハンドルの取付けかた・取外しかた

【スマートハンドルの取付けかた】

- ① ベッドのコントロールボックスのスマートハンドル差込部(シール:赤)のキャップを取外してください。
- ② スマートハンドルのコネクターを、ベッドのコントロールボックスの差込部(シール:赤)に差込んでください。
- ③ コネクターキャップを時計回りに止まるまで回してください。



【スマートハンドルの取外しかた】

使用後は取付けと逆の手順でスマートハンドルを取外し、収納ケースに入れて保管してください。

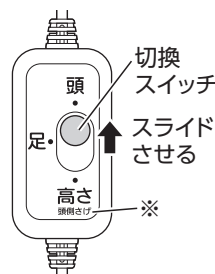


【スマートハンドルの取付けかた】①で取外したキャップは、コントロールボックス保護のために、必ず元通りに取付けてください。

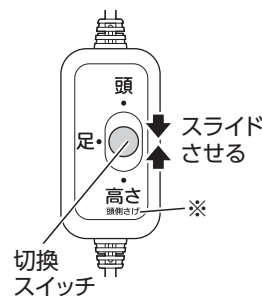
操作のしかた

- ① 切換スイッチを操作したい位置にスライドさせてください。
※切換スイッチのラベルには「頭側さげ」と表示されていますが、KQ-B6000シリーズはベッド全体の高さがさがります。

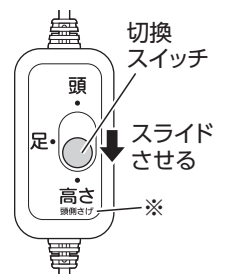
背あげ/背さげ



膝あげ/膝さげ

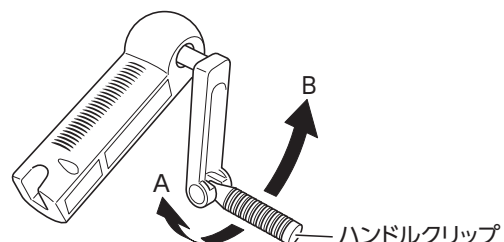


高ささげ



- ② ハンドルグリップを回すとベッドが動きます。

	ハンドルグリップを回す方向	
	A	B
頭	背があがる	背がさがる
足	膝があがる	膝がさがる
高さ	—	高さがさがる



7 適合オプション

ここに記載されているオプション以外を使用する場合は、販売店または直接弊社までお問い合わせください。

各オプションの品番は、段ボール箱・製品識別表示ラベルに記載されています。

※製品識別表示ラベル上は、S****、Q****と表示されています。

例) S161Q → KS-161Qを示します。



適合品は、仕様の変更や組合せなどにより変わる場合があります。また、新製品や製品の販売終了により、適合品が記載されていない場合があります。適合品についてご不明な点は、販売店または直接弊社までお問い合わせください。



けい こく

警告

- オプションは正しい組合せを確認した上でご使用ください。誤った組合せで使用すると、思わぬけがや故障の原因となります。
- ここに記載されているオプション以外は使用しないでください。意図せぬすき間の発生や製品の破損・変形などにより、けがをするおそれがあります。
- オプションを使用するときは、各オプションの取扱説明書をお読みください。

適合表

製品名		品番	参照ページ
ベッドサイドレール	KS-161Qシリーズ	KS-161Q・KS-166・KS-126M/W	53
	KS-171Qシリーズ	KS-171Q・KS-176・KS-146M/W	53
	KS-151Qシリーズ	JIS 認証取得 KS-151Q	53
	KS-191Qシリーズ	KS-191Q	53
	KS-111Qシリーズ	KS-111Q・KS-116Q	53
ソフトカバー付ベッドサイドレール		KS-151QC・KS-161QC・KS-171QC・KS-191QC KS-126MC/WC・KS-146MC/WC KS-166QC・KS-176QC	54
クリアカバー付ベッドサイドレール		KS-151QT・KS-161QT・KS-171QT・KS-191QT KS-126MT/WT・KS-146MT/WT KS-166QT・KS-176QT	54
ソフトガードサイドレール		JIS 認証取得 KS-019A	53
ベッド用グリップ	スイングアーム介助バー	JIS 認証取得 KS-099A/B	55
	サイドグリップ	KS-030A	55
ソフトカバー付 ベッド用グリップ	サイドグリップ	KS-030AC	56
キャスター		JIS 認証取得 KQ-PB3C・KQ-PB1C	54
ハイトスペーサー (延長脚)		JIS 認証取得 KQ-PB1H	55
サイドサポート		KA-037AR/BR・KA-037AL/BL	56
延長フレーム		JIS 認証取得 KQ-PB60L・KQ-PB62L	56
オーバーテーブル		KQ-060M・KQ-060L	57
アジャストテーブル		KQ-090	57
ベッドサイドテーブル		KF-1920/1930/1970/1980/ 1924/1934/1974/1984/ 282/2923/2933/2973	57・58
脚座ゴムシート		KQ-P732	-
脚座カーペット		KQ-P731	-
スマートハンドル		KQ-P70S	-
IVポールホルダー (樹脂ボードのみ)		KQ-P90V・KQ-P70V	58
呼出受信機		KQ-PA0J	58

7 適合オプション

1. ベッドサイドレール

JIS認証取得

- ベッドの両サイドのオプション取付穴を利用して、ベッドサイドレールが使用できます。
- ベッドサイドレールは、ベッドで寝ている方の転落予防、寝具の落下防止を目的としています。
- 立ちあがり時など、支えとしてお使いになる場合は、ベッド用グリップをお使いください。
- 使用する方の状態に応じて、すき間を少なくしたソフトガードサイドレール (KS-019A) や各種カバー ([2. ソフトカバー付/クリアカバー付ベッドサイドレール (54ページ)] の表を参照) をお使いください。
- KQ-B6000シリーズと表のベッドサイドレールの組合せはJIS認証を取得しています。表以外のベッドサイドレールとは組合せないでください。
- 表以外のベッドサイドレールと組合せた場合は、JIS認証を取得していない状態となります。

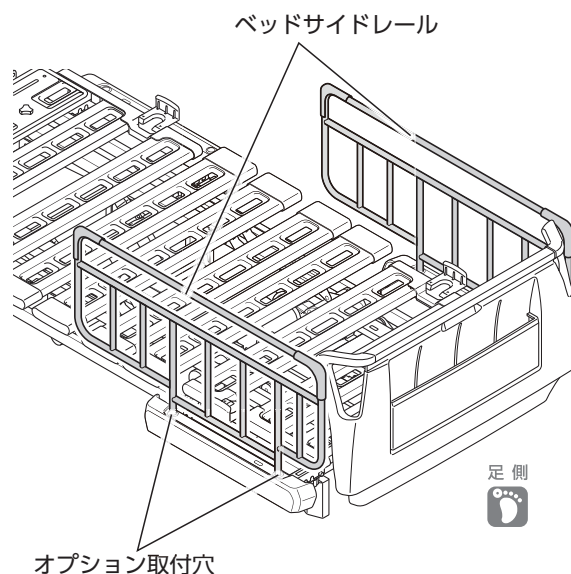
ベッドサイドレール適合表

(cm)

		全長	全高	厚	ベッド取付時の サイドレール高さ
ベッドサイドレール	KS-151Q	59	50.5	2.5	37.5
	KS-161Q	96.5	50.5	2.5	37.5
	KS-171Q	96.5	56.5	2.5	43.5
	KS-191Q	83	50.5	2.5	37.5
	KS-126M/W	96.5	50.5	2.5	37.5
	KS-146M/W	96.5	56.5	2.5	43.5
	KS-166	96.5	50.5	2.5	37.5
	KS-176	96.5	56.5	2.5	43.5
	KS-111Q・KS-116Q	98	53.5	2.8	40
ソフトガードサイドレール	KS-019A	102	59	4	45



KS-191QはKS-099A/B・KS-030Aと並べて、もしくは単独でオプション取付穴に差しして使用するものです。他のベッド用グリップやベッドサイドレールなどと並べて使用したり、KS-191Qを2本並べて使用したりしないでください。詳しくは、59・60ページ「**8** 適合オプションの組合せと取付位置」をご覧ください。



2.ソフトカバー付/クリアカバー付ベッドサイドレール

- ソフトカバー付/クリアカバー付ベッドサイドレールは、表のベッドサイドレールと各種カバーのセットです。
- ソフトカバー/クリアカバーのみでもお求めいただけます。
- 表以外のベッドサイドレールとは組合せないでください。

ソフトカバー付ベッドサイドレール適合表

ソフトカバー付 ベッドサイドレール	ベッドサイドレール	ソフトカバー
KS-151QC	KS-151Q	KS-15C
KS-161QC	KS-161Q	KS-16C
KS-166QC	KS-166	
KS-126MC/WC	KS-126M/W	
KS-171QC	KS-171Q	KS-17C
KS-176QC	KS-176	
KS-146MC/WC	KS-146M/W	
KS-191QC	KS-191Q	KS-19CA

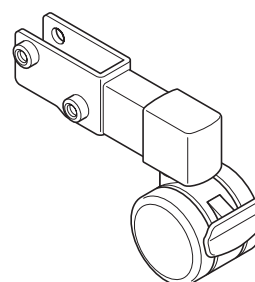
クリアカバー付ベッドサイドレール適合表

クリアカバー付 ベッドサイドレール	ベッドサイドレール	クリアカバー
KS-151QT	KS-151Q	KS-15TA
KS-161QT	KS-161Q	KS-16T
KS-166QT	KS-166	
KS-126MT/WT	KS-126M/W	
KS-171QT	KS-171Q	KS-17T
KS-176QT	KS-176	
KS-146MT/WT	KS-146M/W	
KS-191QT	KS-191Q	KS-19T

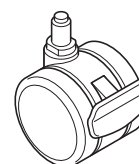
3-1.キャスター

JIS認証取得

- キャスターを取付けることにより、室内での配置換えや掃除をするときなどのベッドの移動を補助します。
- KQ-PB3Cはベッドの高さは変わりません。KQ-PB1Cはベッドの高さが6cm高くなります。
- KQ-B6000シリーズと表のキャスターの組合せはJIS認証を取得しています。表以外のキャスターとは組合せないでください。
- 表以外のキャスターと組合せた場合は、JIS認証を取得していない状態となります。



KQ-PB3C



KQ-PB1C

キャスター適合表

適合するベッドの種類	キャスター
背・ひざ・高・背・高・高	KQ-PB3C
背	KQ-PB1C

KQ-PB3C使用時のゆかからボトム上面の高さ：25cm～60cm

KQ-PB1C使用時のゆかからボトム上面の高さ：31cm/35cm/39cm



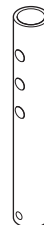
キャスターを使用する場合、ベッドを移動させるとき以外は、4輪すべてのキャスターを固定状態にしてください。ベッドに乗り降りする際に、ベッドが動いて思わぬけがをするおそれがあります。

7 適合オプション

3-2.ハイトスペーサー（延長脚）

JIS認証取得

- ハイトスペーサー（延長脚）を取付けることにより、ベッドの高さを高くすることができます。ゆかからボトム上面の高さを32cm/36cm/40cmの3段階に調節できます。
- KQ-B61**のみ適合します。
- KQ-B6000シリーズと表のハイトスペーサー（延長脚）の組合せはJIS認証を取得しています。表以外のハイトスペーサー（延長脚）とは組合せないでください。
- 表以外のハイトスペーサー（延長脚）と組合せた場合は、JIS認証を取得していない状態となります。



ハイトスペーサー（延長脚）適合表

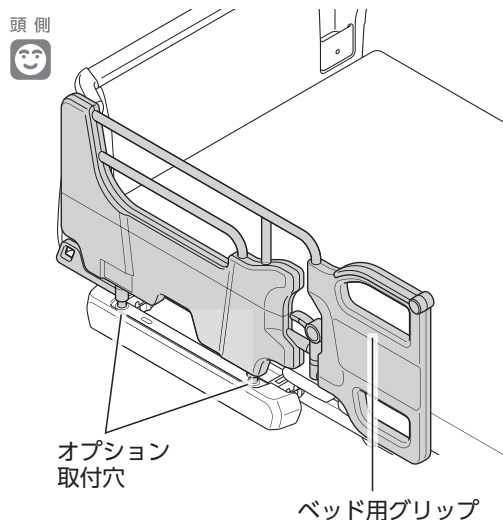
ハイトスペーサー（延長脚）	KQ-PB1H
---------------	---------

ゆかからボトム上面の高さ：32cm/36cm/40cm

4.ベッド用グリップ（スイングアーム介助バー/サイドグリップ）

JIS認証取得

- ベッドの両サイドのオプション取付穴を利用して、ベッド用グリップが使用できます。
- 安全のために、使用者が転落するおそれがある場合は、ベッド用グリップと併用して、サイドグリップ（KS-030A）・サイドレール（KS-151Q・KS-191Qシリーズ）またはサイドサポートをお使いください。
- 使用する方の状態に応じて、すき間を少なくしたソフトカバー（「5.ソフトカバー付ベッド用グリップ（56ページ）」の表を参照）をお使いください。
- KQ-B6000シリーズと表のベッド用グリップの組合せはJIS認証を取得しています。表以外のベッド用グリップとは組合せないでください。
- 表以外のベッド用グリップと組合せた場合は、JIS認証を取得していない状態となります。



ベッド用グリップ適合表

(cm)

		全長	全高	厚	ベッド取付時の サイドレール 高さ
スイングアーム 介助バー	KS-099A/B	112	52.1	4	40
サイドグリップ	KS-030A	82.2	52.3	4	40

※ベッド用グリップと同じ側で使用できるのは、サイドグリップ（KS-030A）・サイドレール（KS-151Q・KS-191Qシリーズ）とサイドサポートのみです。

5. ソフトカバー付ベッド用グリップ

- ソフトカバー付ベッド用グリップは、表のベッド用グリップとソフトカバーのセットです。
- 表以外のベッド用グリップとは組合せないでください。
- ソフトカバーのみでもお求めいただけます。

ソフトカバー付ベッド用グリップ適合表

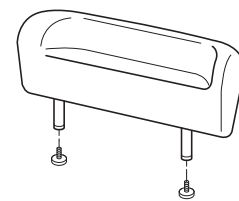
ソフトカバー付 ベッド用グリップ	ベッド用グリップ	ソフトカバー
KS-030AC	KS-030A	KS-30C

6. サイドサポート

ベッドの両サイドのオプション取付穴を利用して、サイドサポートが使用できます。

サイドサポート適合表

サイドサポート	
オプション取付穴差込式	KA-037AR/BR・KA-037AL/BL

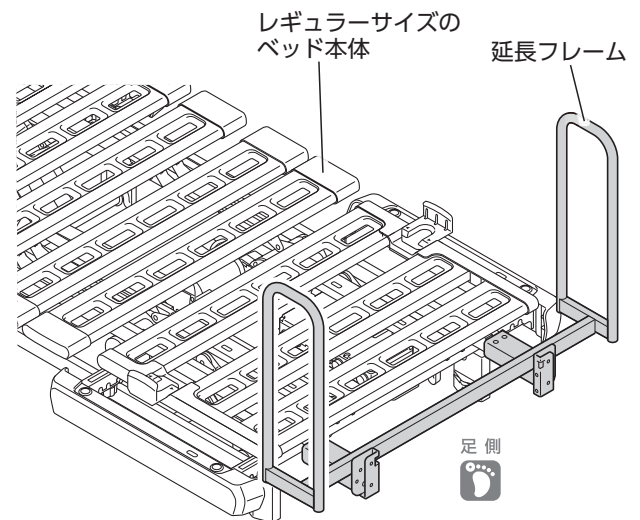


オプション取付穴差込式

7. 延長フレーム (ベッド延長用具)

JIS認証取得

- レギュラーサイズのベッドに取付け、延長マットレス (別売) を置くことにより、ベッド全長を足側に14cm延長でき、長身の方 (170cm後半から) にあわせたロングサイズのベッドにすることができます。
- 延長フレームは、必ず専用の延長マットレス (表) を取付け、延長マットレスに適合するレギュラーサイズマットレスとあわせて使用してください。
- KQ-B6000シリーズと表の延長フレームの組合せはJIS認証を取得しています。表以外の延長フレームとは組合せないでください。
- 表以外の延長フレームと組合せた場合は、JIS認証を取得していない状態となります。



※イラストはフットボードを外した状態です。

延長フレーム適合表

延長フレーム		延長マットレス
83cm幅	KQ-PB60L	KE-L113・KE-L123・KE-553L
91cm幅	KQ-PB62L	KE-L111・KE-L121・KE-551L



警告

延長フレームを取付けて使用するときは、適合する延長マットレス (別売) を使用してください。延長フレームのすき間に身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。

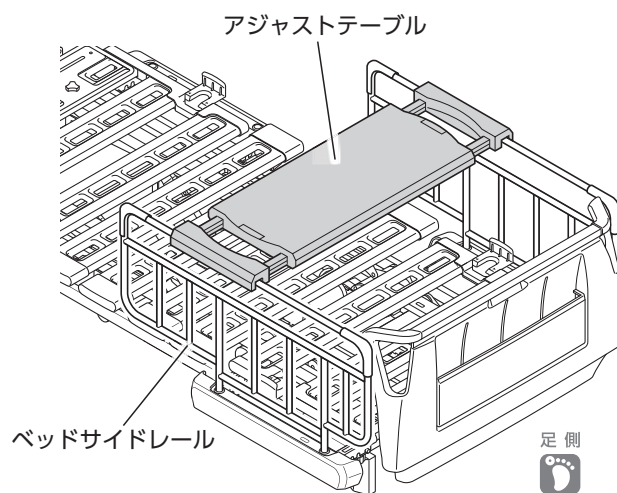
7 適合オプション

8. オーバーテーブル/アジャストテーブル

オーバーテーブル/アジャストテーブルは、ベッドサイドレールの上に載せて使用してください。

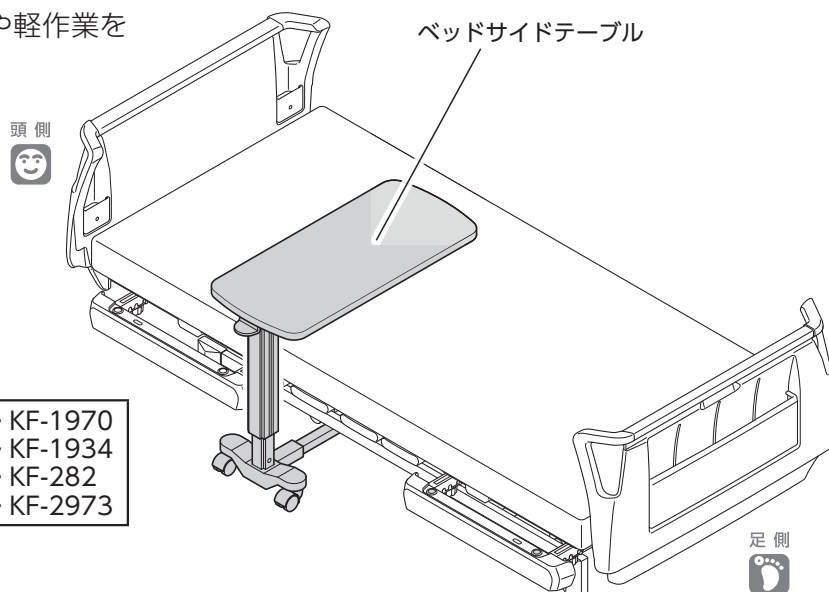
オーバーテーブル/アジャストテーブル適合表

	オーバーテーブル	アジャストテーブル
83cm幅	KQ-060M	KQ-090
91cm幅	KQ-060L	KQ-090



9. ベッドサイドテーブル

ベッドサイドテーブルは、ベッド上で食事や軽作業をするときに使用する製品です。




ベッドサイドテーブル適合表

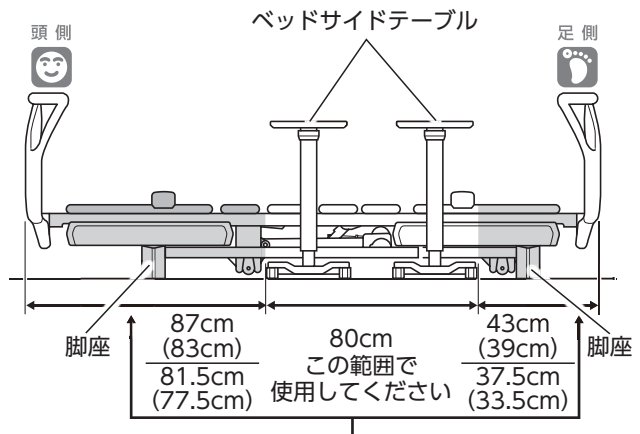
ベッドサイドテーブル	KF-1920・KF-1930・KF-1970 KF-1980・KF-1924・KF-1934 KF-1974・KF-1984・KF-282 KF-2923・KF-2933・KF-2973
------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

警告

- ベッドサイドテーブルをベッドに設置しているときは、ベッドの操作をしないでください。背あげ・高さ調節などのベッド操作をするとベッドとベッドサイドテーブルの間にはさまれてけがをしたり、ベッドサイドテーブルやベッドが破損・変形したりするおそれがあります。ベッドの背・膝あげや高さ調節などをするときは、ベッドサイドテーブルをベッドから離してください。
- コード類（電源コードなど）をテーブルではさんだり、脚部に接触させたりしないようにしてください。コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。特にベッドの電源コードは、テーブルのキャスターで踏まない位置に配線してください。

注意

- 右図は、ベッドサイドテーブルの使用範囲を示しています。( 部分は使用不可)。右図の範囲外で使用すると、ベッドサイドテーブルが破損・変形するおそれがあります。
- ベッドにベッドサイドレール・ベッド用グリップなどを併用する(設置している)場合、ベッドの高さが最高高さ付近では、ベッドサイドテーブルを使用できません。



ベッドに接触するため使用できません。

※上段はレギュラーサイズ、下段はミニサイズ

※上記は樹脂ボード(Q60010B・Q60020B・Q60210B・Q60212B・Q60220B)の場合

※寸法の()内は木製ボードの場合

10. IVポールホルダー (樹脂ボードのみ)

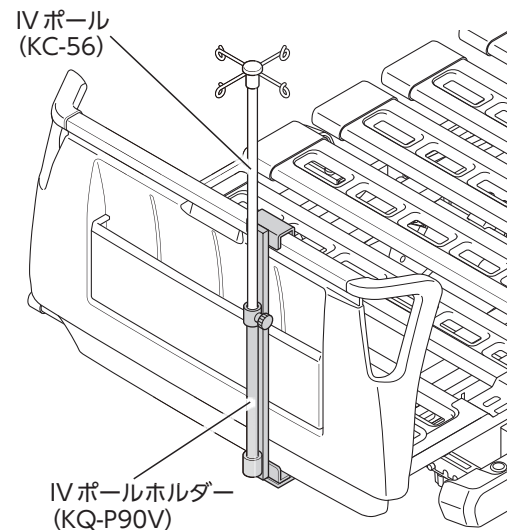
ボードに取り付けることで、IVポール(KC-56:別売)が使用できます。

IVポールホルダー適合表

樹脂ボード	IVポールホルダー
Q60010B・Q60020B・ Q60210B・Q60212B・ Q60220B	KQ-P90V
Q60050B・Q60250B	KQ-P70V

警告

IVポールをご使用になる場合、IVポールホルダーをご使用になり、IVポールホルダー以外にはIVポールを取付けないでください。意図せぬすき間の発生により、けがをするおそれがあります。



※イラストは樹脂ボード(Q60010B・Q60020B・Q60210B・Q60212B・Q60220B)の場合です。

11. 呼出受信機

使用者が手元スイッチの呼出ボタンを押した際に、スマートフォンの代わりに通知を受けることができます。

呼出受信機 適合表

呼出受信機	呼出受信機
	KQ-PA0J

8 適合オプションの組合せと取付位置

適合オプションの組合せと取付位置は、下図を参照して正しく取付けてください。正しい組合せと取付位置を「○」で、誤った組合せと取付位置を「×」で表しています。



● 正しい組合せと取付位置については、モーター数・サイズ（長さ）に関わらず全機種共通です。

※「ミニ」の場合は各オプションがボードよりとび出し、「ロング」はベッド足側に延長フレームが取付きます。

● 各オプションにソフトカバー、クリアカバーおよびサクッとポケットを取付けた場合の正しい組合せと取付位置も同じです。

● ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。

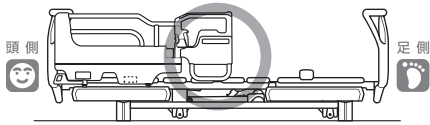
警告

ベッド用グリップやベッドサイドレールは、正しい組合せを確認した上でご使用ください。意図せぬすき間の発生により、けがをするおそれがあります。

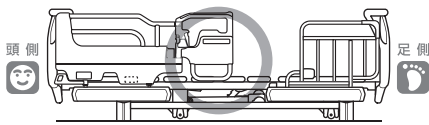
1. ベッド用グリップ（スイングアーム介助バー/サイドグリップ）を使用する場合

各オプションを頭側と足側で入れ替えた場合も同様です。

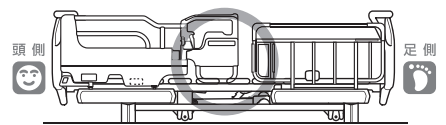
● KS-099A/B



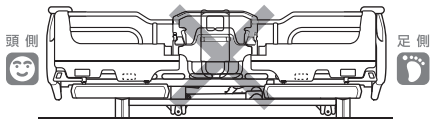
● KS-099A/B
+
● KS-151Q



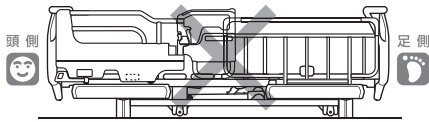
● KS-099A/B
+
● KS-191Q



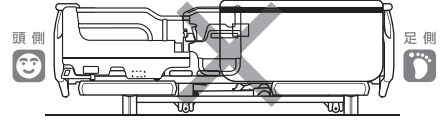
● KS-099A/B
+
● KS-099A/B



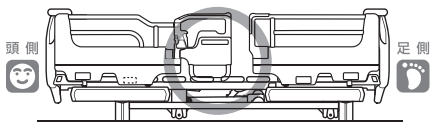
● KS-099A/B
+
● KS-161Q・171Q・111Qシリーズ



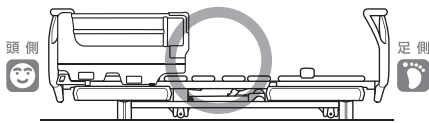
● KS-099A/B
+
● KS-019A



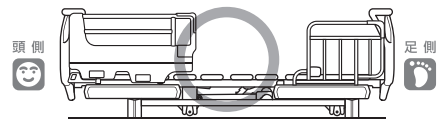
● KS-099A/B
+
● KS-030A



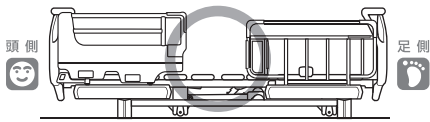
● KS-030A



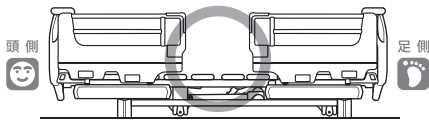
● KS-030A
+
● KS-151Q



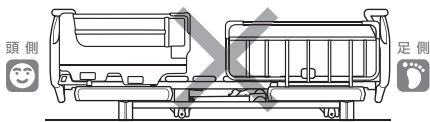
● KS-030A
+
● KS-191Q



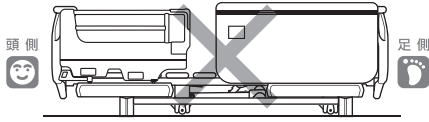
● KS-030A
+
● KS-030A



● KS-030A
+
● KS-161Q・171Q・111Qシリーズ



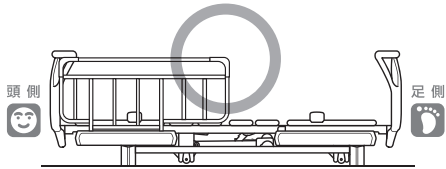
● KS-030A
+
● KS-019A



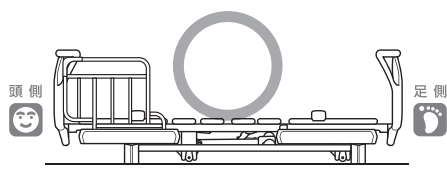
2. ベッドサイドレールを使用する場合

- 各オプションを頭側と足側で入れ替えた場合も同様です。
- 別シリーズのベッドサイドレールの組合せでは高さに差が生じる場合があります。

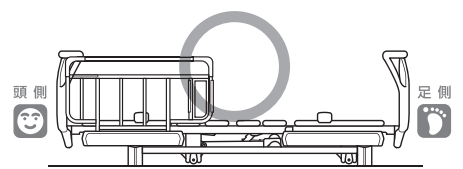
● KS-161Q・171Q・111Qシリーズ



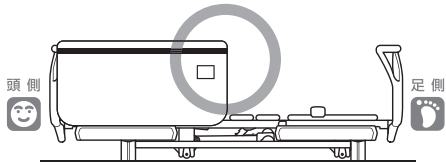
● KS-151Q



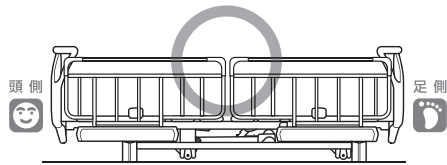
● KS-191Q



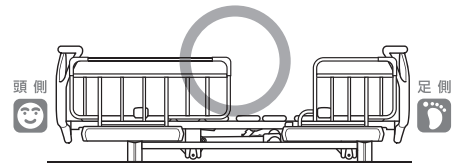
● KS-019A



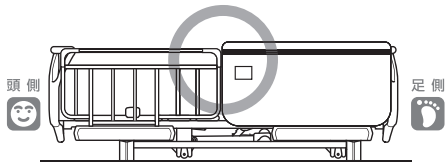
● KS-161Q・171Q・111Qシリーズ
+
● KS-161Q・171Q・111Qシリーズ



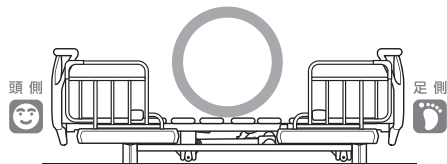
● KS-161Q・171Q・111Qシリーズ
+
● KS-151Q



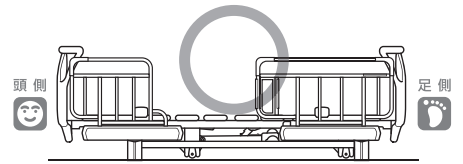
● KS-161Q・171Q・111Qシリーズ
+
● KS-019A



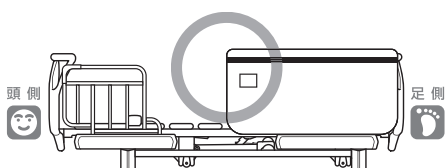
● KS-151Q
+
● KS-151Q



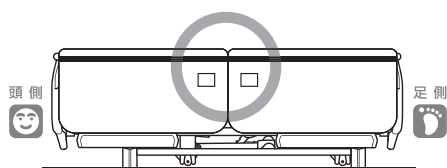
● KS-151Q
+
● KS-191Q



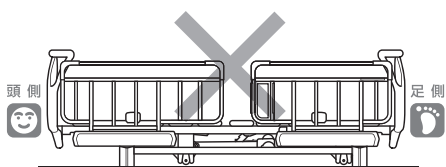
● KS-151Q
+
● KS-019A



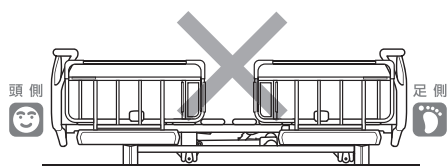
● KS-019A
+
● KS-019A



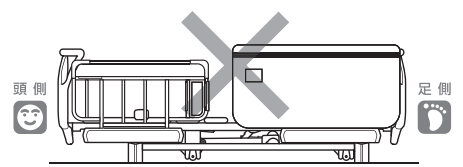
● KS-191Q
+
● KS-161Q・171Q・111Qシリーズ



● KS-191Q
+
● KS-191Q



● KS-191Q
+
● KS-019A



9 マットレス (別売)

警告

- マットレスを設置しない状態では、ベッドを使用しないでください。ボトムのスき間や穴に手や足の指などがはさまれて、けがをするおそれがあります。
- このベッドには、弊社が指定する適合品のマットレスを組合せてご使用ください。弊社が指定する適合品以外のマットレスと組合せると、寸法や折れ曲がりの点で適合しないだけでなく、ベッドサイドレールやベッド用グリップなどにはさまれてけがをしたり、ベッドに負担をかけて故障したりする原因となります。


適合マットレス

一般用マットレス

品名	ベッドサイズ		ミニサイズ		レギュラーサイズ		厚 (cm)
	マットレスサイズ		83cm幅	91cm幅	83cm幅	91cm幅	
	幅×長さ (cm)						
			83×180	91×180	83×191	91×191	
プレグラーマットレス			KE-5531Q	KE-5511Q	KE-553Q	KE-551Q	8
プレグラーSTRマットレス			KE-514T	KE-512T	KE-513T	KE-511T	8
ウレタンフォームマットレス			—	—	KE-253	KE-251	8
ソフティアマットレス			KE-264T	KE-262T	KE-263T	KE-261T	8
エバーリーフマットレス	清拭タイプ		—	—	KE-543S	KE-541S	7
	通気タイプ		KE-544T	KE-542T	KE-543T	KE-541T	
ポケットコイルマットレス			—	—	RB-ZA83P	RB-ZA91P	13.5
クレーターマットレス			—	—	KE-763	KE-761	9

体圧分散マットレス

品名	ベッドサイズ マットレスサイズ	ミニサイズ		レギュラーサイズ		厚 (cm)
		83cm幅	91cm幅	83cm幅	91cm幅	
		幅×長さ(cm)				
エバーリーフマットレス		—	—	KE-533	KE-531	9
エバーフィットC ³ マットレス	ドライタイプ	KE-614UQ	KE-612UQ	KE-613UQ	KE-611UQ	10
	清拭タイプ	KE-614SQ	KE-612SQ	KE-613SQ	KE-611SQ	
	通気タイプ	KE-614TQ	KE-612TQ	KE-613TQ	KE-611TQ	
ストレッチフィットIIマットレス	清拭タイプ	—	—	KE-7A3S	KE-7A1S	10
	ドライタイプ	—	—	KE-7A3U	KE-7A1U	
	さらドライ	—	—	KE-7A3N	KE-7A1N	
	抗ウイルス	—	—	KE-7A3V	KE-7A1V	
	通気タイプ	KE-7A4T	KE-7A2T	KE-7A3T	KE-7A1T	
ストレッチグライドIIマットレス	ドライタイプ	—	—	KE-7B3U	KE-7B1U	12.5
	さらドライ	—	—	KE-7B3N	KE-7B1N	
	抗ウイルス	—	—	KE-7B3V	KE-7B1V	
	通気タイプ	KE-7B4T	KE-7B2T	KE-7B3T	KE-7B1T	
エバークラウドマットレス	ドライタイプ	KE-624UQ	KE-622UQ	KE-623UQ	KE-621UQ	13
	清拭タイプ	KE-624SQ	KE-622SQ	KE-623SQ	KE-621SQ	
	通気タイプ	KE-624TQ	KE-622TQ	KE-623TQ	KE-621TQ	
エアマットレス ここちあ風香		—	—	KE-953M	KE-951M	13
エアマットレス ここちあ利楽	清拭タイプ	KE-974S	KE-972S	KE-973S	KE-971S	13
	通気タイプ	KE-974T	KE-972T	KE-973T	KE-971T	
エアマットレス ここちあ利楽 flow ※	清拭タイプ	KE-914S	KE-912S	KE-913S	KE-911S	17
	通気タイプ	KE-914T	KE-912T	KE-913T	KE-911T	

※エアマットレス ここちあ利楽flowとベッドサイドレール・ベッド用グリップを併用する場合は、KS-171Qシリーズ・KS-111Qシリーズ・KS-019A・KS-098A・KS-099A/B・KS-030Aをご使用ください。ベッドサイドレール・ベッド用グリップについては、52ページ「 適合オプション」をご覧ください。



- 詳細な取扱いは、マットレスに添付されている取扱説明書をご覧ください。
- マットレスはベッドの幅・長さにあわせたものをご使用ください。
- 仕様変更などにより、この取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合わせください。

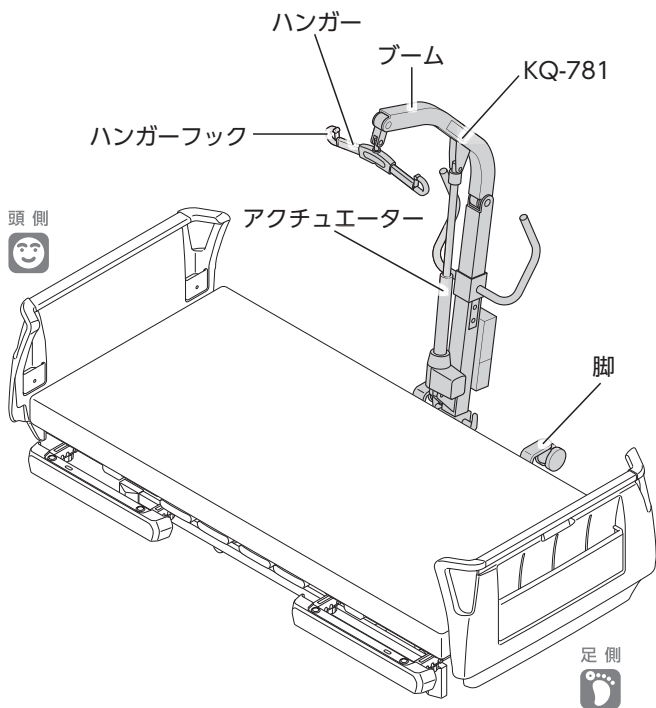
10 電動介護リフトを使用するときのご注意

電動介護リフト（床走行式リフト/ベッド設置式リフト）は、ベッドから車いすへの移乗など、さまざまな移乗動作を補助する製品です。

警告

- 電動介護リフトに添付されている取扱説明書をお読みください。誤った使いかたをすると、思わぬけがをするおそれがあります。
- ベッド操作時および電動介護リフト操作時は、電動介護リフトの周囲に注意してください。
 - ・ ベッドとハンガーの間にはさまれたり、ハンガーに当たったりしてけがをするおそれがあります。
 - ・ ブームやハンガーが人に当たってけがをしたり、ベッドや家具などに当たり破損したりするおそれがあります。
 - ・ ハンガーフックがベッドサイドレールなどに引っ掛かり、電動介護リフトやベッドサイドレールなどが破損・変形するおそれがあります。
 - ・ ベッドと電動介護リフトの脚部やアクチュエーター部などが当たり、破損・変形するおそれがあります。
- 電動介護リフト（床走行式）の脚をベッドの下に差込んでいるときは、電動介護リフト（床走行式）のキャスターのロックを掛けないでください。ベッド操作のときに、ベッドと電動介護リフト（床走行式）の脚部やアクチュエーター部などが当たると、電動介護リフト（床走行式）が転倒してけがをしたり、ベッドや電動介護リフト（床走行式）が破損・変形したりするおそれがあります。
- 電動介護リフト（床走行式）の脚をベッドの下に差込むときは、電源コードを踏んだり乗り越えたりしないでください。電源コードが破損して、感電・火災のおそれがあります。
- 電動介護リフト（ベッド設置式）はベッド頭側のみ設置できます。足側には設置できません。また1モーターベッドには適合しません。誤った使いかたをすると、思わぬけがをするおそれがあります。

10 電動介護リフトを使用するときのご注意




電動介護リフト適合表

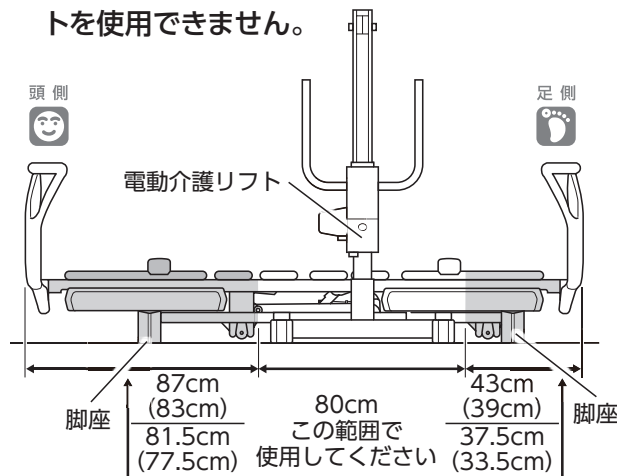
電動介護リフト	KQ-781・KQ-787 KQ-788S・KQ-788L
---------	----------------------------------



仕様変更などによりこの取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合わせください。

注意

- 下図は、電動介護リフト（床走行式）の使用範囲を示しています。（部分は使用不可）。下図の範囲外で使用すると、電動介護リフト（床走行式）が破損・変形するおそれがあります。
- ベッドにベッドサイドレールやベッド用グリップなどを併用する（設置している）場合、ベッドの高さが最高高さ付近では、電動介護リフトを使用できません。



ベッドに接触するため使用できません。
 ※上段はレギュラーサイズ、下段はミニサイズ
 ※上記は樹脂ボード(Q60010B・Q60020B・Q60210B・Q60212B・Q60220B)の場合
 ※寸法の()内は木製ボードの場合

11 定期点検と日常のお手入れ

1. 定期点検について

ベッドを安全にご使用いただくために、1年に1回は定期的に点検してください。使用の頻度や環境により製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ、可動部の動作、破損の有無などを点検してください。

- 点検項目は、107～116ページ「**4** 組立後の点検」を参照してください。
- 異常が認められた場合や詳しい点検を希望される場合は、パラテクノコールセンター（130ページ参照）までお問い合わせください。

2. 日常のお手入れについて

ベッドを快適にご使用いただくためには、日常のお手入れが大切です。下記の要領で、ベッドを清潔にしてください。

警告

- お手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。誤操作により、はさまれてけがをするおそれがあります。
- ベッドに水をかけて掃除しないでください。ショートして感電するおそれがあります。

注意

お手入れするときは、ベッド各部の突起部分でけがをしないように注意してください。

ベッド本体の汚れの落とし方

- ① 水で薄めた中性洗剤にひたした布を、よくしぼって拭いてください。
- ② 水にひたした布をよくしぼって、残った洗剤分を拭き取ってください。
- ③ 乾いた布で残った水分を拭き取ってください。

消毒のしかた

下記の消毒剤を、指定の濃度、消毒剤の取扱説明書などの指示に従ってご使用ください。

消毒剤	指定の濃度
消毒用エタノール	76.9～81.4%
塩化ベンザルコニウム（オスバンなど）	～0.2%
塩化ベンゼトニウム（ハイアミンなど）	～0.2%
グルコン酸クロルヘキシジン（ヒビテンなど）	～0.05%
次亜塩素酸ナトリウム（ミルトンなど）	～0.05%



- 別の方がベッドを使用する前には、ベッドを消毒することをおすすめします。
- オゾン殺菌器、オートクレーブ滅菌器などには対応できません。

注意

- 揮発性のもの（シンナー、ベンジン、ガソリンなど）やクレゾールは使用しないでください。変色・変質するおそれがあります。



- 消毒剤を使用する場合は、指定以外の薬品を使用しないでください。破損・変質のおそれがあります。
- 中性洗剤を使用した場合は、その後水拭きをしてください。水拭きをしないと樹脂の部分が割れるおそれがあります。

オプションのお手入れについて

各オプションに添付されている取扱説明書の指示に従ってください。

マットレスのお手入れについて

マットレスに添付されている取扱説明書の指示に従ってください。

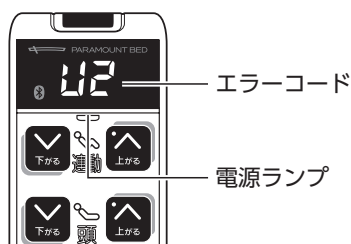
12 故障かな?と思ったら

- 故障でない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。
- チェック・処置をしても正常に動作しない場合は、ただちにベッドの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはパラテクノコールセンター（130ページ参照）まで修理をご依頼ください。
- 以下の症状により、電動で背さげをできない場合は、手動またはスマートハンドルで背さげを行ってください。（48～51ページ参照）
- 故障や一時的異常の場合は、表示パネルにエラーコードが表示されることがあります。エラーコードを確認してください。




警告

地震・火災・水害などで被災したベッドは、販売店またはパラテクノコールセンター（130ページ参照）まで点検・修理をご依頼ください。電装品のショートや漏電による感電・火災、ベッドの変形による動作の異常によって、けがをするおそれがあります。



状態(症状)	手元スイッチの電源ランプ	手元スイッチのエラーコード	チェック	処置	参照ページ
操作ボタンを押してもベッドが動作しない	消灯	—	電源プラグはコンセントに差込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差込んでください。	—
		—	電源プラグはコンセントに差込んでいるが、手元スイッチの電源ランプが消えていませんか？	コンセントに他の電気機器を接続して、電気がきていることを確認してください。	—
	緑で点灯	—	押した操作ボタンの操作選択ランプが消えていませんか？	操作禁止ボタンを操作して、操作ボタンを有効(操作可能)にしてください。	42
		—	手元スイッチの電源が「OFF」になっていませんか？	一度操作ボタンを押すことで、電源が「ON」になります。もう一度、操作ボタンを押してください。	21
	常時、赤で速い点滅(0.2秒ごと)	H3・H5・H6・H7・H8・H9	—	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差直してください。	—
	ボタンを押したときだけ赤で遅い点滅(1秒ごと)	U0	操作ボタンを押したまま、電源プラグをコンセントに差込みませんでしたか？	押されている操作ボタンを離してください。	—
		U1	可動部分に障害物はありませんか？	障害物を取除いてから操作を行ってください。	—
		U2	手元スイッチのコネクターが抜けかけていませんか？	手元スイッチコネクターをコントロールボックスから抜いて、差直してください。	93
			通信状態の異常を知らせる保護機能が働いたと思われます。故障ではありません。電子治療器などを使用するときは、電源プラグを抜いてから使用してください。	—	
	U3	—	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差直してください。	—	

↓ 次ページに続く

状態(症状)	手元スイッチの電源ランプ	手元スイッチのエラーコード	チェック	処置	参照ページ
操作ボタンを押してもベッドが動作しない	ボタンを押したときだけ赤で遅い点滅(1秒ごと)	U4	連続運転しましたか?(アクチュエーターを連続運転すると、運転時間制限が働き、動作が停止することがあります)	20~57分間放置してください。(放置せずに操作すると、再度エラーコードが表示されます)	-
		U5	-	一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差直してください。	-
			アクチュエーターのコネクターが外れていませんか?	アクチュエーターのコネクターを差直してください。	91
		U9	動作が停止した状態で、長い間(30秒以上)ボタンを押し続けていませんか?	ボタンを離してから再度操作してください。	-
	-		一度電源プラグを抜いて、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差直してください。	-	
消灯	-	手元スイッチのコネクターがコントロールボックスから抜けていませんか?	手元スイッチコネクターをコントロールボックスに差込んでください。	93	
操作したボタンと異なる部位が動作する	緑で点灯	-	頭(足)の  ボタンを押したときに膝(背)がさがりましたか?	角度制限機能が働いているため、故障ではありません。	24
		-	アクチュエーターが正しく配線されていますか?	アクチュエーターのコネクターを外し、正しく配線してから操作をしてください。	91
各ポジションが正常にとれない	-	-	可動部分に障害物はありませんか?	障害物を取除いてください。	-
ベッドの移動ができない(キャスター取付時のみ)	-	-	キャスターがロックされていませんか?	キャスターのロックを解除してください。	-
ボードが外れない	-	-	ボードストッパーが固定されていませんか?	ボードストッパーの固定を解除してください。	118

※修理のご依頼やお問い合わせのときは、製品識別表示ラベル(74~78ページ参照)に表示された番号もあわせてご連絡ください。

13 長期保管と移動（移設）

1. 長期保管について

長期にわたりベッドを使用しない場合

- 高温・多湿・低温・乾燥・ほこりの多い場所を避けてください。
温度-10~50℃、湿度30~90% RHの環境で保管してください。
- 取扱説明書は、紛失しないように大切に保管してください。

組みあがった状態でベッドを保管する場合

- 背ボトム、膝・足ボトムを水平にしてください。
- ベッドの高さを最低高さまでさげてください。
- ベッドの上にはマットレス以外のものを載せないでください。
- ベッドは壁に立て掛けたりせず、水平なゆかに水平のまま保管してください。
- 電源プラグをコンセントから抜いて、電源コードをはさんだり踏んだりしない場所に束ねておいてください。

分解して保管する場合

- ベッドの分解は、販売店にご依頼されることをおすすめします。
- お客様でベッドを分解される場合は、「**5** ベッドの分解方法」（117~129ページ参照）に従って分解し、保管してください。

※使用を再開する場合は、「**3** ベッドの組立方法」（82~106ページ参照）に従って正しく組立てた後、「**4** 組立後の点検」（107~116ページ参照）に従って点検してください。

2. 移動 (移設) について

組みあがった状態でベッドを移動 (移設) する場合

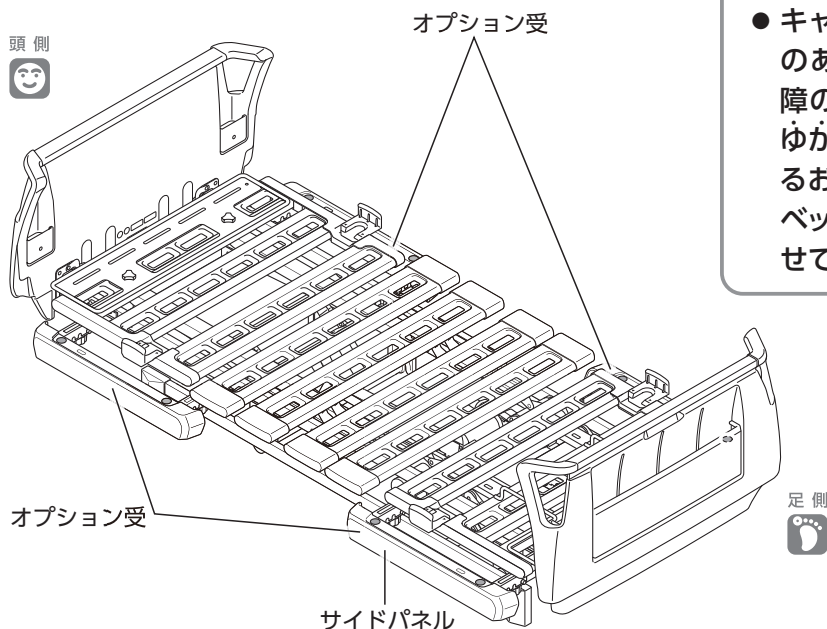
- 背や腰などを痛めないように、少なくとも4人で運んでください。
- ベッドを使用している方にベッドから降りていただき、寝具、マットレスを降ろし、オプション (ベッドサイドレール、ベッド用グリップなど) を取外してください。
- 頭側フレームと足側フレームのオプション受中央部 (オプション取付穴の間) のフレーム部を持って運んでください。
- 手元スイッチ、電源コード、電源プラグを破損や傷から守るために、束ねてベッド本体に固定して運んでください。

^{けい こく} 警告

- 移動 (移設) するときは、オプション受のくぼみを本体の突起にはめ込み、ノブナットでしっかりと固定した状態で持ってください。オプション受ががたついたり外れたりして、けがをするおそれがあります。
- 指定の場所以外を持って、持ちあげたり運んだりしないでください。ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。
- 移動 (移設) するときは、電源プラグをコンセントから外し、ひもなどで電源コードをベッドに固定してください。電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。

^{ちゅう い} 注意

- オプション受の端部を持つと、サイドパネルが破損するおそれがあります。
- キャスターを使用する場合は、段差や傾斜のある路面での移動は避けてください。故障の原因となります。また、ベッドの部品とゆかとのすき間が少ないため、ゆかを傷つけるおそれがあります。やむを得ない場合は、ベッドをできるだけゆっくりと動かして移動させてください。



分解して移動 (移設) させる場合

- ベッドの分解は、販売店にご依頼されることをおすすめします。
- お客様でベッドを分解される場合は、「**5** ベッドの分解方法」(117~129ページ参照)に従って分解してください。

※使用を再開する場合は、「**3** ベッドの組立方法」(82~106ページ参照)に従って正しく組立てた後、「**4** 組立後の点検」(107~116ページ参照)に従って点検してください。

14 仕様

1. ベッド本体

樹脂ボード

91cm幅 レギュ ラー/ ミニ	品番	JIS認証取得	KQ- B6321/ KQ- B632F/ KQ- B632G	KQ- B6325	KQ- B6221/ KQ- B622F/ KQ- B622G	KQ- B6225	KQ- B6421/ KQ- B642F/ KQ- B642G	KQ- B6425	KQ- B6121/ KQ- B612F/ KQ- B612G	KQ- B6125	KQ- B6521/ KQ- B652F/ KQ- B652G	KQ- B6525	KQ- B6021/ KQ- B602F/ KQ- B602G	KQ- B6025
	寸法 (cm)	a.99.9 b.209.6 [ミニ198.6] / 212.3 [ミニ201.3] (*1) c.137.3 / 139.3 (*2) d.25~60 / 25、29、33 (*2) / 25 (*3) e.39 / 40.7 (*1) f.39 / 40.7 (*1)												
	製品質量 (kg)	87.5	88	86.5	87	87.5	88	77.5	78	86.5	87	86.5	87	
83cm幅 レギュ ラー/ ミニ	品番	JIS認証取得	KQ- B6301/ KQ- B630G	KQ- B6305	KQ- B6201/ KQ- B620G	KQ- B6205	KQ- B6401/ KQ- B640G	KQ- B6405	KQ- B6101/ KQ- B610G	KQ- B6105	KQ- B6501/ KQ- B650G	KQ- B6505	KQ- B6001/ KQ- B600G	KQ- B6005
	寸法 (cm)	a.92.9 b.209.6 [ミニ198.6] / 212.3 [ミニ201.3] (*1) c.137.3 / 139.3 (*2) d.25~60 / 25、29、33 (*2) / 25 (*3) e.39 / 40.7 (*1) f.39 / 40.7 (*1)												
	製品質量 (kg)	86.5	87	85.5	86	86.5	87	76.5	77	85.5	86	85.5	86	
モーター数	3モーター 背・ひざ・高		2モーター 背・高		3モーター 背・高 (*4)		1モーター 背		2モーター 背 (*5)		2モーター 高 (*5)			
ボード	樹脂 (白)	樹脂 (ベージュ)	樹脂 (白)	樹脂 (ベージュ)	樹脂 (白)	樹脂 (ベージュ)	樹脂 (白)	樹脂 (ベージュ)	樹脂 (白)	樹脂 (ベージュ)	樹脂 (白)	樹脂 (ベージュ)	樹脂 (白)	樹脂 (ベージュ)
電源コード長さ	有効長さ 3.3m													
手元スイッチ	10ボタン			6ボタン				2ボタン						
主な 材質	ボード	Bluetooth Low Energy (BLE) 対応												
	ボトム	ポリプロピレン (一部ABS (KQ-B6**Fのみ))												
	頭側 本体	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ (一部樹脂成形品)												
	フレーム サイドパネル	ポリプロピレン												
	足側 本体	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ (一部樹脂成形品)												
	フレーム サイドパネル	ポリプロピレン												
ベース フレーム	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ (一部樹脂成形品)													
最大利用者体重	138kg													
安全動作荷重*1	174kg (1700N)													
最大マットレス厚*2	13.5 (17) cm													
動作保証条件	10~40℃ / 30~75%RH													
動作 範囲	背あげ傾斜角度/ 所要時間	0~75° [+7.5°、-5°] / 32秒 (普通)・24秒 (速い)											-	
	膝あげ傾斜角度/ 所要時間	0~30±3° / 15秒 (普通)・ 12秒 (速い)	0~12±2° (背膝連動)	0~20±2° (背膝連動・ ACT駆動時)	0~12±2° (背膝連動)							-		
	昇降高さ調節量/ 所要時間*3	35cm/35秒							-				35cm/35秒	
耐用期間 (予測耐用期間)	8年 [自己認証 (当社データ) による] ※ただし消耗部品は除く													

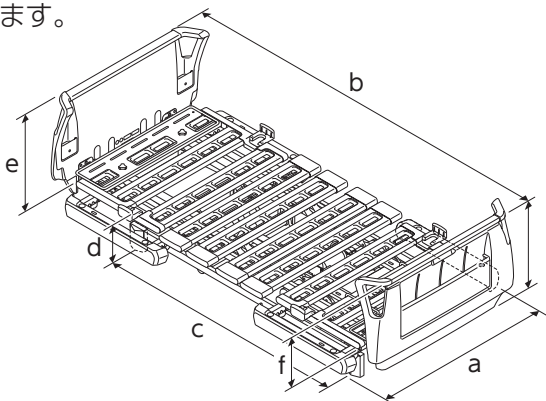
(*1) : KQ-B6**5の場合の数値 (*2) : KQ-B61**の場合の数値 (*3) : KQ-B65**の場合の数値

(*4) : 手元スイッチをRC-1090に交換することで、「背・ひざ・高」仕様のベッドとして使用できます。

(*5) : 手元スイッチをRC-1690に交換することで「背・高」仕様のベッドとして使用できます。

各部の寸法

a~fの寸法は、上記および70ページの表に記載しています。



項目	箇所
a 全幅	最大外形寸法
b 全長	最大外形寸法
c 脚座間の長さ	脚座の中心間長さ
d ボトムの高さ	ゆか~ボトム上面 (最低高さ~最高高さ)
e ヘッドボード高さ	ボトム上面~ヘッドボード上端
f フットボード高さ	ボトム上面~フットボード上端

木製ボード

91cm幅 レギュ ラー/ ミニ	品番	JIS認証取得	KQ- B6326/ KQ- B632J/ KQ- B632K	KQ- B6327/ KQ- B632M/ KQ- B632N	KQ- B6226/ KQ- B622J/ KQ- B622K	KQ- B6227/ KQ- B622M/ KQ- B622N	KQ- B6426/ KQ- B642J/ KQ- B642K	KQ- B6427/ KQ- B642M/ KQ- B642N	KQ- B6126/ KQ- B612J/ KQ- B612K	KQ- B6127/ KQ- B612M/ KQ- B612N	KQ- B6526/ KQ- B652J/ KQ- B652K	KQ- B6527/ KQ- B652M/ KQ- B652N	KQ- B6026/ KQ- B602J/ KQ- B602K	KQ- B6027/ KQ- B602M/ KQ- B602N	
	寸法 (cm)	a.99.9 b.201.7 [ミニ190.7] c.137.3 / 139.3 (*1) d.25~60 / 25、29、33 (*1) / 25 (*2) e.40 f.40													
	製品質量 (kg)	88.5			87.5			88.5			78.5		87.5		87.5
83cm幅 レギュ ラー/ ミニ	品番	JIS認証取得	KQ- B6306/ KQ- B630J/ KQ- B630K	KQ- B6307/ KQ- B630M/ KQ- B630N	KQ- B6206/ KQ- B620J/ KQ- B620K	KQ- B6207/ KQ- B620M/ KQ- B620N	KQ- B6406/ KQ- B640J/ KQ- B640K	KQ- B6407/ KQ- B640M/ KQ- B640N	KQ- B6106/ KQ- B610J/ KQ- B610K	KQ- B6107/ KQ- B610M/ KQ- B610N	KQ- B6506/ KQ- B650J/ KQ- B650K	KQ- B6507/ KQ- B650M/ KQ- B650N	KQ- B6006/ KQ- B600J/ KQ- B600K	KQ- B6007/ KQ- B600M/ KQ- B600N	
	寸法 (cm)	a.92.9 b.201.7 [ミニ190.7] c.137.3 / 139.3 (*1) d.25~60 / 25、29、33 (*1) / 25 (*2) e.40 f.40													
	製品質量 (kg)	87.5			86.5			87.5			77.5		86.5		86.5
モーター数	3モーター 背・ひざ・高			2モーター 背・高			3モーター 背・高 (*3)			1モーター 背		2モーター 背 (*4)		2モーター 高 (*4)	
ボード	木製 (グリッパ)	木製 (スクエア)	木製 (グリッパ)	木製 (スクエア)	木製 (グリッパ)	木製 (スクエア)	木製 (グリッパ)	木製 (スクエア)	木製 (グリッパ)	木製 (スクエア)	木製 (グリッパ)	木製 (スクエア)	木製 (グリッパ)	木製 (スクエア)	
電源コード長さ	有効長さ 3.3m														
手元スイッチ	10ボタン			6ボタン					2ボタン						
主な 材質	ボード	本体	MDFなど、オレフィン系シート												
		エッジ	ポリ塩化ビニル、ABS樹脂												
		グリッパ	ポリプロ ピレン	-	ポリプロ ピレン	-	ポリプロ ピレン	-	ポリプロ ピレン	-	ポリプロ ピレン	-	ポリプロ ピレン	-	ポリプロ ピレン
	ボトム	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ (一部樹脂成形品)													
	頭側 フレーム	本体	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ (一部樹脂成形品)												
		サイドパネル	ポリプロピレン												
	足側 フレーム	本体	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ (一部樹脂成形品)												
サイドパネル		ポリプロピレン													
ベース フレーム	本体	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ (一部樹脂成形品)													
最大利用者体重	138kg														
安全動作荷重 ^{※1}	174kg (1700N)														
最大マットレス厚 ^{※2}	13.5 (17) cm														
動作保証条件	10~40℃ / 30~75%RH														
動作 範囲	背あげ傾斜角度/ 所要時間	0~75° [+7.5°、-5°] / 32秒 (普通)・24秒 (速い)												-	
	膝あげ傾斜角度/ 所要時間	0~30±3° / 15秒 (普通)・ 12秒 (速い)	0~12±2° (背膝連動)	0~20±2° (背膝連動・ ACT駆動時)	0~12±2° (背膝連動)								-		
	昇降高さ調節量/ 所要時間 ^{※3}	35cm/35秒								-				35cm/35秒	
耐用期間 (予測耐用期間)	8年 [自己認証 (当社データ) による] ※ただし消耗部品は除く														

(*1) : KQ-B61**の場合の数値

(*2) : KQ-B65**の場合の数値

(*3) : 手元スイッチをRC-1090に交換することで、「背・ひざ・高」仕様のベッドとして使用できます。

(*4) : 手元スイッチをRC-1690に交換することで「背・高」仕様のベッドとして使用できます。

14 仕様

2.電装品

リニアアクチュエーター (DCモーター)	
電源電圧、周波数	AC100V、50/60Hz
消費電力	背あげ：90W以下 膝あげ：50W以下 高さ調節：155W以下
待機電力	2.5W以下
最大連続使用時間	3分 (休止時間 57分*4)
動作音	65dB以下

※1) 安全動作荷重：ベッドを安全に使用できる荷重。(利用者体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重)

※2) ベッドサイドレール (KS-151Q・161Q・191Qシリーズ) 使用時に適合する弊社製の最大マットレス厚。

() 寸法は、ベッドサイドレール (KS-171Qシリーズ・KS-019A・KS-111Qシリーズ)、ベッド用グリップ (KS-098A・KS-099A/B・KS-030A) 使用時に適合する弊社製の最大マットレス厚。

注) JIS規格を満たす最大マットレス厚は以下の通りです。

●KS-151Q・161Q・191Qシリーズ：15cm ●KS-098A・KS-099A/B・KS-030A：17cm

●KS-171Qシリーズ・KS-019A：21cm ●KS-111Qシリーズ：18cm

※上記製品を組合せて使用する場合は、寸法が小さいものを基準にしてください。

※KS-151Q・161Q・191Qシリーズ、KS-171Qシリーズ、KS-111Qシリーズの詳細につきましては、52ページの「適合表」を参照してください。

※3) 所要時間はあげるときの時間です。さげるときに、ゆかからボトム上面までの高さが32cmに達した時点で安全性確保のため警告音が鳴り一旦停止します。

再度、高ささげボタンを押すと警告音を繰り返し鳴らしながら低速で最低高さまでさがるため、所要時間は異なります。

※4) ベッドを最大連続使用時間 (3分) 動作させた場合、電装品を過熱から保護するための時間。

組立・分解方法

もくじ

1 各部の名称	73	11. ヘッドボードとフットボードの取付け ...	105
2 梱包部品の確認	74	11-1.ヘッドボードの取付け	105・106
梱包部品の確認	74~79	11-2.フットボードの取付け	106
ユニットの組合せとJISの適合について	79~81	4 組立後の点検	107~116
3 ベッドの組立方法	82	5 ベッドの分解方法	117
1. ベースフレームの組立て	82	1. 分解作業前の準備	117
1-1. 背・ひざ・高 ・ 背・高 ・ 高 の場合	82~84	2. ヘッドボードとフットボードの取外し ...	118
1-2. 背 の場合	84・85	2-1.ヘッドボードの取外し	118
2. 足側フレームの取付け	85	2-2.フットボードの取外し	118
2-1. 背・ひざ・高 ・ 背・高 ・ 高 の場合	86・87	3. マットレス止めの取外し	118
2-2. 背 の場合	88	3-1.マットレス止め (小) の取外し	118
3. 頭側フレームの取付け	89・90	3-2.マットレス止め (大) の取外し	119
4. ケーブル・コード類の配線	91	4. ボトムの取外し	119
4-1.ハイローアクチュエーターの配線	91	4-1.膝・足ボトムの取外し	119・120
4-2.電源コードの配線	92	4-2.背ボトムの取外し	120・121
4-3.手元スイッチコードの配線	93	4-3.腰ボトムの取外し	121
5. 背膝連動幹の付替え (背・高 ・ 背 のみ)	94	5. 背膝連動幹の付替え (背・高・背のみ)	122
6. オプション受の調節	95	6. ケーブル・コード類の配線の取外し	123
7. ボード受金具の調節	96	6-1.手元スイッチコードの配線の取外し	123
8. ボトムの取付け	97	6-2.電源コードの配線の取外し	123
8-1.腰ボトムの取付け	97	6-3.ハイローアクチュエーターの配線の取外し ...	124
8-2.背ボトムの取付け	98	7. 頭側フレームの取外し	125
8-3.膝・足ボトムの取付け	100	8. 足側フレームの取外し	126・127
9. 背ボトム長さ、ボトム幅の切換えかた ...	101	9. 脚座の取外し 背・ひざ・高・背・高・高	128
9-1.背ボトム長さの切換え	101	10. 脚の取外し 背	128
9-2.ボトム幅の切換え	102	11. 付属部品と分解したユニットの保管	129
10. マットレス止めの取付け	103	アフターサービス	130
10-1.マットレス止め (小) の取付け	103		
10-2.マットレス止め (大) の取付け	104		

1

2

3

4


5

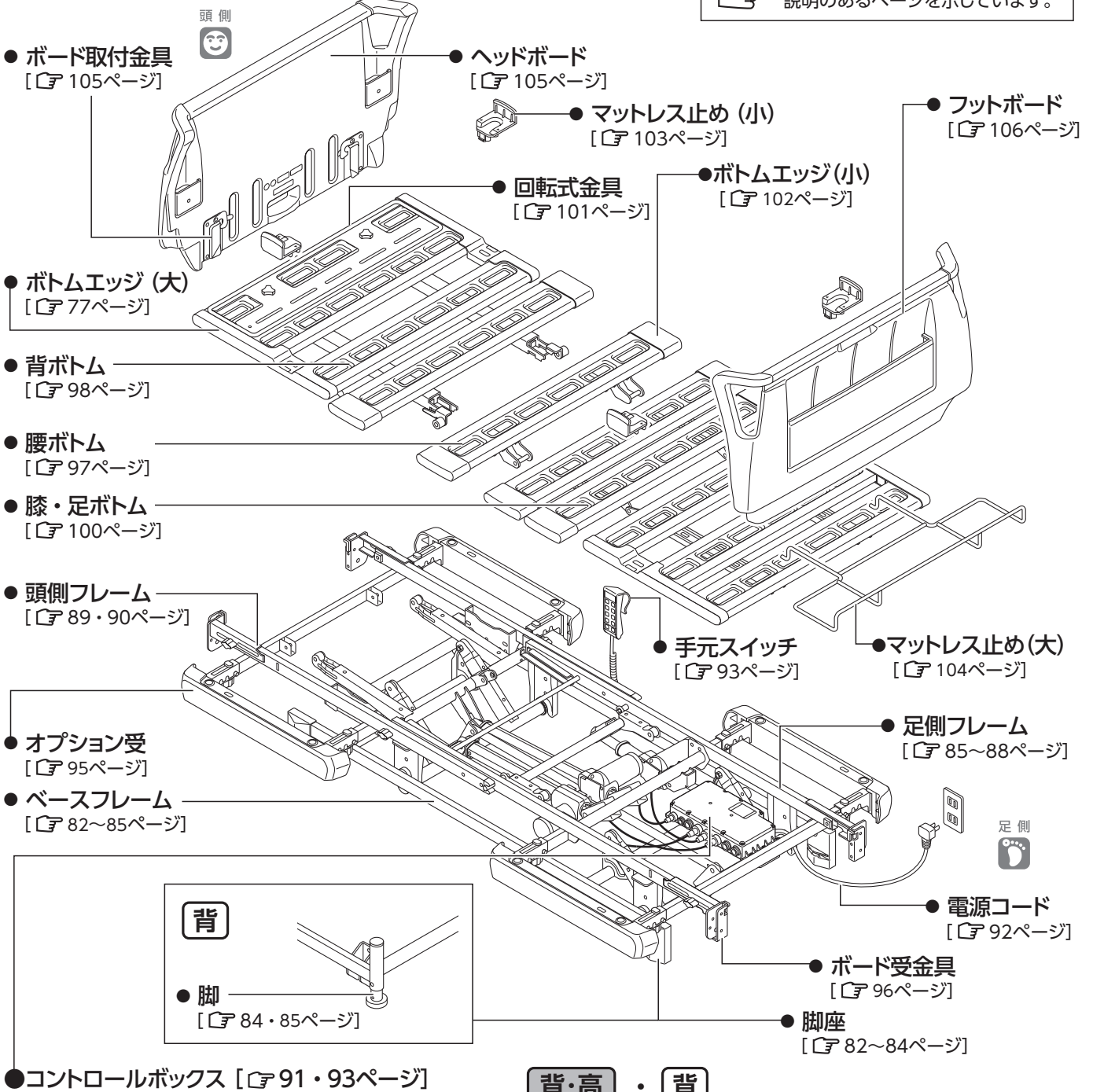
組立・分解方法

アフターサービス

1 各部の名称

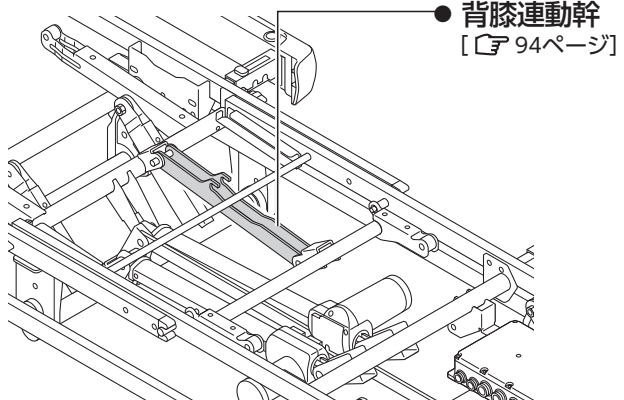
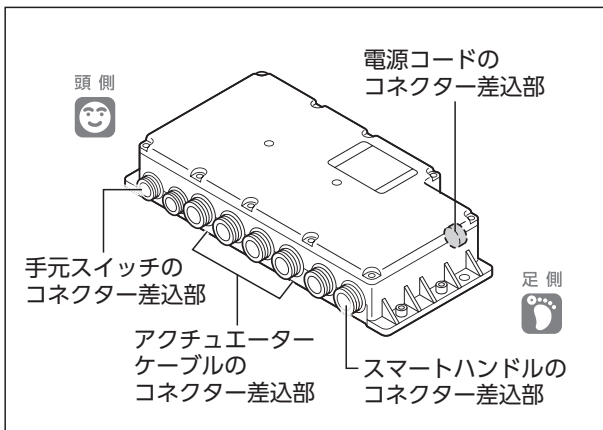
※イラストは **背・ひざ・高** で示しています。

 このマークの数字は、説明のあるページを示しています。



背

背・高 ・ **背**



2 梱包部品の確認

梱包部品の確認

■開梱後、下記の部品がすべて揃っていること、破損していないことを確認してください。万一、部品の不足や破損があった場合には、販売店または直接弊社までご連絡ください。

注意

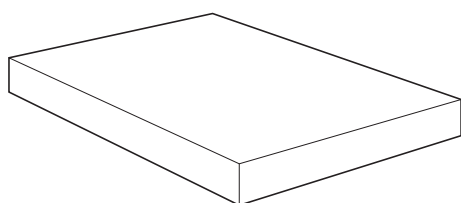
- 重量のあるユニットを用いてベッドを組立てたり、移動したりするときは、2人以上で作業を行ってください。背や腰などを痛めるおそれがあります。
- 組立ての際には、ユニット同士やユニットの可動部で、手や指をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。

※ () 内の数字は、梱包材を含む質量です。

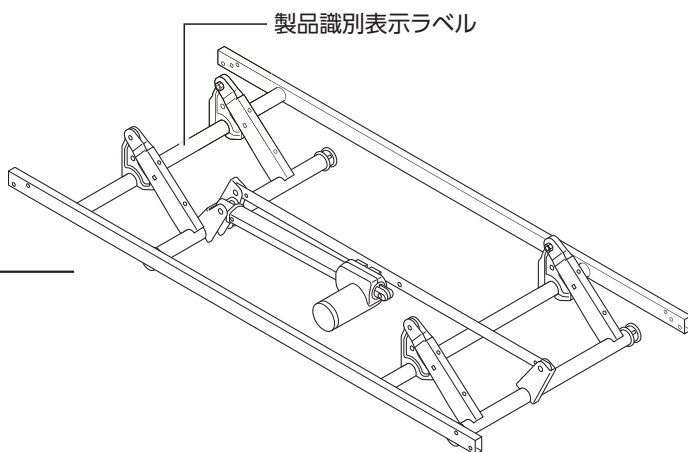
1 ベースフレーム

背・ひざ・高 • 背・高 • 高

QB6100V
18.5kg
(22kg)



150×68×18 (cm)



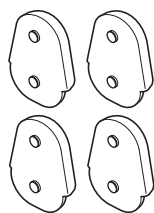
付属品

- セットアップガイド×1
- 取扱説明書×1
- すき間および電装品についての注意事項×1
- 保証書×1



コードクリップ×1

組立付属部品



リンク受キャップ×4

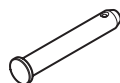
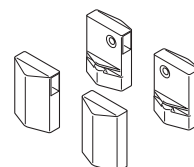


曲げスナップピン (小)×6



曲げなしスナップピン (黄)×1
※以下、「スナップピン (黄)」と記載します

脚座×4



連結ピン (黄)×1



連結ピン (大)×2



ノブボルト×2



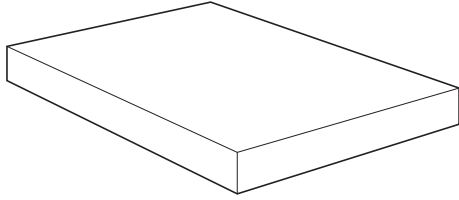
プッシュリベット×4

2 梱包部品の確認

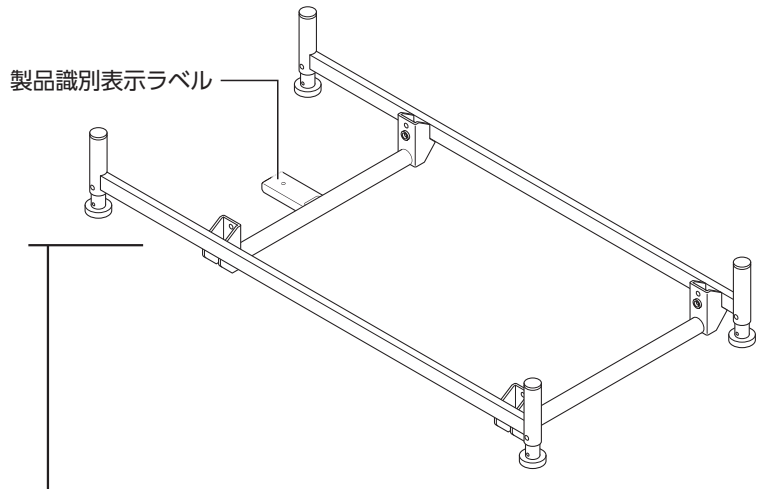
背

QB6000V

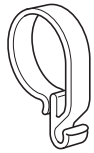
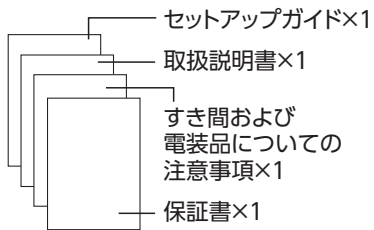
9.5kg
(13.5kg)



149×77×26 (cm)

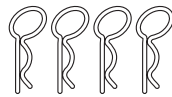


付属品



コードクリップ×1

組立付属部品



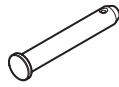
曲げスナップピン(大)×4



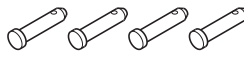
曲げスナップピン(小)×2



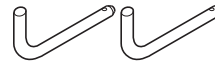
曲げなしスナップピン(黄)×1
※以下、「スナップピン(黄)」と記載します



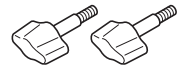
連結ピン(黄)×1



連結ピン(小)×4



連結ピン(大)×2



ノブボルト×2

■曲げスナップピンは、(大)(小)2種類あります。

●曲げスナップピン(小)

組立付属部品として使用します



●曲げスナップピン(大)

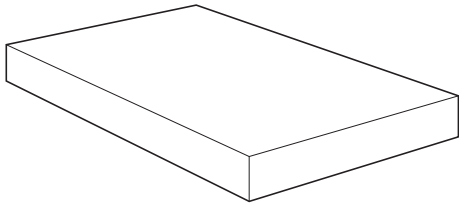
組立付属部品として使用します



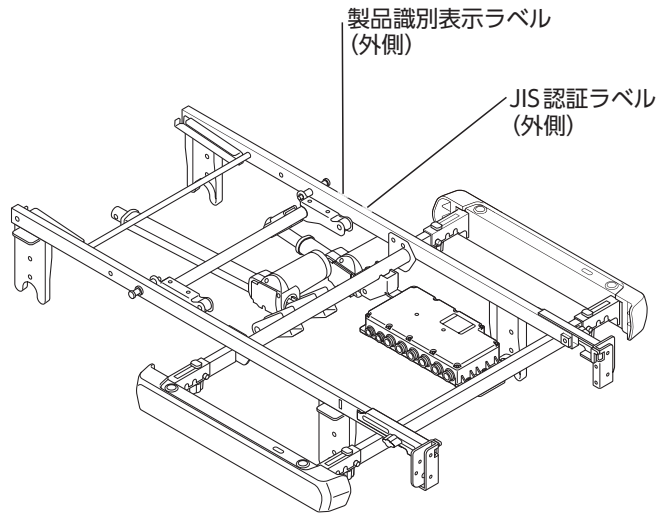
②足側フレーム

背・ひざ・高

QB6300F
22.5kg
(26kg)

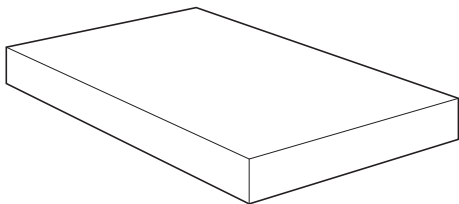


128×90×24 (cm)

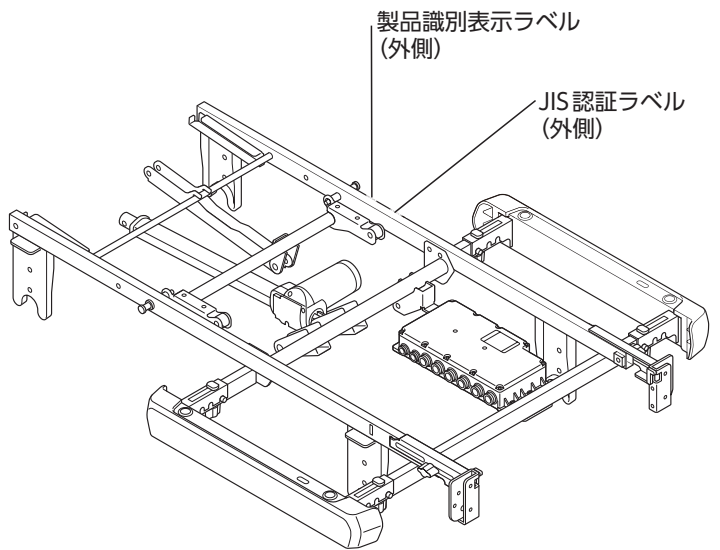


背・高 ・ 背 ・ 高

QB6200F
21.5kg
(25kg)

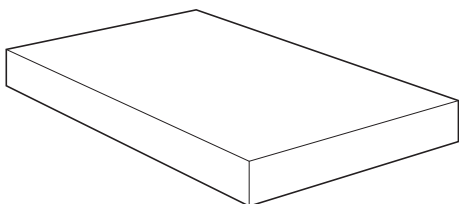


128×90×24 (cm)

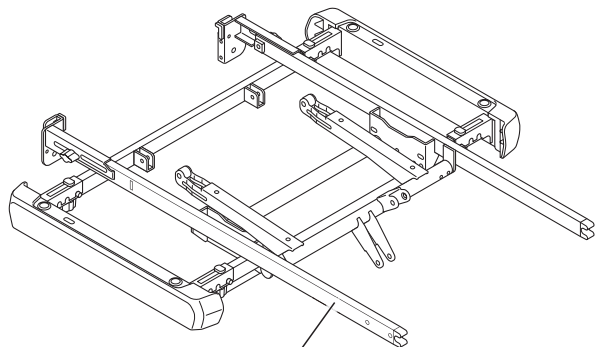


③頭側フレーム

QB6100H
15kg
(18kg)



110×95×16 (cm)



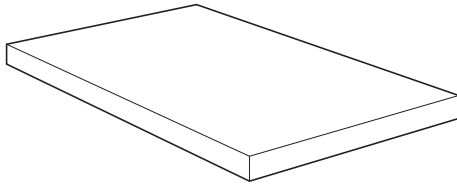
製品識別表示ラベル

2 梱包部品の確認

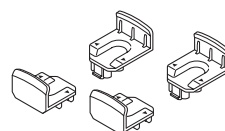
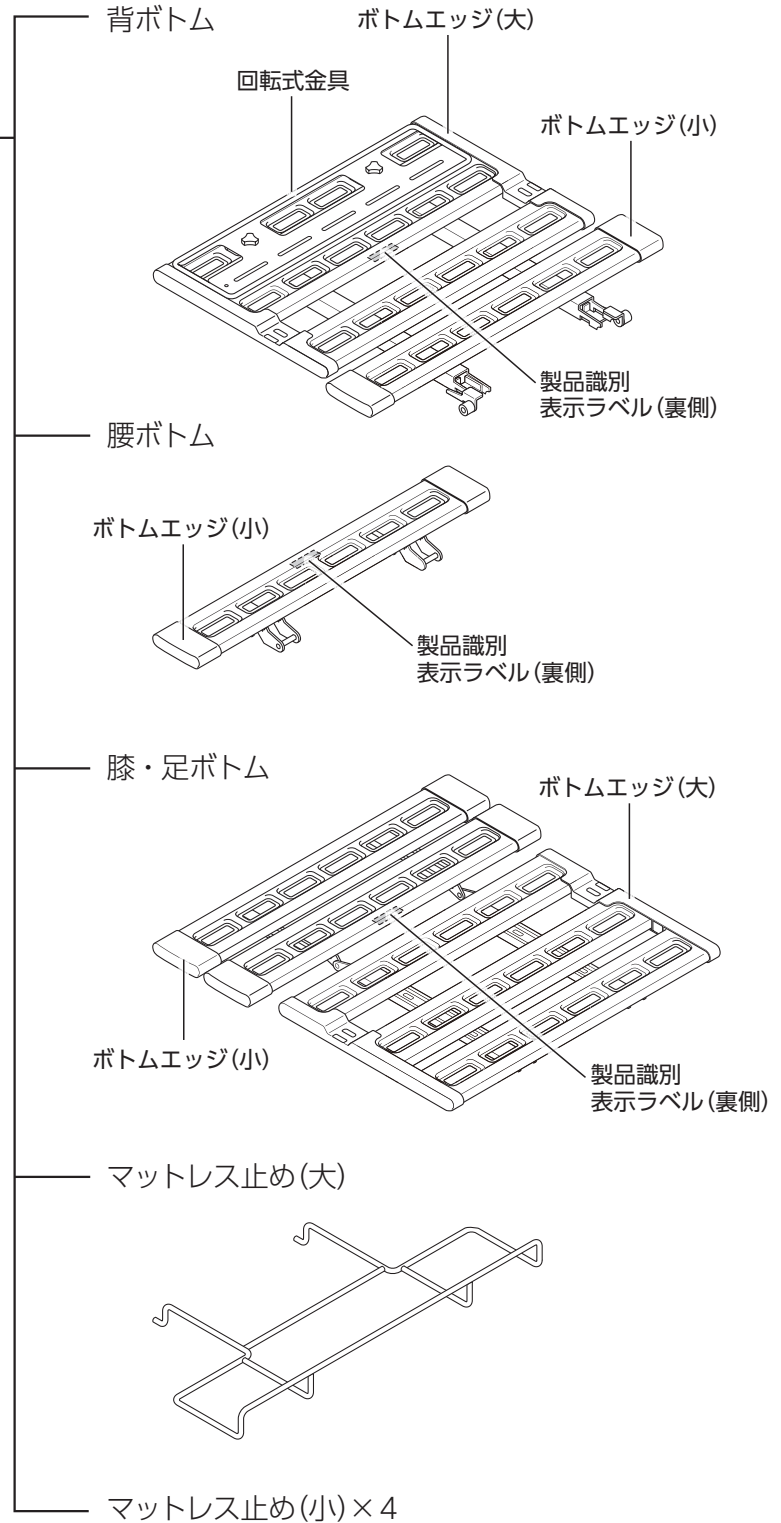
④ボトム

QB6000U

22kg
(25.5kg)

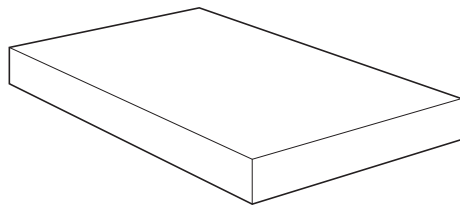


109×88×15 (cm)



⑤ボードセット

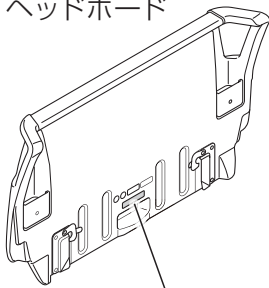
樹脂 (Q60*1*B/ Q60*20B)		樹脂 (Q60*50B)		木製 (グリップ)		木製 (スクエア)	
・83cm幅 Q60010B Q60020B 8kg (9.5kg)	・91cm幅 Q60210B Q60212B Q60220B 9kg (10kg)	・83cm幅 Q60050B 8.5kg (10kg)	・91cm幅 Q60250B 9.5kg (11kg)	・83cm幅 Q6006*B 9kg (11kg)	・91cm幅 Q6026*B 10kg (12kg)	・83cm幅 Q6007*B 9kg (11kg)	・91cm幅 Q6027*B 10kg (12kg)



86×54×18 (cm) [Q60010B/Q60020B]
 93×54×18 (cm) [Q60210B/Q60212B/Q60220B]
 86×55×19 (cm) [Q60050B]
 93×55×19 (cm) [Q60250B]
 91×60×8 (cm) [Q6006*B・Q6007*B]
 98×60×8 (cm) [Q6026*B・Q6027*B]

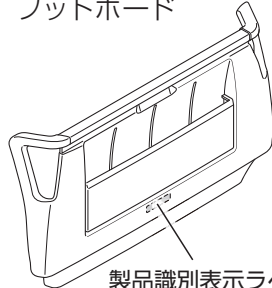
ボード(樹脂) (Q60*1*B/Q60*20B)

ヘッドボード



製品識別表示ラベル

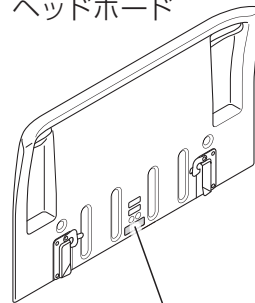
フットボード



製品識別表示ラベル
(裏側)

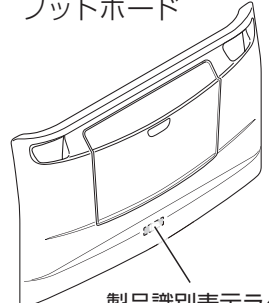
ボード(樹脂) (Q60*50B)

ヘッドボード



製品識別表示ラベル

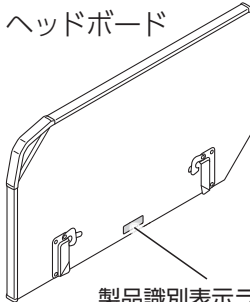
フットボード



製品識別表示ラベル
(裏側)

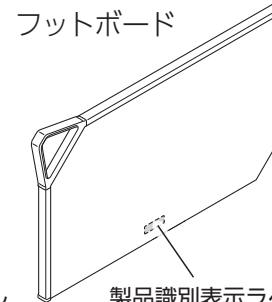
ボード(木製:グリップ)

ヘッドボード



製品識別表示ラベル

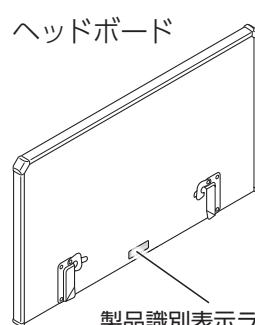
フットボード



製品識別表示ラベル
(裏側)

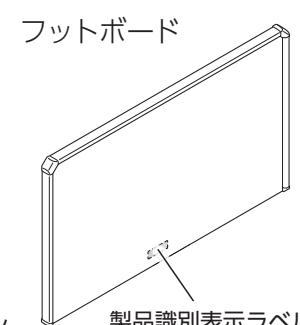
ボード(木製:スクエア)

ヘッドボード



製品識別表示ラベル

フットボード

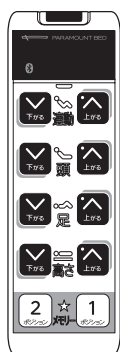


製品識別表示ラベル
(裏側)

2 梱包部品の確認

⑥手元スイッチ

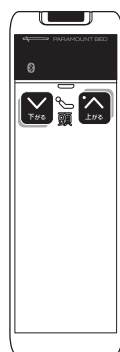
RC-1090
0.5kg
(0.5kg)



RC-1690
0.5kg
(0.5kg)



RC-1290
0.5kg
(0.5kg)



RC-1290H
0.5kg
(0.5kg)



ユニットの組合せとJISの適合について

下表のユニットの組合せでJIS認証を取得しています。下表の組合せ以外では使用しないでください。下表の組合せ以外の場合は、JIS認証を取得していない状態となります。

オプションについては、「**7** 適合オプション」(52～58ページ)を参照してください。



警告

ベッドは正しいユニットの組合せを確認した上で組立ててください。誤った組合せで使用すると、思わぬけがや故障の原因となります。各ユニットの番号は、段ボール箱・製品識別表示ラベルに記載されています。

背・ひざ・高

	レギュラー/ミニ									
	91幅									
	KQ-B6321	KQ-B6325	KQ-B6326	KQ-B6327	KQ-B632F	KQ-B632G	KQ-B632J	KQ-B632K	KQ-B632M	KQ-B632N
ベースフレーム	QB6100V									
足側フレーム	QB6300F									
頭側フレーム	QB6100H									
ボトム	QB6000U									
ボード	Q60210B	Q60250B	Q60260B	Q60270B	Q60212B	Q60220B	Q60261B	Q60262B	Q60271B	Q60272B
手元スイッチ	RC-1090									

	レギュラー/ミニ								
	83幅								
	KQ-B6301	KQ-B6305	KQ-B6306	KQ-B6307	KQ-B630G	KQ-B630J	KQ-B630K	KQ-B630M	KQ-B630N
ベースフレーム	QB6100V								
足側フレーム	QB6300F								
頭側フレーム	QB6100H								
ボトム	QB6000U								
ボード	Q60010B	Q60050B	Q60060B	Q60070B	Q60020B	Q60061B	Q60062B	Q60071B	Q60072B
手元スイッチ	RC-1090								

背・高 (ひざモーター付き)

	レギュラー/ミニ									
	91幅									
	KQ-B6421	KQ-B6425	KQ-B6426	KQ-B6427	KQ-B642F	KQ-B642G	KQ-B642J	KQ-B642K	KQ-B642M	KQ-B642N
ベースフレーム	QB6100V									
足側フレーム	QB6300F									
頭側フレーム	QB6100H									
ボトム	QB6000U									
ボード	Q60210B	Q60250B	Q60260B	Q60270B	Q60212B	Q60220B	Q60261B	Q60262B	Q60271B	Q60272B
手元スイッチ	RC-1690									

	レギュラー/ミニ								
	83幅								
	KQ-B6401	KQ-B6405	KQ-B6406	KQ-B6407	KQ-B640G	KQ-B640J	KQ-B640K	KQ-B640M	KQ-B640N
ベースフレーム	QB6100V								
足側フレーム	QB6300F								
頭側フレーム	QB6100H								
ボトム	QB6000U								
ボード	Q60010B	Q60050B	Q60060B	Q60070B	Q60020B	Q60061B	Q60062B	Q60071B	Q60072B
手元スイッチ	RC-1690								

※「背・高 (ひざモーター付き)」仕様のベッドは、手元スイッチをRC-1090に交換することで、「背・ひざ・高」仕様のベッドとして使用できます。

背・高

	レギュラー/ミニ									
	91幅									
	KQ-B6221	KQ-B6225	KQ-B6226	KQ-B6227	KQ-B622F	KQ-B622G	KQ-B622J	KQ-B622K	KQ-B622M	KQ-B622N
ベースフレーム	QB6100V									
足側フレーム	QB6200F									
頭側フレーム	QB6100H									
ボトム	QB6000U									
ボード	Q60210B	Q60250B	Q60260B	Q60270B	Q60212B	Q60220B	Q60261B	Q60262B	Q60271B	Q60272B
手元スイッチ	RC-1690									

	レギュラー/ミニ								
	83幅								
	KQ-B6201	KQ-B6205	KQ-B6206	KQ-B6207	KQ-B620G	KQ-B620J	KQ-B620K	KQ-B620M	KQ-B620N
ベースフレーム	QB6100V								
足側フレーム	QB6200F								
頭側フレーム	QB6100H								
ボトム	QB6000U								
ボード	Q60010B	Q60050B	Q60060B	Q60070B	Q60020B	Q60061B	Q60062B	Q60071B	Q60072B
手元スイッチ	RC-1690								

2 梱包部品の確認

背 (高さモーター付き)

	レギュラー/ミニ									
	91幅									
	KQ-B6521	KQ-B6525	KQ-B6526	KQ-B6527	KQ-B652F	KQ-B652G	KQ-B652J	KQ-B652K	KQ-B652M	KQ-B652N
ベースフレーム	QB6100V									
足側フレーム	QB6200F									
頭側フレーム	QB6100H									
ボトム	QB6000U									
ボード	Q60210B	Q60250B	Q60260B	Q60270B	Q60212B	Q60220B	Q60261B	Q60262B	Q60271B	Q60272B
手元スイッチ	RC-1290									

	レギュラー/ミニ								
	83幅								
	KQ-B6501	KQ-B6505	KQ-B6506	KQ-B6507	KQ-B650G	KQ-B650J	KQ-B650K	KQ-B650M	KQ-B650N
ベースフレーム	QB6100V								
足側フレーム	QB6200F								
頭側フレーム	QB6100H								
ボトム	QB6000U								
ボード	Q60010B	Q60050B	Q60060B	Q60070B	Q60020B	Q60061B	Q60062B	Q60071B	Q60072B
手元スイッチ	RC-1290								

※「背(高さモーター付き)」仕様のベッドは、手元スイッチをRC-1690に交換することで「背・高」仕様のベッドとして使用できます。

背

	レギュラー/ミニ									
	91幅									
	KQ-B6121	KQ-B6125	KQ-B6126	KQ-B6127	KQ-B612F	KQ-B612G	KQ-B612J	KQ-B612K	KQ-B612M	KQ-B612N
ベースフレーム	QB6000V									
足側フレーム	QB6200F									
頭側フレーム	QB6100H									
ボトム	QB6000U									
ボード	Q60210B	Q60250B	Q60260B	Q60270B	Q60212B	Q60220B	Q60261B	Q60262B	Q60271B	Q60272B
手元スイッチ	RC-1290									

	レギュラー/ミニ								
	83幅								
	KQ-B6101	KQ-B6105	KQ-B6106	KQ-B6107	KQ-B610G	KQ-B610J	KQ-B610K	KQ-B610M	KQ-B610N
ベースフレーム	QB6000V								
足側フレーム	QB6200F								
頭側フレーム	QB6100H								
ボトム	QB6000U								
ボード	Q60010B	Q60050B	Q60060B	Q60070B	Q60020B	Q60061B	Q60062B	Q60071B	Q60072B
手元スイッチ	RC-1290								

高 (背モーター付き)

	レギュラー/ミニ									
	91幅									
	KQ-B6021	KQ-B6025	KQ-B6026	KQ-B6027	KQ-B602F	KQ-B602G	KQ-B602J	KQ-B602K	KQ-B602M	KQ-B602N
ベースフレーム	QB6100V									
足側フレーム	QB6200F									
頭側フレーム	QB6100H									
ボトム	QB6000U									
ボード	Q60210B	Q60250B	Q60260B	Q60270B	Q60212B	Q60220B	Q60261B	Q60262B	Q60271B	Q60272B
手元スイッチ	RC-1290H									

	レギュラー/ミニ								
	83幅								
	KQ-B6001	KQ-B6005	KQ-B6006	KQ-B6007	KQ-B600G	KQ-B600J	KQ-B600K	KQ-B600M	KQ-B600N
ベースフレーム	QB6100V								
足側フレーム	QB6200F								
頭側フレーム	QB6100H								
ボトム	QB6000U								
ボード	Q60010B	Q60050B	Q60060B	Q60070B	Q60020B	Q60061B	Q60062B	Q60071B	Q60072B
手元スイッチ	RC-1290H								

※「高(背モーター付き)」仕様のベッドは、手元スイッチをRC-1690に交換することで「背・高」仕様のベッドとして使用できます。

3 ベッドの組立方法

1. ベースフレームの組立て

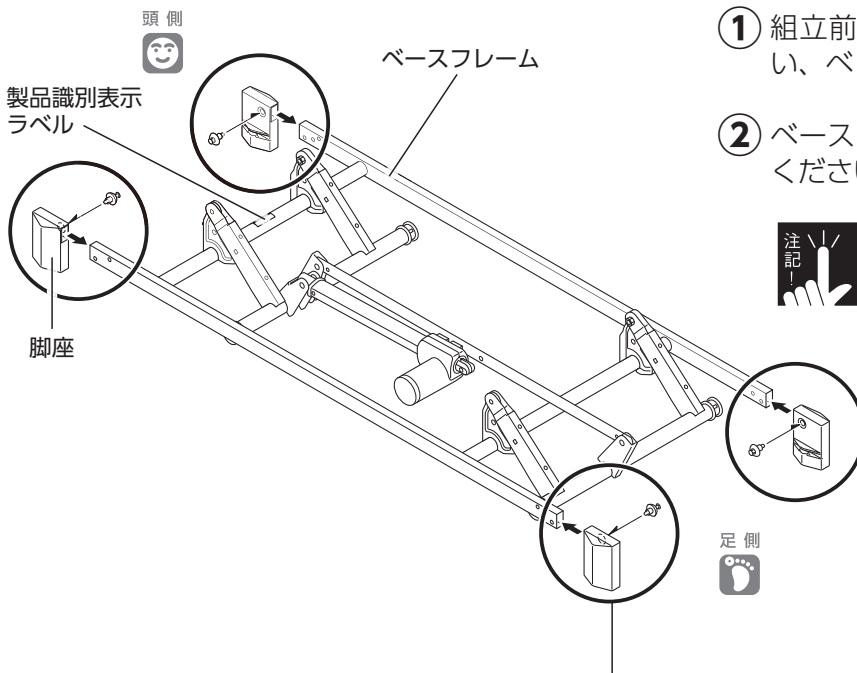
警告

- プッシュリベットやボルトで脚座または脚を確実に固定してください。固定されていない場合、脚座または脚が外れてけがや破損の原因となります。
- すべりやすいゆか材（フローリングなど）の上で使用する場合は、脚座や脚、またはキャスターKQ-PB3C・KQ-PB1C（別売）の下に敷物や脚座ゴムシートKQ-P732（別売）などを敷いてください。使用中にベッドが不意に動き、転倒してけがをするおそれがあります。

注意

畳やじゅうたんなどの上で長期間使用する場合は、脚座や脚、またはキャスターKQ-PB3C・KQ-PB1C（別売）の下に敷物や脚座ゴムシートKQ-P732（別売）などを敷いてください。畳やじゅうたんなどがへこむおそれがあります。

1-1. 背・ひざ・高 ・ 背・高 ・ 高 ・ 背（高さモーター付き）の場合



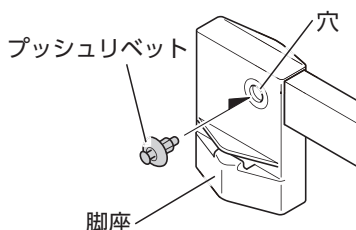
① 組立前に18ページの「3 設置上の注意」に従い、ベッドの配置を決めてください。

② ベースフレームを持ちながら、脚座を差込んでください。（4ヶ所）

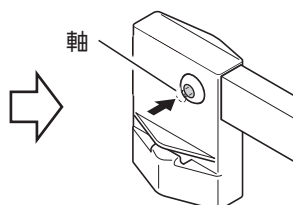


- キャスターを使用する場合は、脚座の取付けは不要です。
- 脚座には左右があります。穴のあいている方を内側にしてください。
- ベースフレームは製品識別表示ラベルがある方が頭側です。

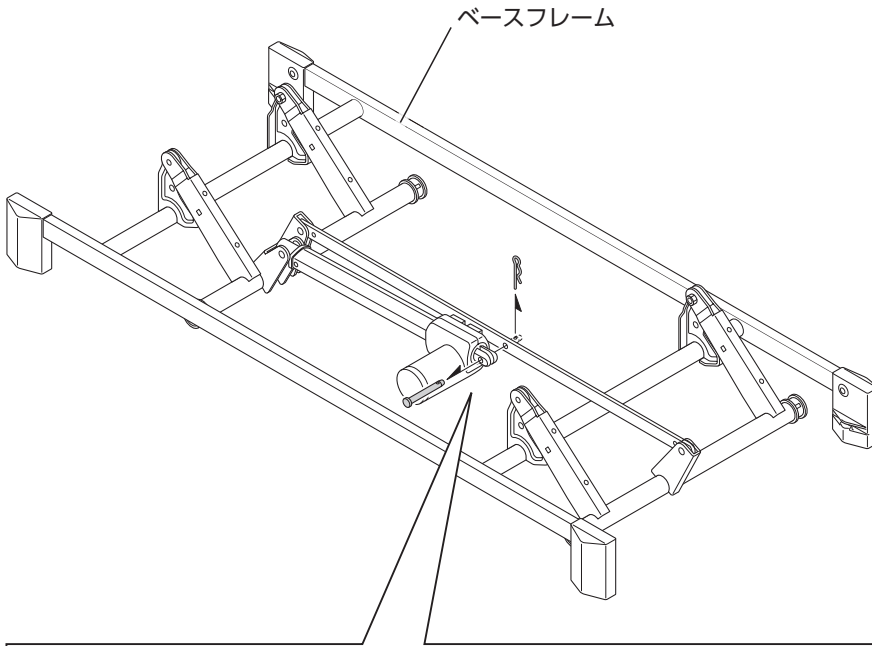
③ プッシュリベットを差込んでください。（4ヶ所）



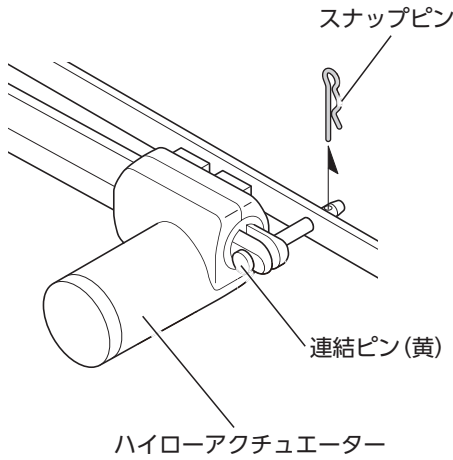
④ 「カチッ」と音がするまで軸を押込んでください。（4ヶ所）



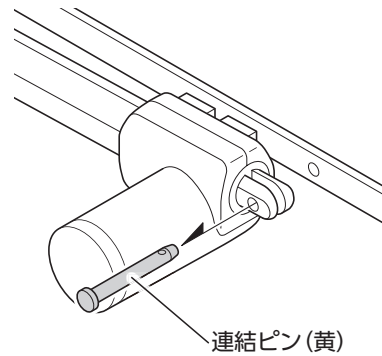
3 ベッドの組立方法



⑤ ハイローアクチュエーターを固定している連結ピン(黄)のスナップピンを取外してください。



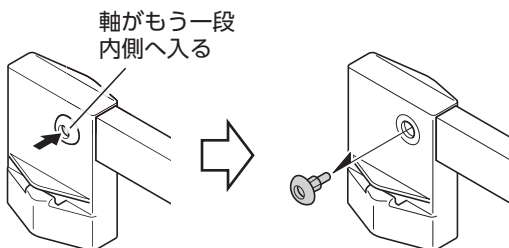
⑥ 連結ピン(黄)を取外してください。



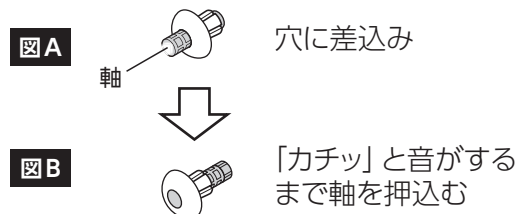
取外したスナップピン・連結ピン(黄)は、足側フレームの取付時に使用します。

プッシュリベットを外すときは

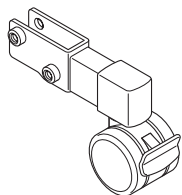
「カチッ」と音がするまで指で軸をさらに押込む。固定が解除されるので、そのまま抜き取る。
 ※指で押込めない場合は、押し込み過ぎないように注意しながらドライバーなどで軽く押込む。
 ※再度取付ける際は、図Aの状態にもどす。



※プッシュリベットを取付けるときは



キャスター-KQ-PB3C (別売) の取付け



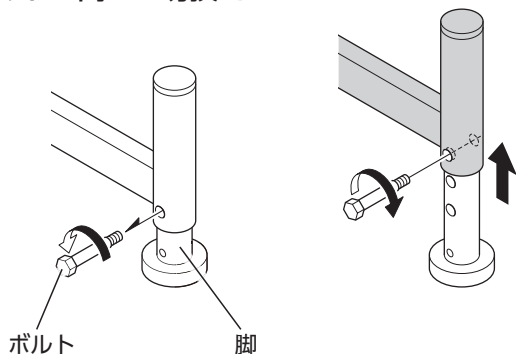
キャスターを取付ける場合は、脚座・プッシュリベットを使用しませんので、紛失しないように保管してください。

- キャスターの取扱説明書に従って、正しく取付けてください。
- ボトム上面までの高さは、脚座を取付けた場合と変わりません。

1-2. 背の場合

組立前に18ページの「3 設置上の注意」に従い、ベッドの配置を決めてください。

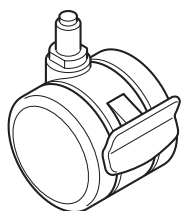
ベッドの高さの切換え



使用する工具	スパナ (対辺13mm)
--------	--------------

- ① ベースフレームの脚のボルトを取外してください。
- ② お使いになるベッドの高さにあわせて、高さを調節してください。
ゆかからボトム上面の高さを25cm/29cm/33cmの3段階に調節できます。
- ③ ボルトで固定してください。(4ヶ所)
推奨締付トルク:6~8N・m

キャスター-KQ-PB1C (別売) の取付け



キャスターを取付ける場合は、脚を使用しませんので、紛失しないように保管してください。

- キャスターの取扱説明書に従って、正しく取付けてください。
- ボトム上面までの高さが、脚使用時より6cm高くなります。

3 ベッドの組立方法

ハイトスペーサー（延長脚） KQ-PB1H（別売）の取付け



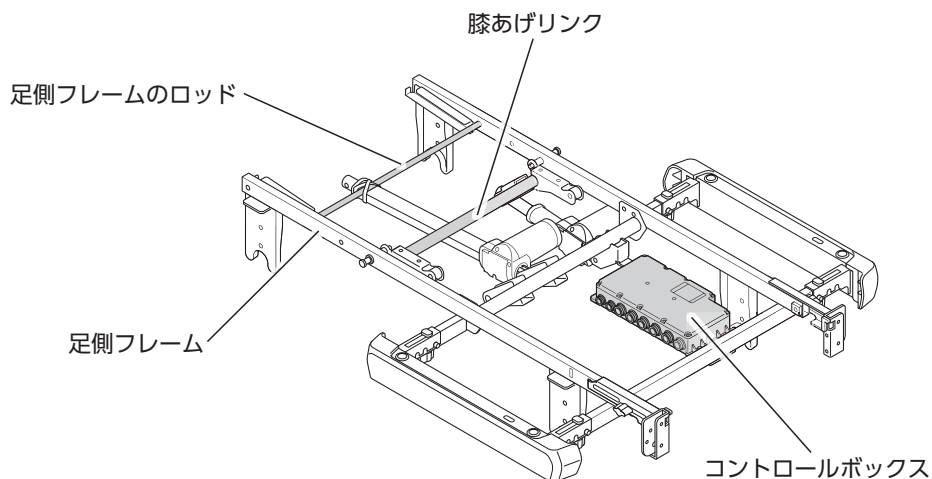
ハイトスペーサー（延長脚）を取付ける場合は、脚を使用しませんので、紛失しないように保管してください。

- ハイトスペーサー（延長脚）の取扱説明書に従って、正しく取付けてください。
- ゆかからボトム上面の高さを32cm/36cm/40cmの3段階に調節できます。

2.足側フレームの取付け

注意

- 持ち運びや組立てをするときは、膝あげリンクやコントロールボックス周辺部や足側フレームのロッドを持たないでください。けがや破損の原因となります。
- 足側フレームをゆかに置くときは、ゆかを傷つけないように注意してください。

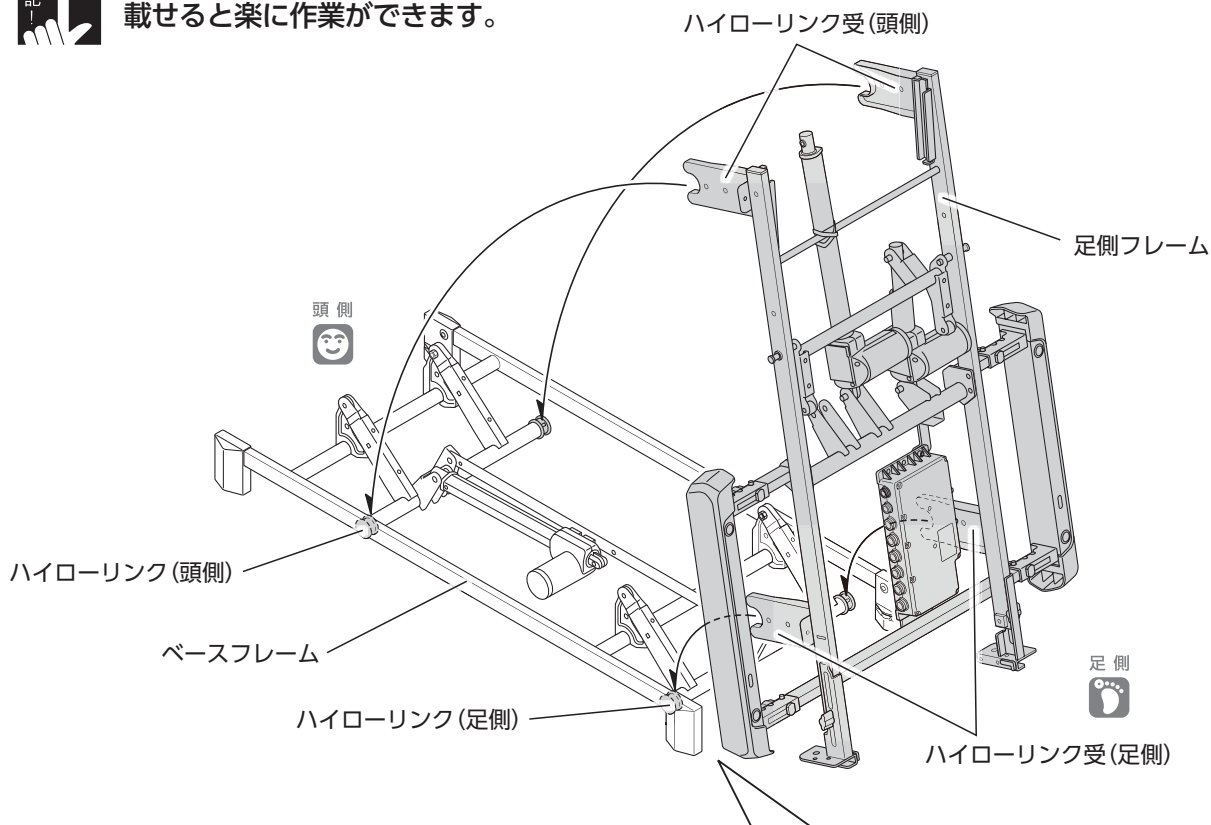


2-1. 背・ひざ・高 ・ 背・高 ・ 高 ・ 背 (高さモーター付き) の場合

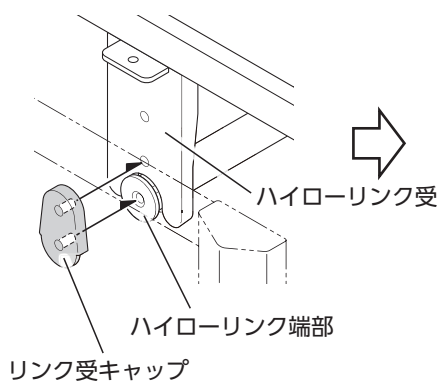
① ハイローリンク受をハイローリンクの上にゆっくり倒しながら載せてください。(4ヶ所)



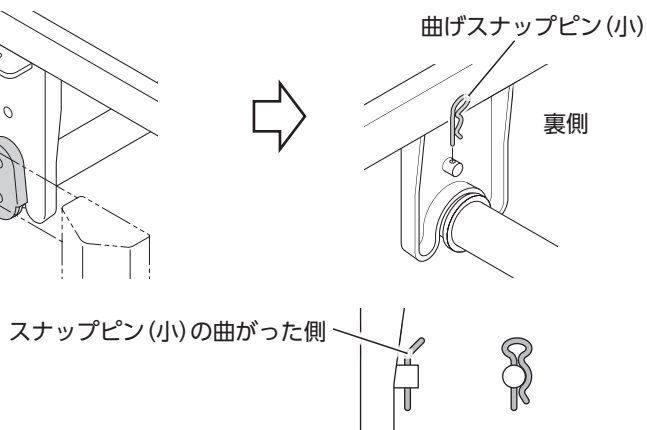
足側から載せ、ゆっくり倒して頭側を載せると楽に作業ができます。



② リンク受キャップを穴に差込んでください。(4ヶ所)



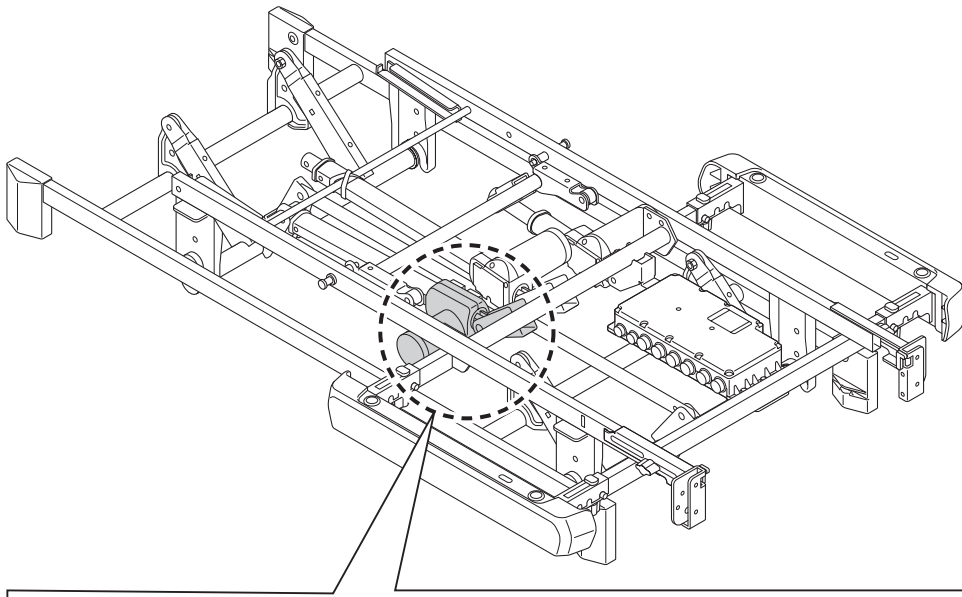
③ 曲げスナップピン (小) で固定してください。(4ヶ所)



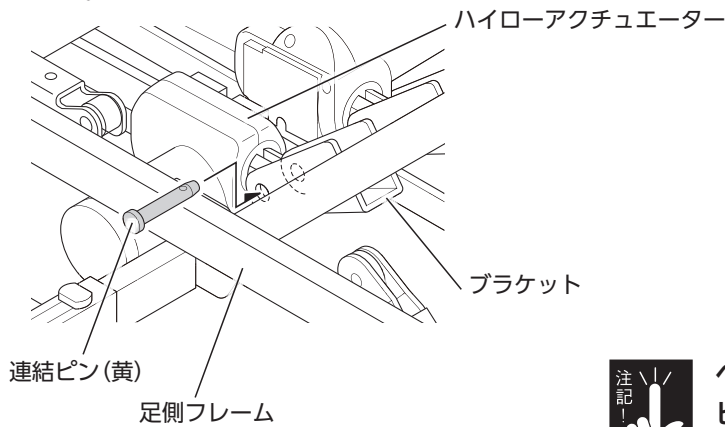
警告

リンク受キャップは奥まで差込み、裏側で曲げスナップピン (小) を確実に取付けてください。取付けが不完全な場合、ベッドが破損し、けがをすおそれがあります。

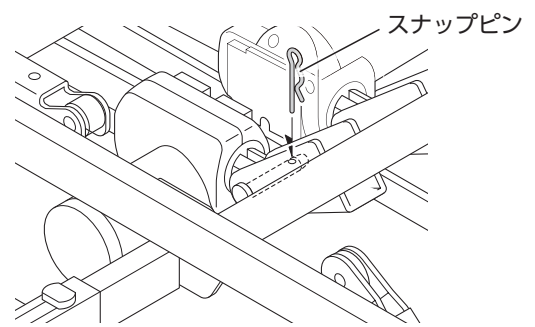
3 ベッドの組立方法



④ ハイローアクチュエーターと足側フレームの
ブラケットを連結ピン（黄）で連結してくだ
さい。



⑤ 連結ピン（黄）の穴にスナップピンを差込み
固定してください。



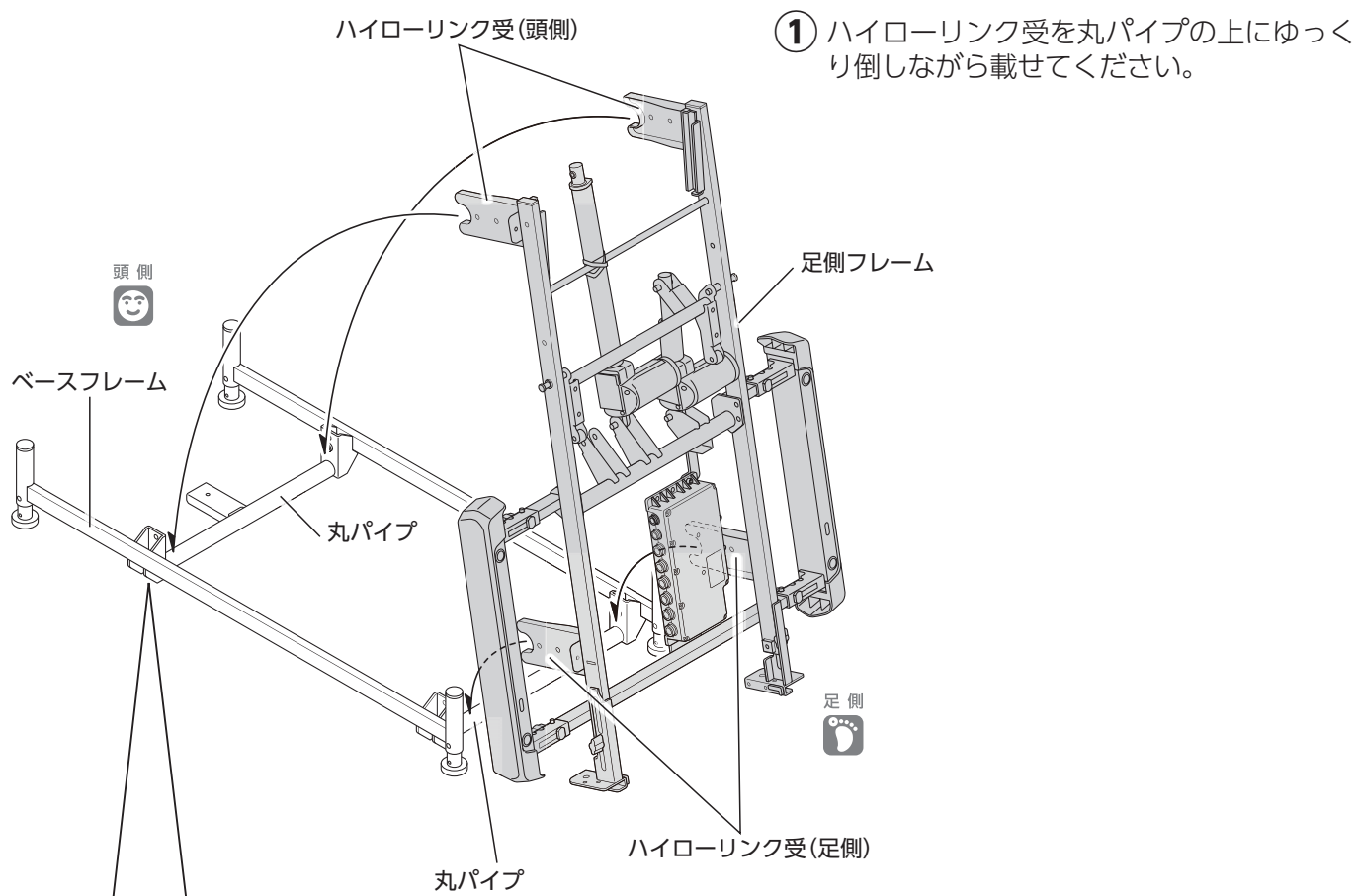
ベースフレームの組立時に取外した連結
ピン（黄）・スナップピンを使用します。
(83ページ参照)

警告

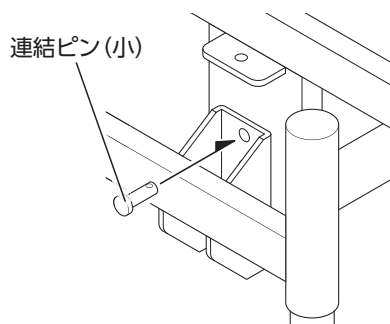
連結ピン（黄）はしっかりと差込み、右図のように裏面でスナップピンを確実に取付けてください。取付けが不完全な場合、ベッドが破損し、けがを
おそれがあります。



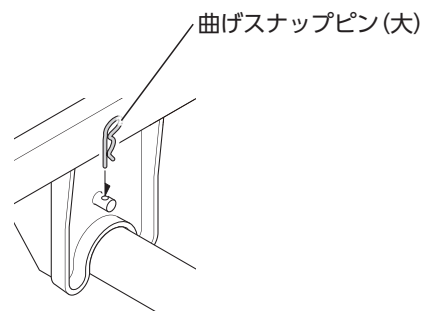
2-2. 背の場合



② 連結ピン (小) を穴に差込んでください。
(4ヶ所)



③ 曲げスナップピン (大) で固定してください。
(4ヶ所)



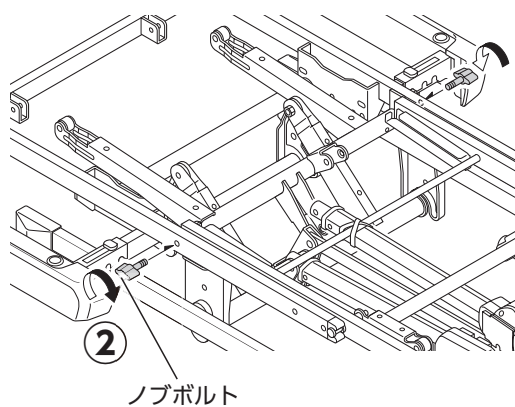
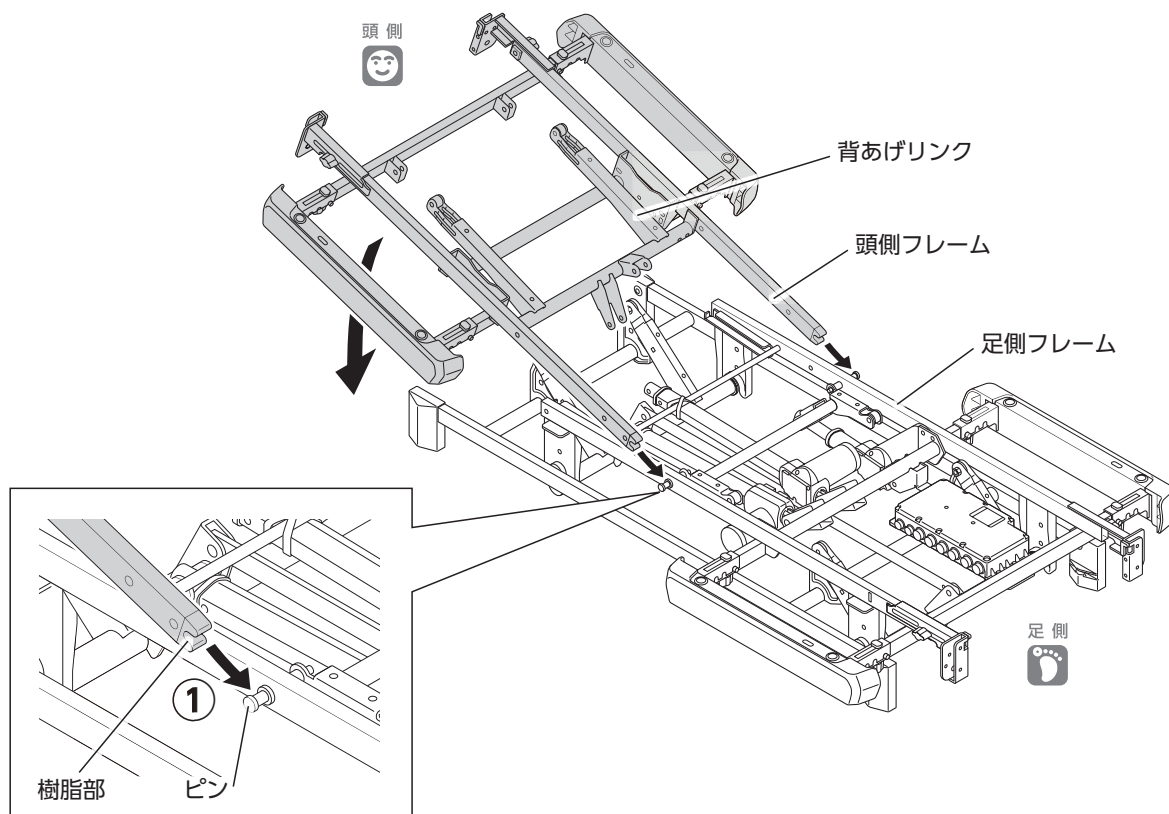
3 ベッドの組立方法

3. 頭側フレームの取付け

注意

持ち運びや組立てをするときは、背あげリンクを持たないでください。
ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。

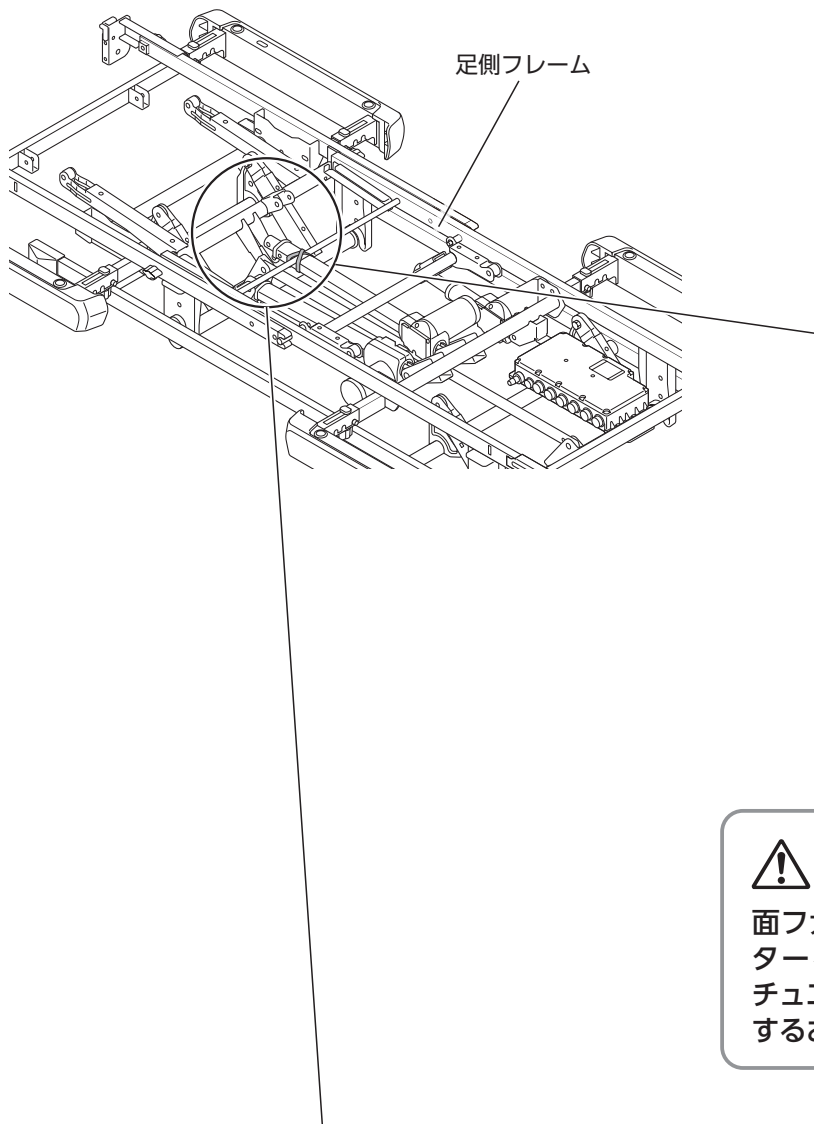
3
ベッドの組立方法



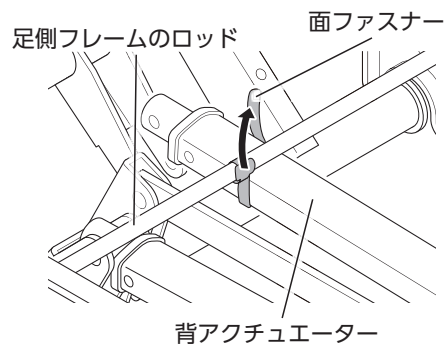
- ① 頭側フレームの樹脂部を足側フレームのピンにあわせて、足側フレームの上に載せてください。(2ヶ所)
- ② ノブボルトで頭側フレームを足側フレームに固定してください。(左右各1ヶ所)

警告

ノブボルトは確実に締付けてください。ノブボルトがゆるんでいるとベッドが破損し、けがをするおそれがあります。



③ 背アクチュエーターの先端を持ちながら、足側フレームのロッドに固定されている面ファスナーを取外してください。

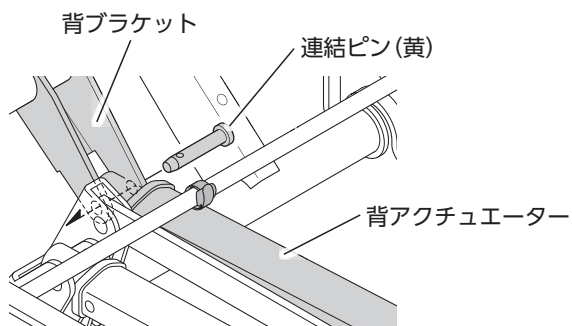


注記! 取外した面ファスナーは、足側フレームのロッドに巻き付けてください。

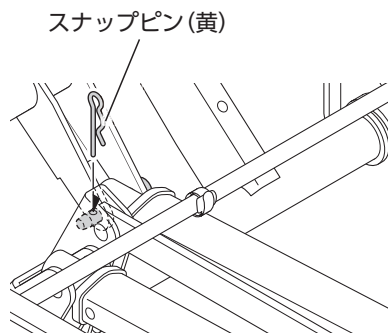
注意

面ファスナーを取外すときは、背アクチュエーターを持ちながら取外してください。背アクチュエーターが落下して、ベッドが破損・変形するおそれがあります。

④ 背アクチュエーターの先端を、背ブラケットに通し、連結ピン(黄)を差込んでください。



⑤ スナップピン(黄)で固定してください。



連結ピン(黄)が差込みにくい場合は、背ブラケットを傾けて穴の位置をあわせてください。

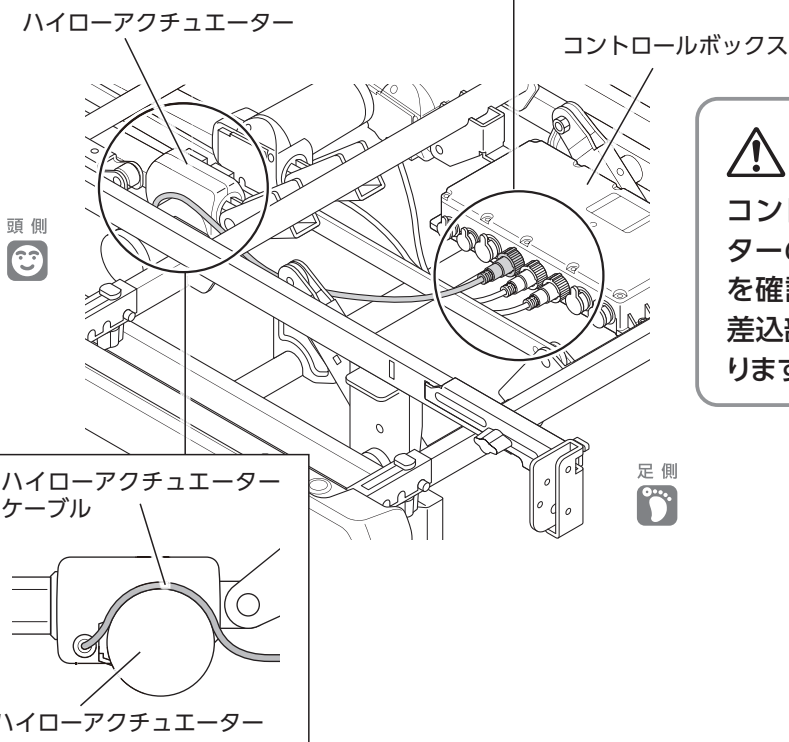
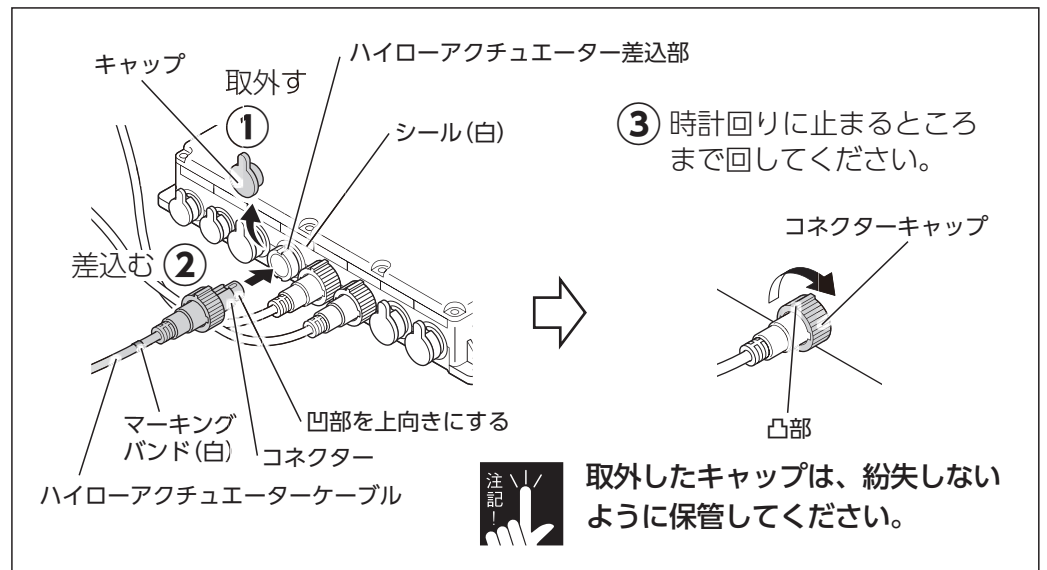
3 ベッドの組立方法

4. ケーブル・コード類の配線

注意

- ケーブルは正しく配線してください。断線や破損のおそれがあります。
- コネクタ部をぶついたり、無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。

4-1. ハイローアクチュエーターの配線



警告

コントロールボックスのシールの色とコネクタのマーキングバンドの色が同じであることを確認して、コネクタを差込んでください。差込部を誤ると、思わぬけがや故障の原因となります。



ハイローアクチュエーターケーブルは、ハイローアクチュエーターの上を通してください。

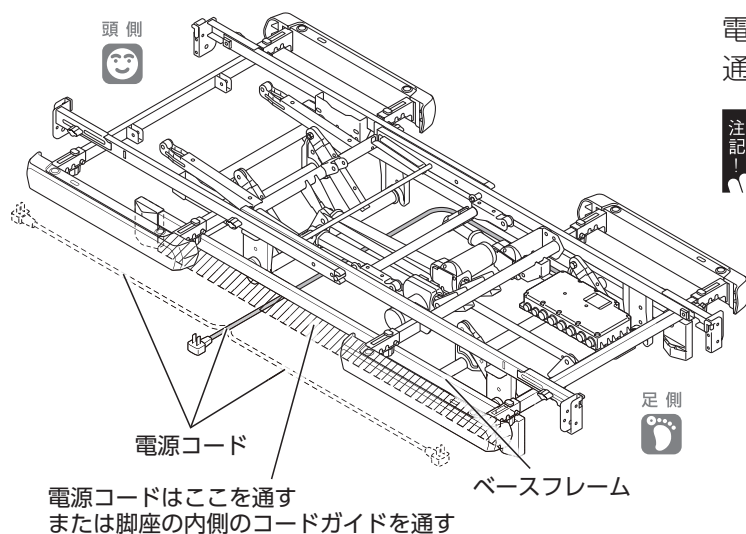
4-2.電源コードの配線

■コンセントの方向にあわせて配線してください。

警告

- 電源コードは正しく配線してください。断線や破損のおそれがあります。電源コードが破損すると感電・火災のおそれがあります。
 - ・ 電源コードは、ベースフレームの上側を通したり内側に入り込んだりしないように配線してください。
 - ・ 電源コードは、脚座・脚・キャスターなどで踏まないように配線してください。
 - ・ 電源コードは、ベッドの高さを最高高さまであげた状態でも突っ張らないように配線してください。
 - ・ ベッドの可動部（背あげリンク・膝あげリンク・ハイローリンク）にはさまれたり、掛かったりしないように配線してください。
 - ・ ベッドの内側に電源コードのたるみがないように配線してください。
- 組立て作業中は電源プラグをコンセントに差込まないでください。誤操作によりベッドが動作して、けがをするおそれがあります。

正しい例

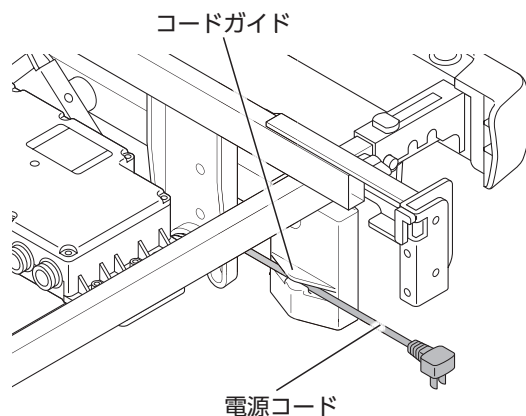


電源コードを、ベースフレームの角パイプの下側を通してベッド外側に出してください。

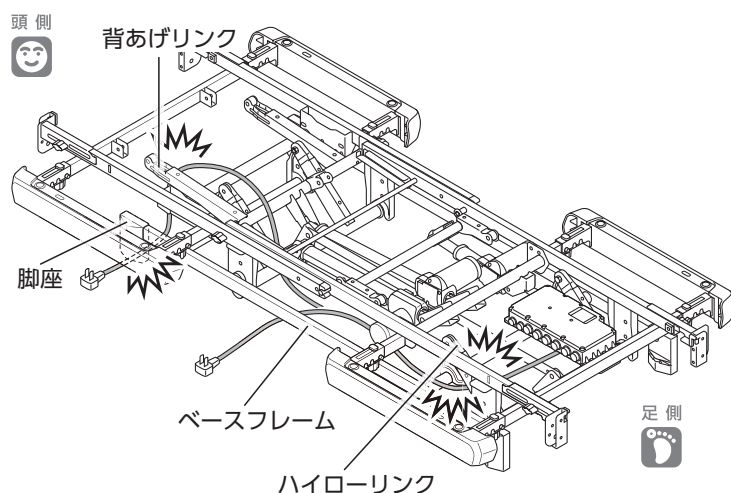


余ったコードがベースフレームの内側に入り込まないように、注意して配線してください。

脚座の内側にはコードガイドがあり、電源コードをはめ込むことができます。



誤った例



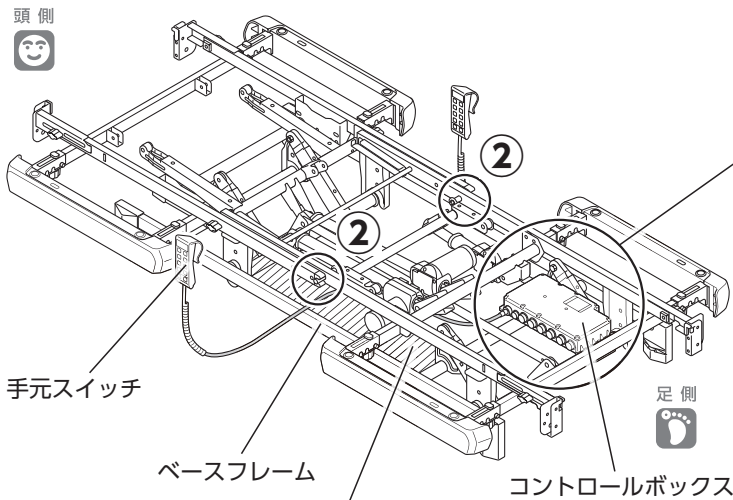
3 ベッドの組立方法

4-3.手元スイッチコードの配線

注意

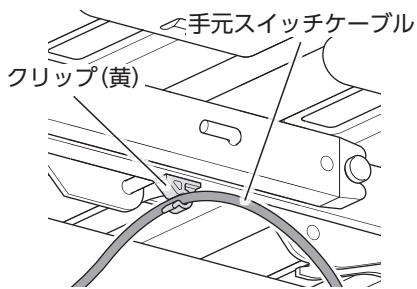
手元スイッチコードは正しく配線してください。断線や破損のおそれがあります。

- ・ ベッドの可動部（背あげリンク・膝あげリンク・ハイローリンク）にはさまれたり、掛かったりしないように配線してください。
- ・ 脚座・脚・キャスターで踏まないように配線してください。

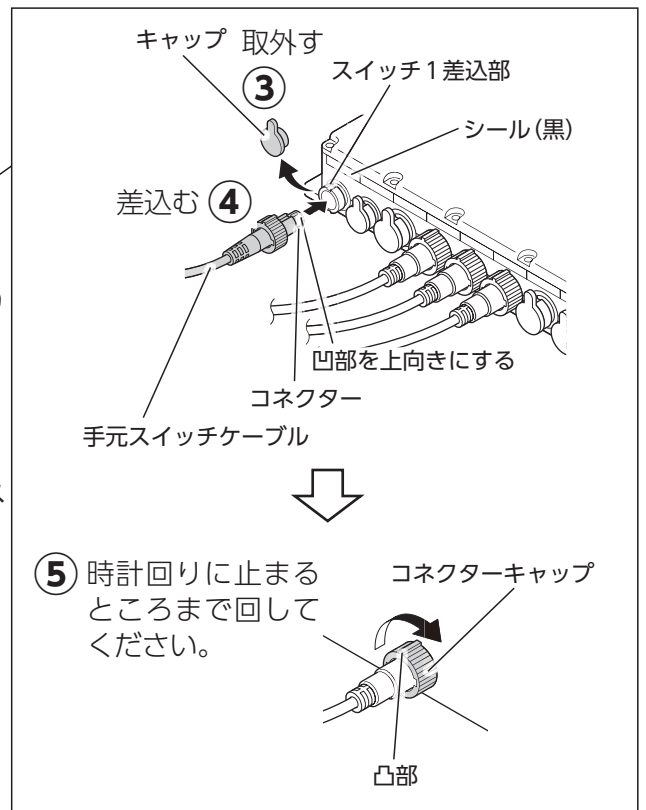


① 手元スイッチのコードを斜線部から通してください。

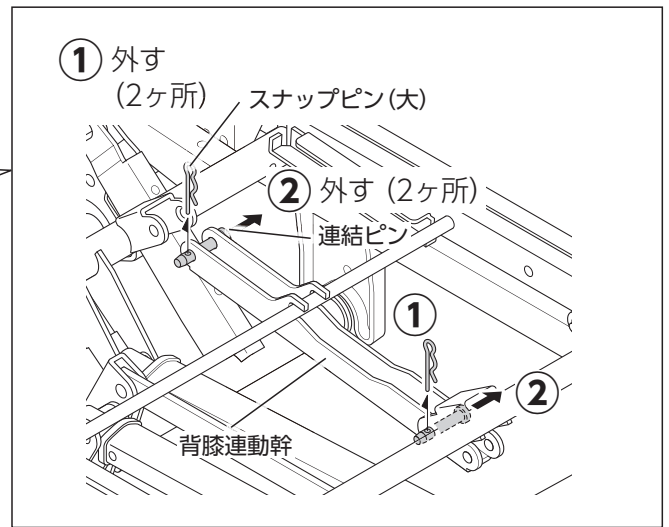
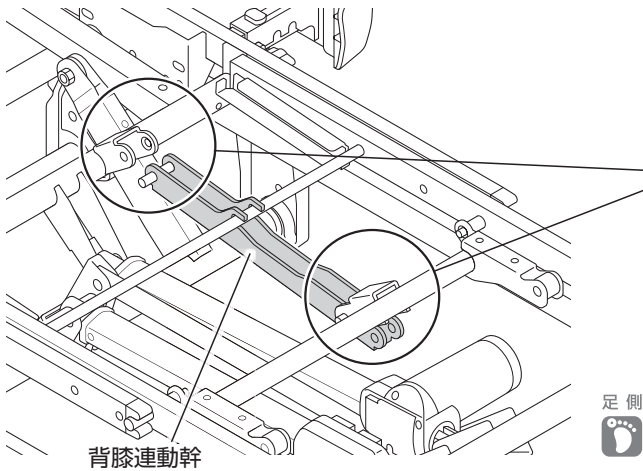
② フレームの裏側にあるクリップ（黄）に手元スイッチケーブルを留めてください。



取外したキャップは、紛失しないように保管してください。



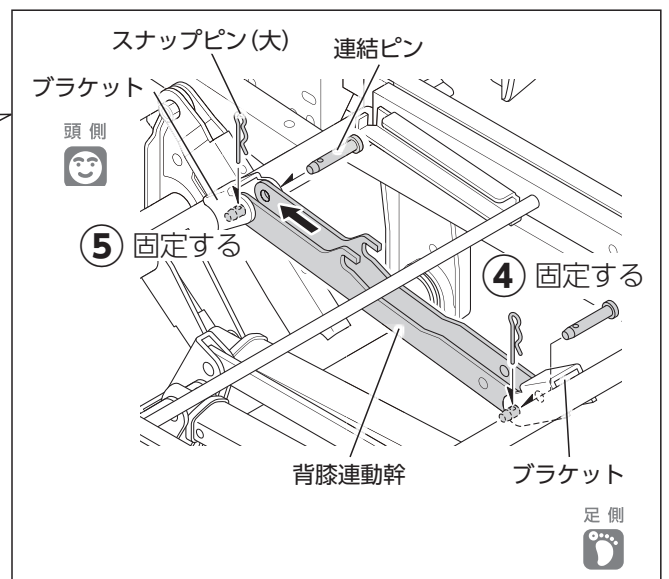
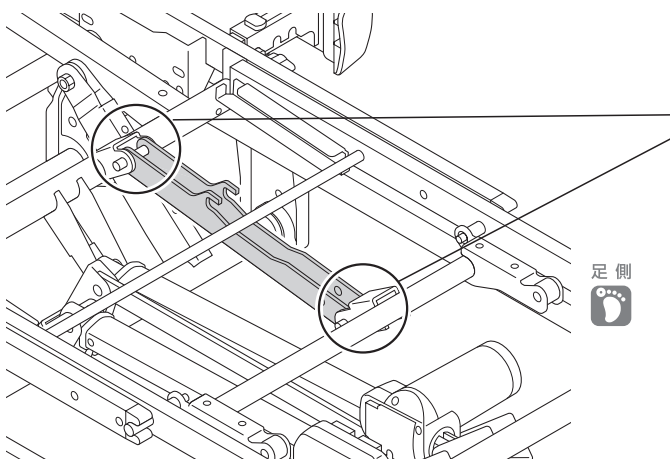
5. 背膝連動幹の付替え (背・高・背のみ)



- ① スナップピン (大) を外してください。(2ヶ所)
- ② 連結ピンを外してください。(2ヶ所)
- ③ 背膝連動幹を外してください。



- 連結ピンを外すときは、背膝連動幹を手で支えてください。
- 背膝連動幹の付替えをせずにベッドを組立てると、背あげ操作時に膝が連動しません。「背あげ」のみでご使用になりたい場合など、ご使用状況にあわせて組立てください。



- ④ 背膝連動幹を足側フレームのブラケットに図のようにあわせ、取外した連結ピンを足側の穴に通し、スナップピン (大) で固定してください。
- ⑤ ④と同様の手順で、頭側も固定してください。

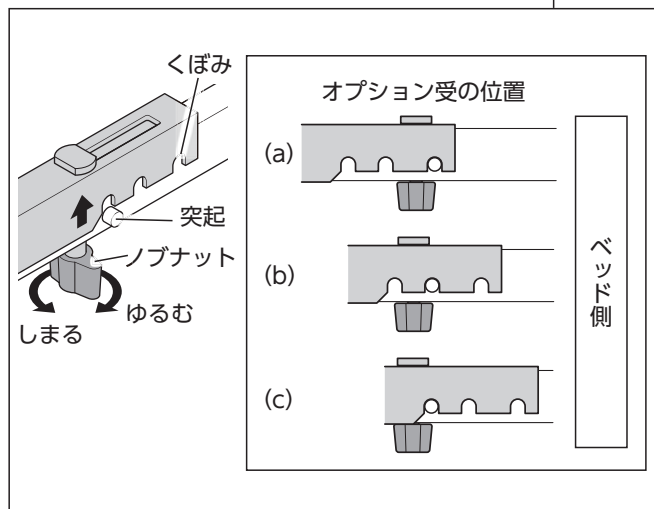
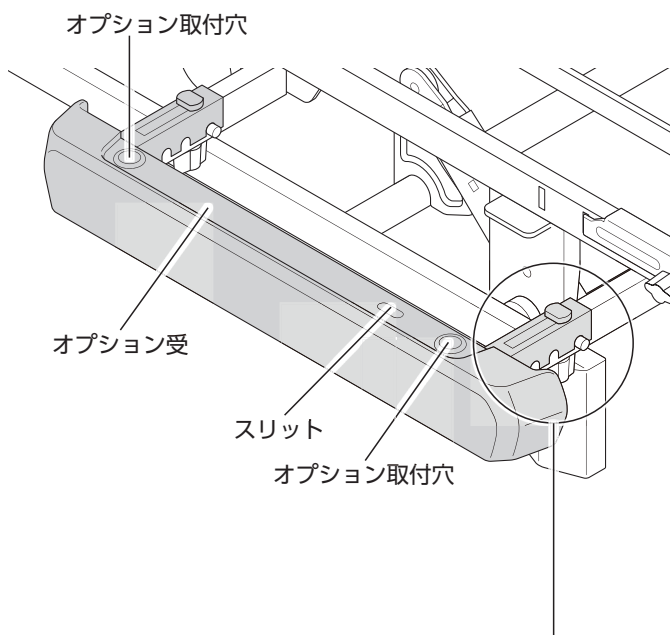
3 ベッドの組立方法

6. オプション受の調節

■オプション受を使用位置にする場合は、下記の調節を行ってください。

注意

オプション受の位置を調節するときは、手・指をはさまないように注意してください。はさまれてけがをす
るおそれがあります。



- オプション受4ヶ所(頭側・足側フレームの左右各1ヶ所)のオプション取付穴に、ベッドサイドレールやベッド用グリップを取付けるときは、下表に従って適切な位置に調節してください。

オプション受の状態	ボトムの幅		91cm		83cm	
	頭側	足側	頭側	足側	頭側	足側
使用位置	(a)	(a)	(b)	(b)		
格納位置	(b)	(b)	- ^{*1}	(c) ^{*2}		

※1) 頭側はフレームと接触するので(c)の位置にはできません。

※2) 足側のみ(c)の位置にスライドさせてベッドの幅を小さくすることができます。完全には格納できません。

- オプション受には左右があります。オプション受を取外してしまった場合は、オプション受のスリットをボード側に向けて取付けてください。また、オプション受を使用する場合は、必ずオプション受が正しい向きに取付いていることを確認してください。
- 車いすなどをベッドに近づけたいときや、ベッドの設置スペースを小さくしたいときは、オプション受を格納位置にしてください。

調節方法

- ① オプション受を固定しているノブナットをゆるめてください。(1つのオプション受につき2ヶ所)
- ② オプション受を持ち上げながら任意の位置にスライドさせ、くぼみを突起に掛けてください。
- ③ ノブナットをしっかりと締付けてください。(1つのオプション受につき2ヶ所)

警告

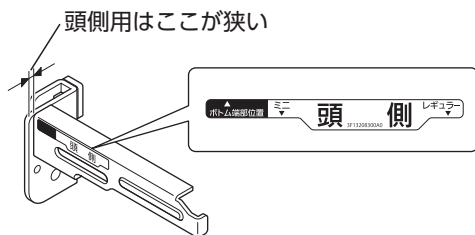
- オプション受は、オプション受のくぼみを本体の突起にはめ込み、ノブナットでしっかりと固定した状態で使用してください。オプション受が、がたついたり外れたりして、けがをすおそれがあります。
- オプション受は、ボトムの幅(83cm/91cm)にあわせて、正しい位置に設定してください。また、オプション受は正しい向きで使用してください。誤った位置や向きで使用すると、ベッドとベッドサイドレール・ベッド用グリップなどの間に意図せぬすき間ができ、はさまれてけがをすおそれがあります。

7. ボード受金具の調節

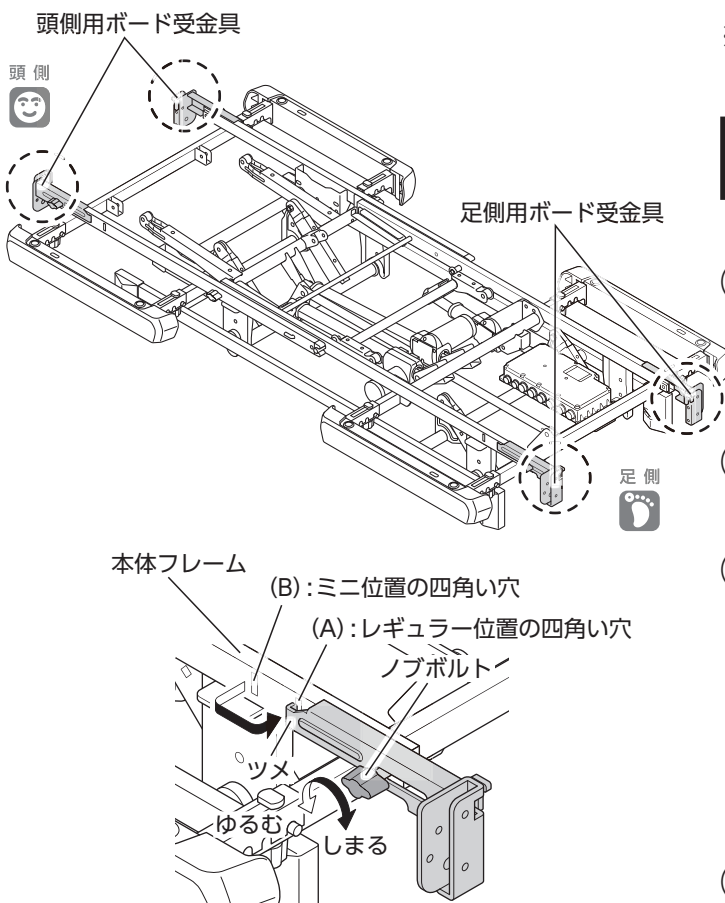
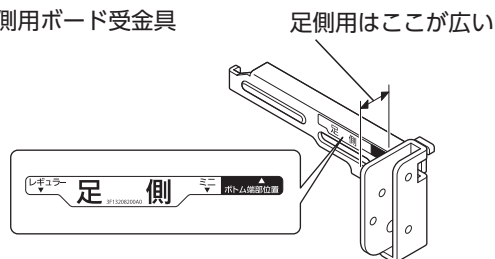
■お使いになるベッドの長さ（レギュラー・ミニ）にあわせて、ボード受金具の取付位置を調節してください。

- ボード受金具には頭側用と足側用があります。作業を行う際は、ボード受金具のラベルをよく確認し、正しく取付けてください。

頭側用ボード受金具



足側用ボード受金具



※イラストは足側を示しています。

※工場出荷時は、ボード受金具は頭側、足側ともにミニ位置に設定されています。

注記！ ボード受金具の位置調節は、4ヶ所（頭側、足側の左右各1ヶ所）すべてについて行ってください。

- ① 調節が不要な場合は、ボード受金具のツメが本体フレームの四角い穴に入った状態でノブボルトがしっかりと固定されていることを確認してください。（4ヶ所）
- ② 調節が必要な場合は、ノブボルトをゆるめてください。
- ③ お使いになるベッドサイズにあわせて、ボード受金具のツメを本体フレームの(A)・(B)いずれかの四角い穴に差込んでください。
【レギュラーの場合】
ボード受金具のツメ位置→ (A)
【ミニの場合】
ボード受金具のツメ位置→ (B)
- ④ ノブボルトを締付けてください。（4ヶ所）

警告

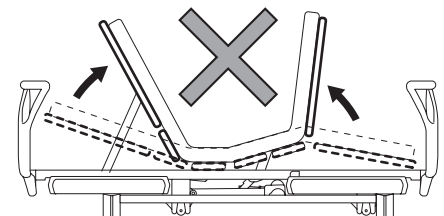
- ボード受金具はベッドの長さ（レギュラー・ミニ）にあわせて正しく設定してください。誤った設定で使用すると、ボトムとボードの間に意図せぬすき間ができる場合があります。けがをするおそれがあります。
- ノブボルトは確実に締付けてください。ノブボルトがゆるんでいると、ボードがたついたり落下したりして、けがをするおそれがあります。

3 ベッドの組立方法

8.ボトムを取付け

注意

背ボトム、膝・足ボトムを持ち上げて逆に反らせたり、必要以上に曲げたりしないでください。破損・変形のおそれがあります。

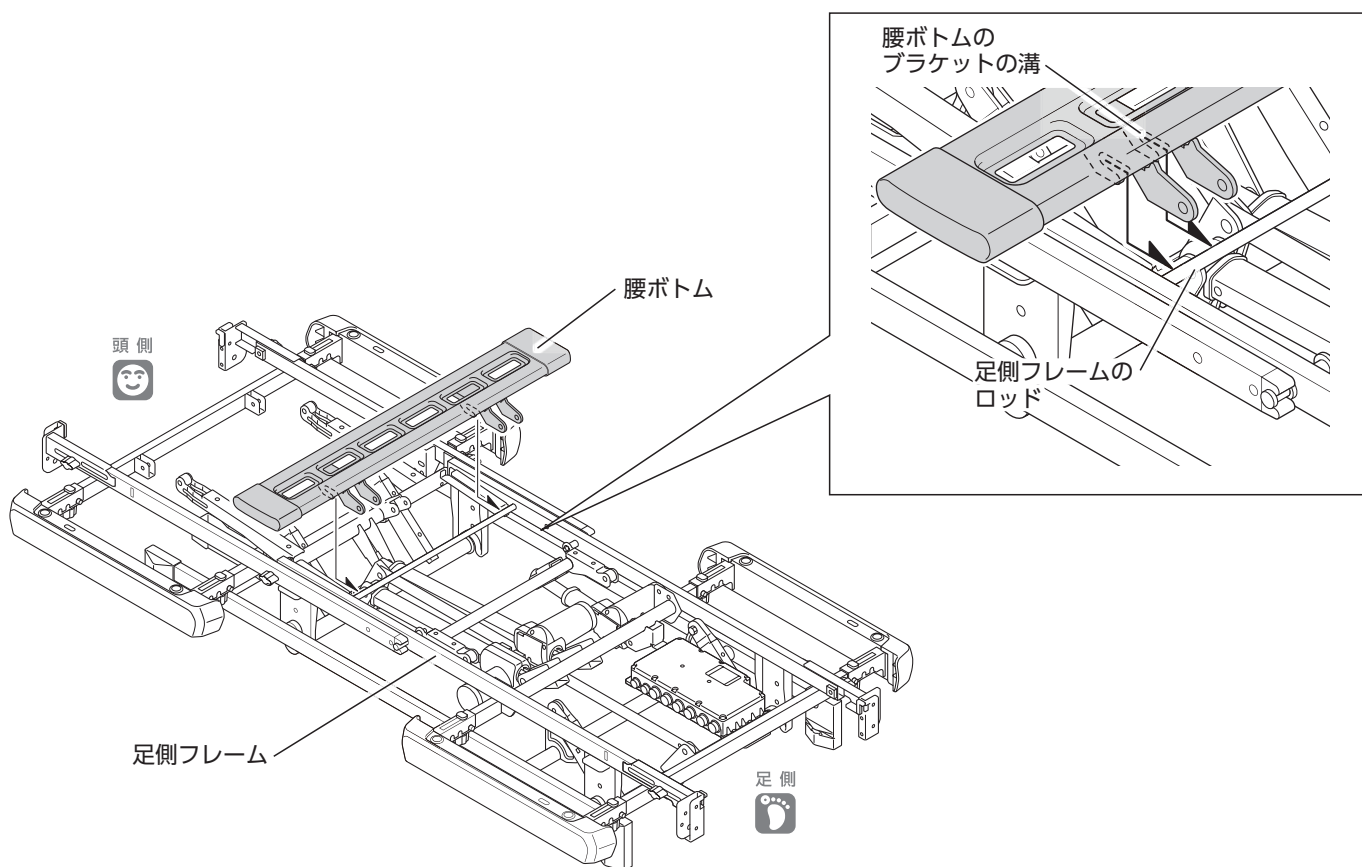


3

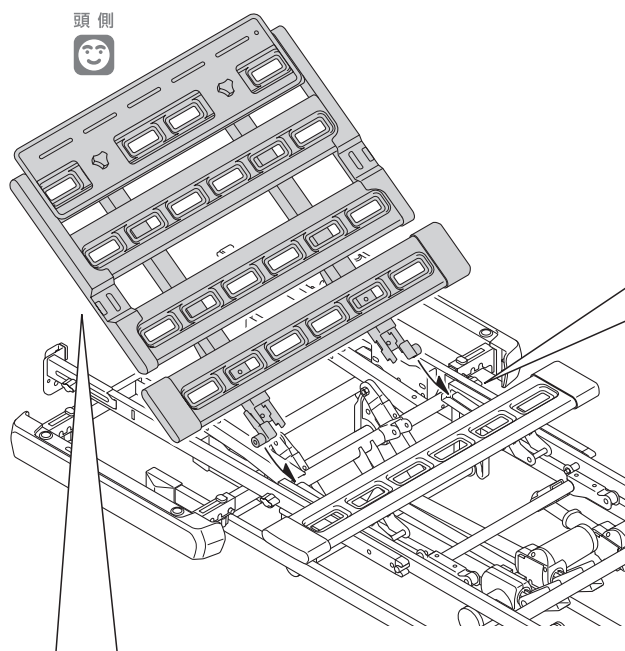
ベッドの組立方法

8-1.腰ボトムの取付け

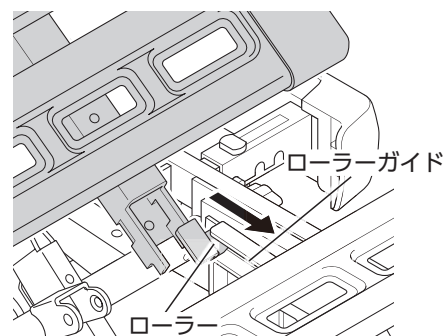
図のように腰ボトムのブラケットの溝を、足側フレームのロッドに差込んでください。



8-2.背ボトムの取付け



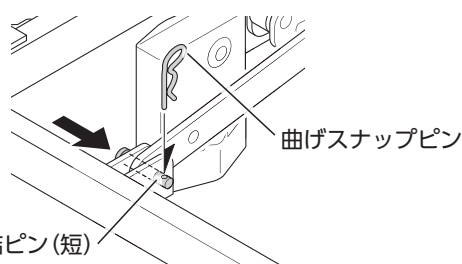
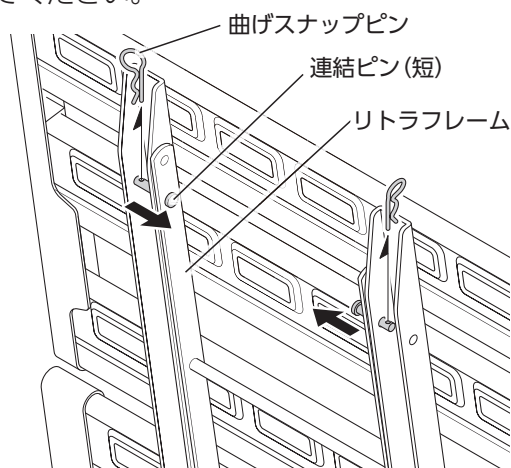
- ① 足側フレームのローラーガイドに、背ボトムのローラーを入れてください。(左右各1ヶ所)



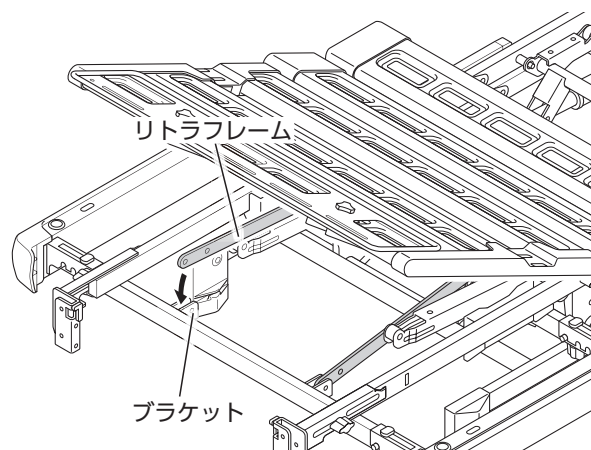
- ② ローラーを足側にスライドさせてください。



- ③ 背ボトム裏側のリトラフレームを固定している連結ピン(短)・曲げスナップピンを取外してください。



- ④ リトラフレーム先端の穴を頭側フレームのブラケットの穴位置とあわせてください。



- ⑤ ③で取外した連結ピン(短)を外側から差込んでください。(左右各1ヶ所)

- ⑥ 連結ピン(短)に、③で取外した曲げスナップピンを差込み固定してください。



連結ピン(短)は外側から内側へ差込んでください。

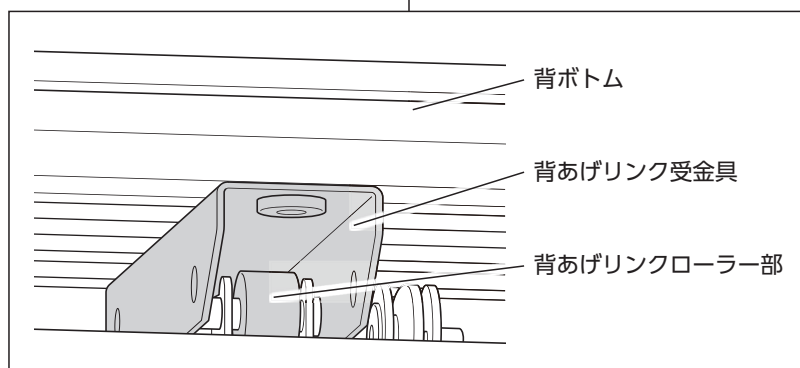
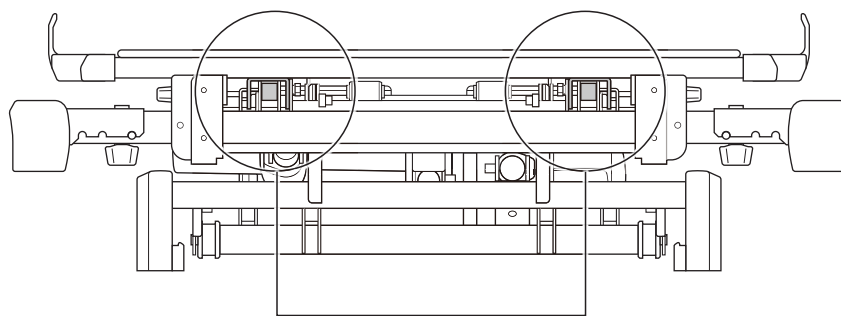
けい こく
警告

連結ピン(短)はしっかりと差込み、曲げスナップピンを確実に取付けてください。取付けが不完全な場合、ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。

3 ベッドの組立方法

注意

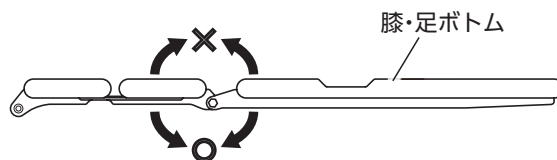
左右の背あげリンクローラー部が、背ボトム^{ちゅうい}の背あげリンク受金具の内側の位置に入っていることを確認してから使用してください。破損・変形するおそれがあります。



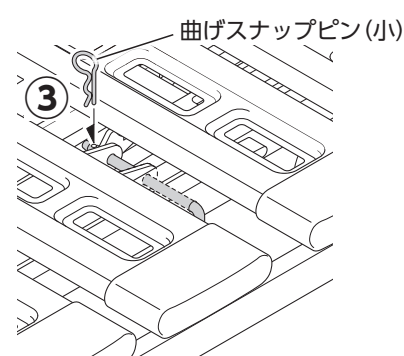
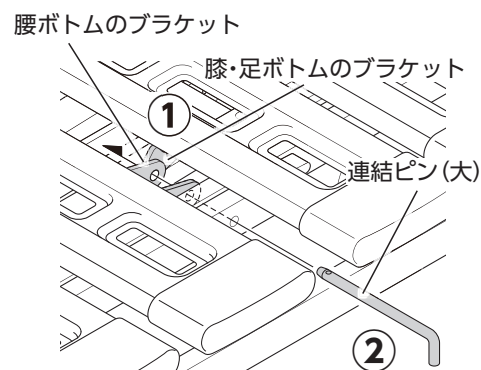
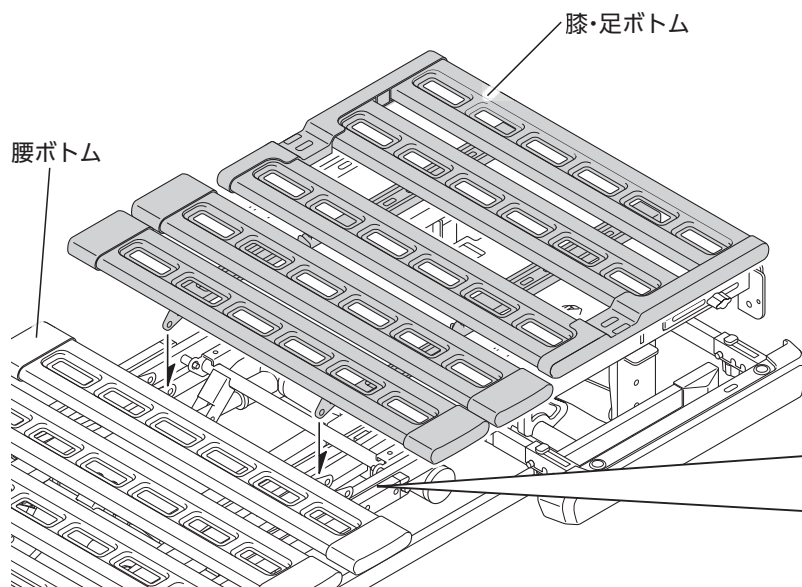
8-3. 膝・足ボトムを取付け

注意

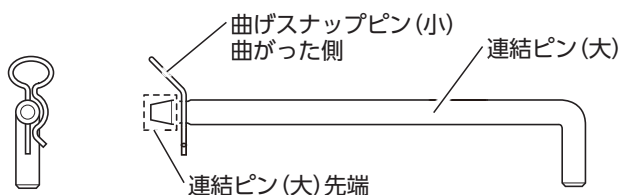
膝・足ボトムを逆向きに折りたたまないでください。破損・変形するおそれがあります。



- ① 膝・足ボトムのブラケットを腰ボトムのブラケットの内側に入れ、それぞれの穴位置があうように膝・足ボトムを載せてください。



- ② 腰ボトムのブラケットの穴に連結ピン (大) を外側から差し込み膝・足ボトムを連結してください。
- ③ 連結ピン (大) の穴に曲げスナップピン (小) を差し込み固定してください。

**警告**

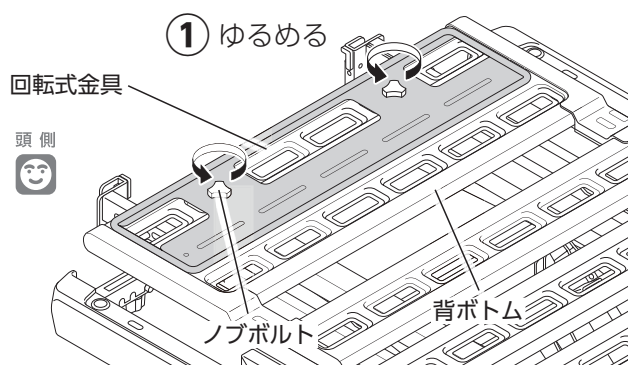
連結ピン (大) はしっかりと差し込み、曲げスナップピン (小) を確実に取付けてください。取付けが不完全な場合、ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。

3 ベッドの組立方法

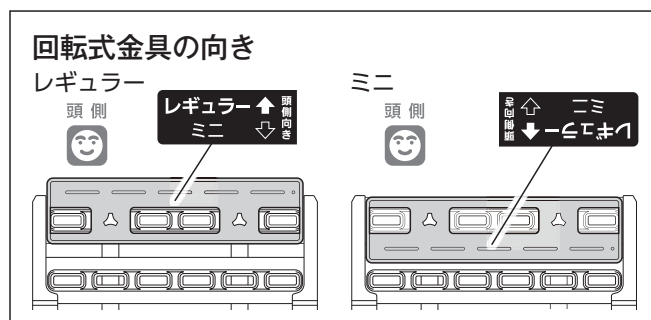
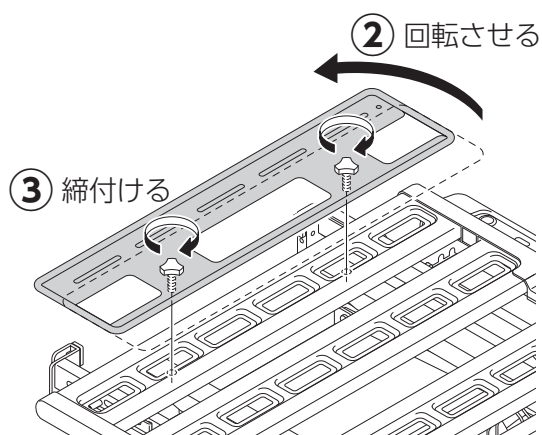
9.背ボトム長さ、ボトム幅の切換えかた

9-1.背ボトム長さの切換え

※工場出荷時は、ミニに設定されています。

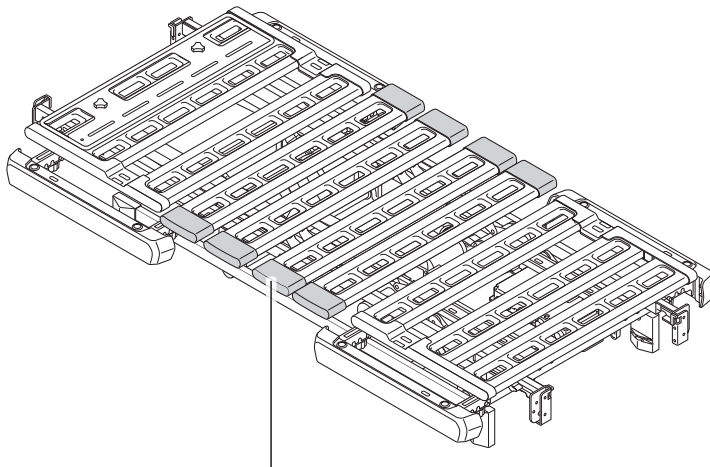


- ① 背ボトム上部に取り付けられている、回転式金具のノブボルトをゆるめてください。
- ② 回転式金具をラベル面が上面のままの状態、180°回転させてください。



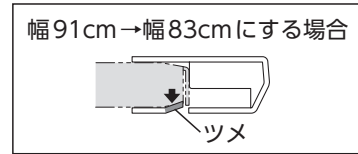
- ③ ノブボルトを締付けてください。(2ヶ所)

9-2. ボトム幅の切換え

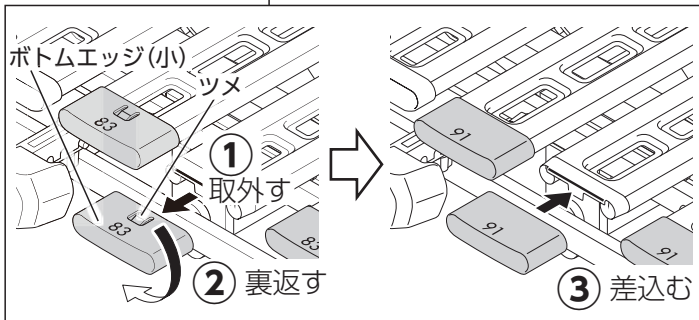
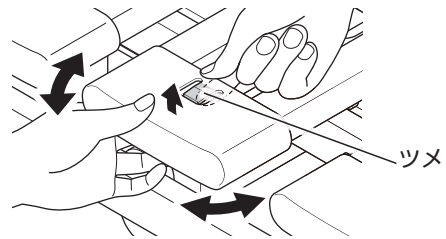


※工場出荷時は、幅83cmに設定されています。

- ① 各ボトムのボトムエッジ (小) のツメを押さえながら、取外してください。(片側4ヶ所ずつ、合計8ヶ所)



ボトムエッジ (小) が外れにくい場合は、ツメを押さえながらボトムエッジ (小) を左右に振りながら引くと外しやすい場合があります。



- ② ボトムエッジ (小) を裏返して刻印を確認してください。

切換えたいサイズの刻印が上側になるように取付けてください。



- ③ ボトムエッジ (小) を各ボトムの奥まで差込んでください。



ボトムエッジ (小) の取付け後、手前に引いて外れないことを確認してください。

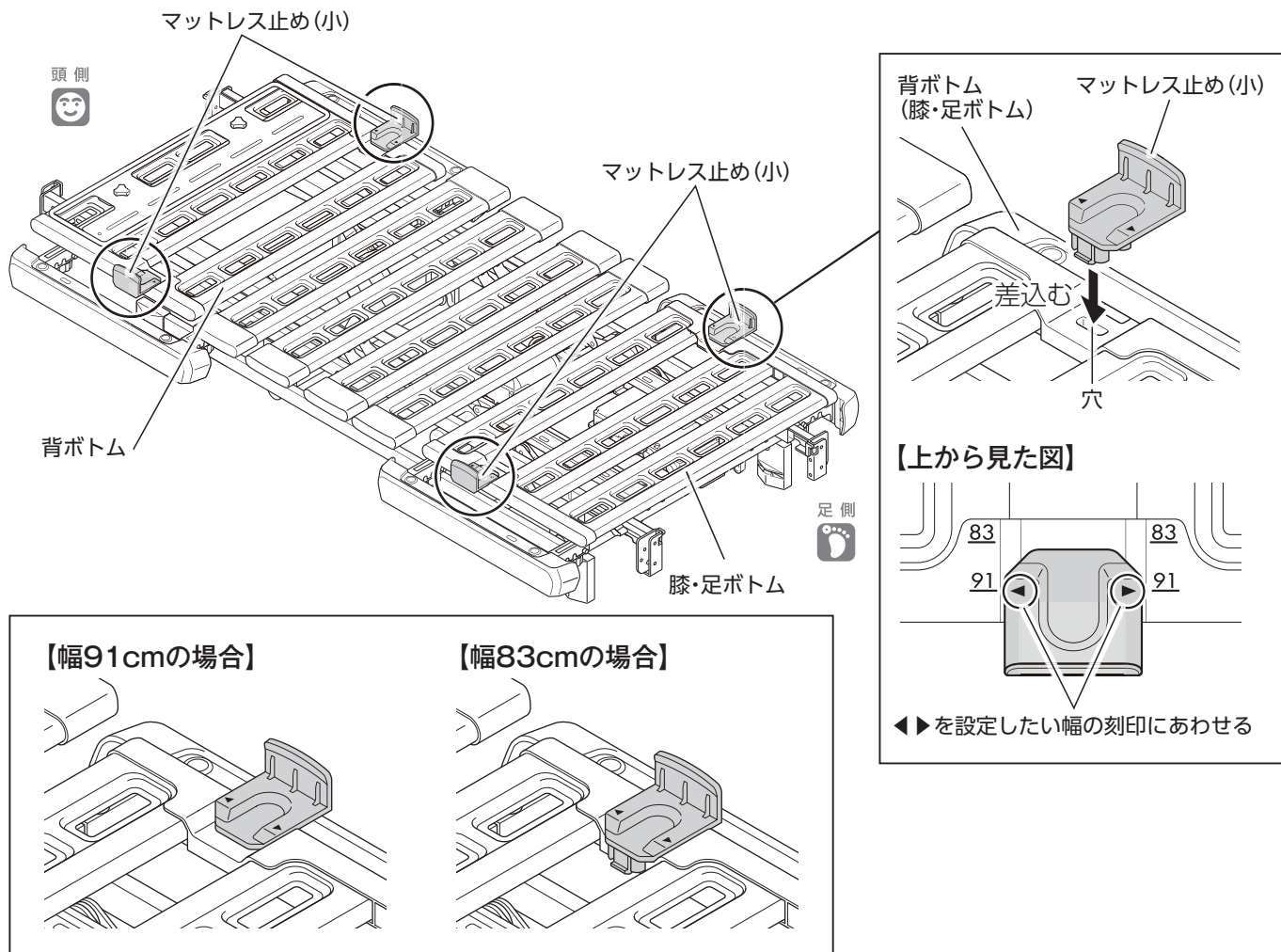
3 ベッドの組立方法

10. マットレス止めの取付け

10-1. マットレス止め (小) の取付け

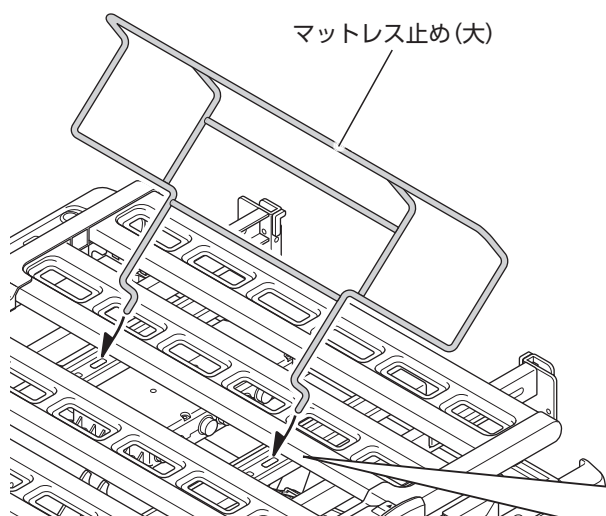
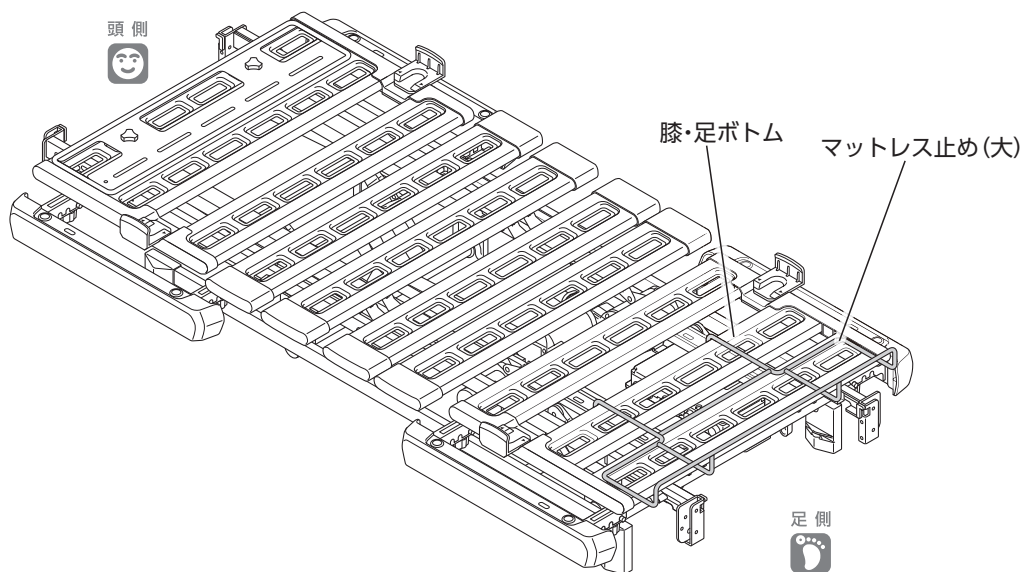
お使いになるベッドの幅にあわせて、マットレス止め(小)を背ボトムと膝・足ボトムの両端の穴に、突き当たるまで差込んでください。(4ヶ所)

3
ベッドの組立方法

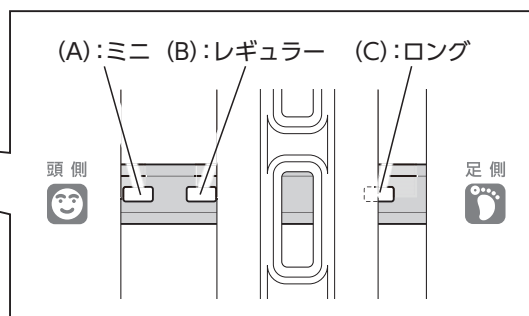


マットレス止め (小) の取付け後、内から外へ軽く押し、確実に取付いていることを確認してください。

10-2. マットレス止め (大) の取付け



- ① お使いになるベッドサイズにあわせて、マットレス止め (大) の先端をたわませながら、膝・足ボトム中央の (A)・(B)・(C) いずれかの穴に差込んでください。
- 【ミニの場合】 穴位置→(A)
 【レギュラーの場合】 穴位置→(B)
 【ロングの場合】 穴位置→(C)※
- ※延長フレーム KQ-PB60L・KQ-PB62L (別売) を使用する場合

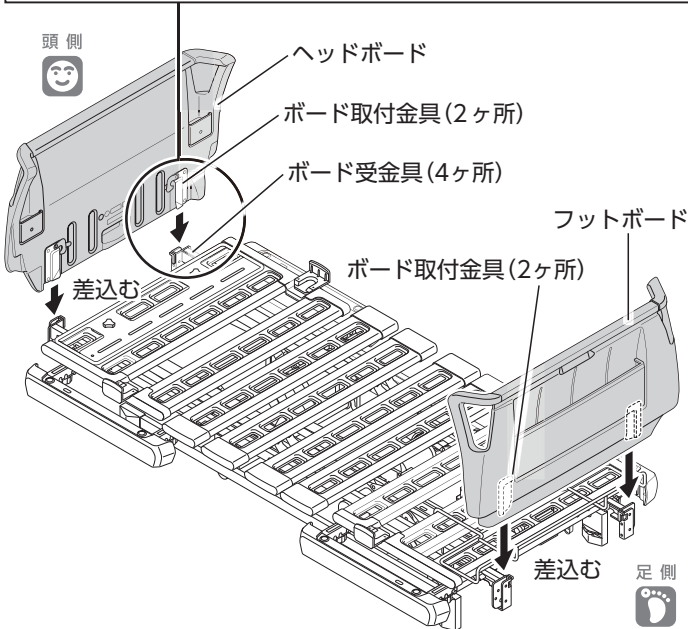
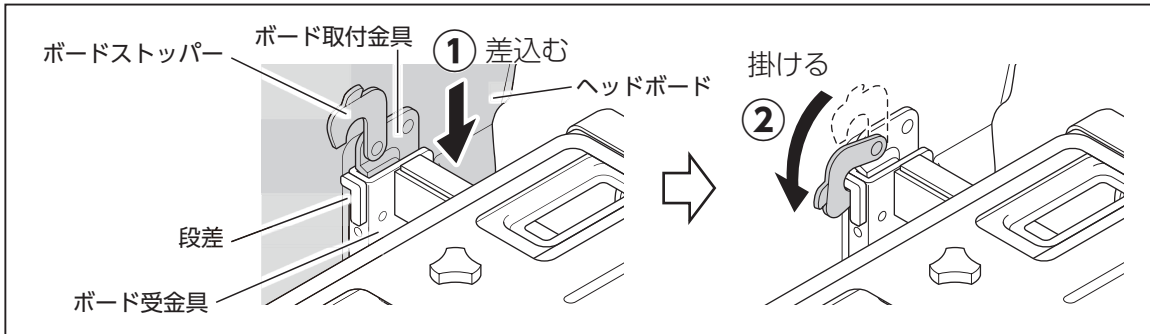


- マットレス止め (大) の取付け後、内から外へ軽く押し、確実に取付いていることを確認してください。
- 差込みにくい場合は、マットレス止め (大) の先端を左右から少し押し、穴の間隔にあわせながら差込んでください。

3 ベッドの組立方法

11.ヘッドボードとフットボードの取付け

11-1.ヘッドボードの取付け



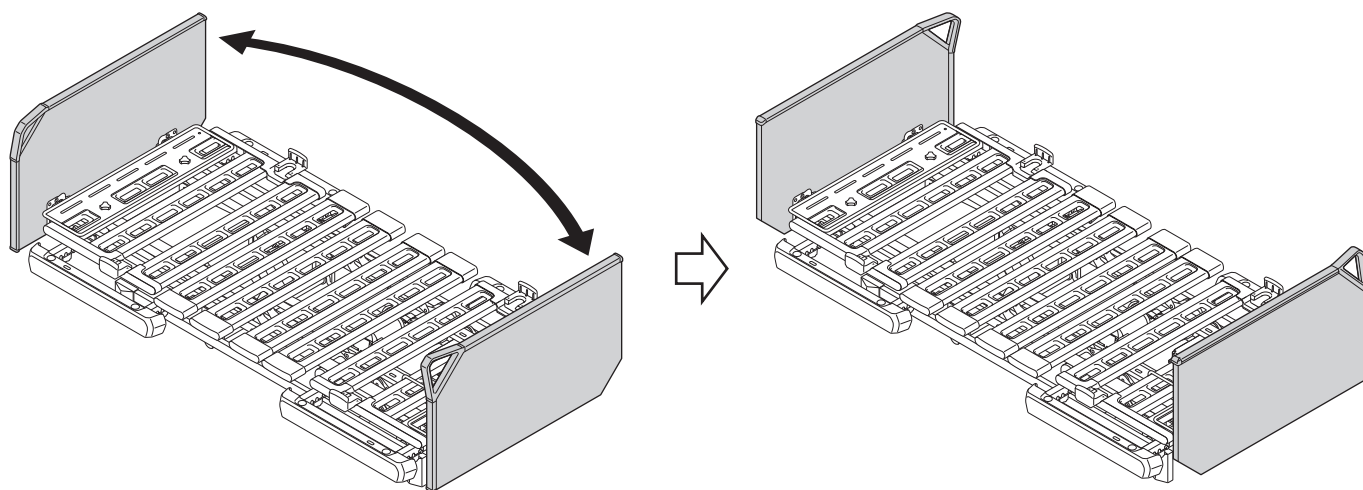
- ① ボード取付金具 (2ヶ所) を、ボード受金具にまっすぐ最後まで差込んでください。
- ② ボードストッパー (2ヶ所) を、ボード受金具の段差に掛けてください。(固定)



- ボードストッパーがボード受金具の段差に、確実に掛かっていることを確認してください。
- ボード上部に安全ラベル (警告・注意事項が記載されているラベル) が貼ってある方を足側に取付けてください。(木製ボード (グリッパ) を除く)

【木製ボード(グリップ)の場合】

ヘッドボードとフットボードを入れ替えることで、グリップの左右の向きを変えることができます。壁付けの向きにあわせて入れ替えてください。



11-2.フットボードの取付け

「ヘッドボードの取付け」と同じ要領で取付けてください。

 けい こく 警告

- ボードは正しいユニットの組合せ（79～81ページ参照）になっていることを確認した上で取付けてください。誤った組合せで使用すると、意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、けがをしたりベッドが故障したりするおそれがあります。
- ボードストッパーを掛け忘れたり、掛けかたが不完全だったりしていないか確認してください。ボードが不意に外れて、けがをすることがあります。
- ボードを取付けるときは、落下させないように注意してください。足に当たってけがをしたり、ゆかやボードを傷つけたりするおそれがあります。

4 組立後の点検

■ベッドの組立が終わりましたら、ベッドに人が乗っていないことを確認の上、下記のチェックシートで点検してください。(107~116ページをコピーしてお使いください)

- 定期点検のときも、このチェックシートを使用してください。
- 異常が認められた場合や詳しい点検をご希望される場合は、パラテクノコールセンター (116ページ参照) までお問い合わせください。
- キャスターなどのオプションをご使用の場合は、各製品の「取扱説明書」をご覧ください。

^{けい こく} 警告

組立後は点検を行ってください。組立てが不十分な状態で使用すると、けがや故障するおそれがあります。

^{ちゅう い} 注意

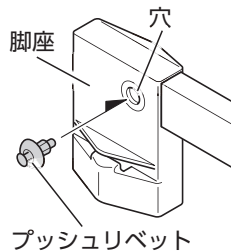
点検作業をしているときに異常音や振動が生じた場合は、すぐにベッドの使用を中止し、パラテクノコールセンター (116ページ参照) までご連絡ください。

チェックシート

1 脚座の取付け **背・ひざ・高**・**背・高**・**高**・**背** (高さモーター付き)

ベースフレームの4ヶ所すべてに脚座がはまり、プッシュリベットが確実に取付けられていますか? (4ヶ所)

- はい
 いいえ → 82・83ページ参照



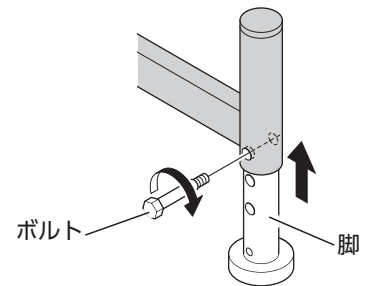
プッシュリベットを取付けるときは

- 図A**  穴に差込み
軸
- 図B**  「カチッ」と音がするまで軸を押込む

2 脚の確認 **背**

ベースフレームの脚のボルトが確実に締付けられていますか? (4ヶ所)

- はい
 いいえ → 84ページ参照

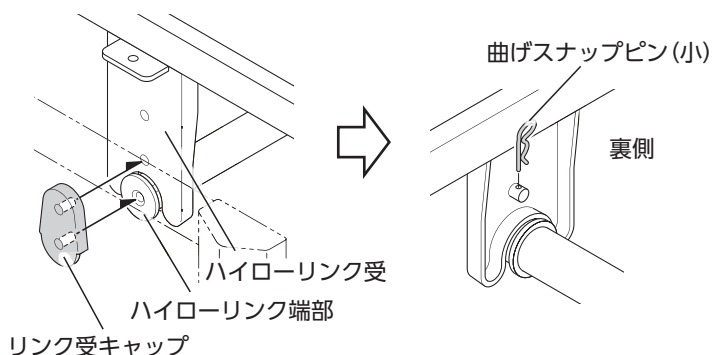


3 リンク受キャップの取付け **背・ひざ・高**・

背・高・**高**・**背** (高さモーター付き)

4ヶ所すべてのリンク受キャップがはまり、裏側に曲げスナップピン (小) が確実に差込まれていますか? (4ヶ所)

- はい
 いいえ → 86ページ参照



4 ハイローアクチュエーターと足側フレームのブラケットの連結

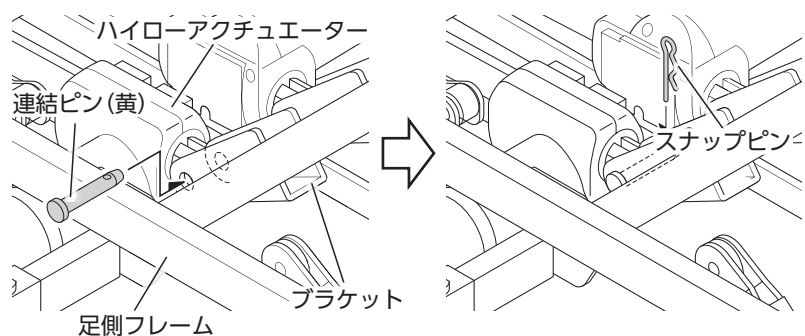
背・ひざ・高 ・ 背・高 ・ 高 ・

背 (高さモーター付き)

連結ピン (黄) にスナップピンが確実に差込まれていますか?

はい

いいえ → 87ページ参照

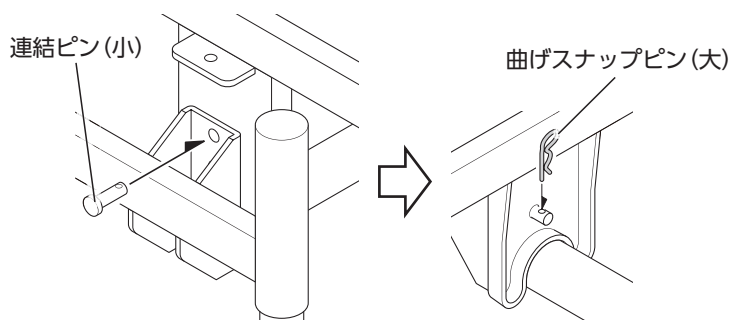


5 ハイローリンク受の固定 (背)

連結ピン (小) に曲げスナップピン (大) が確実に差込まれていますか? (4ヶ所)

はい

いいえ → 88ページ参照

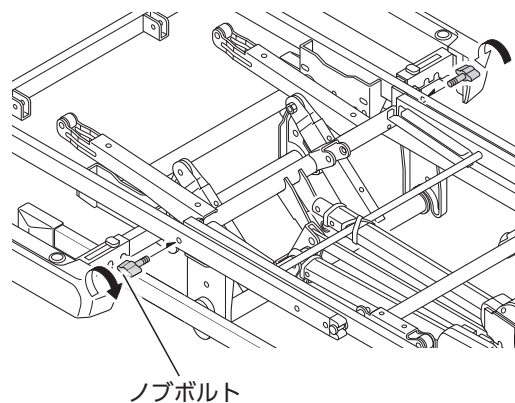


6 頭側フレームと足側フレームの固定

頭側フレームと足側フレームともにノブボルトで確実に締付けられていますか? (左右各1ヶ所)

はい

いいえ → 89ページ参照

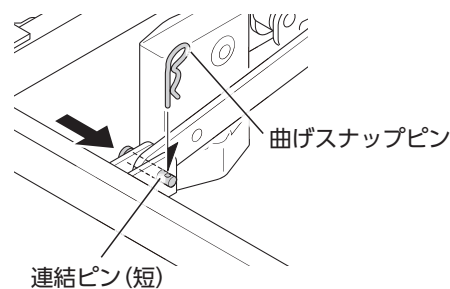


7 リトラフレームと頭側フレームのブラケットの固定

連結ピン (短) に曲げスナップピンが確実に差込まれていますか?

はい

いいえ → 98ページ参照



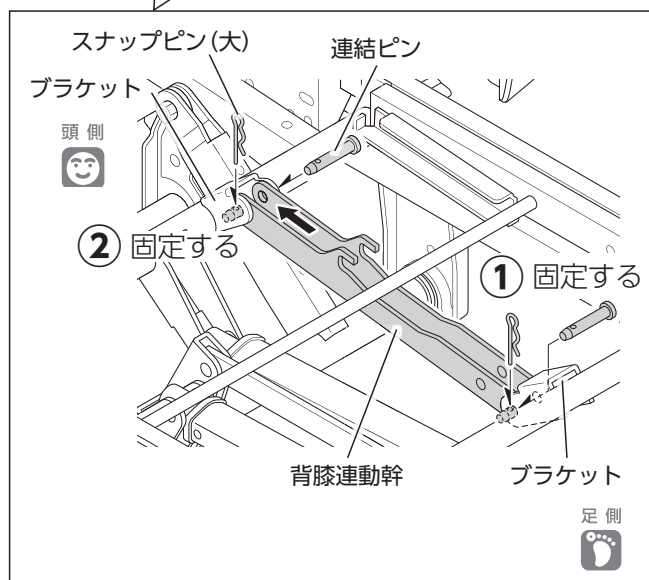
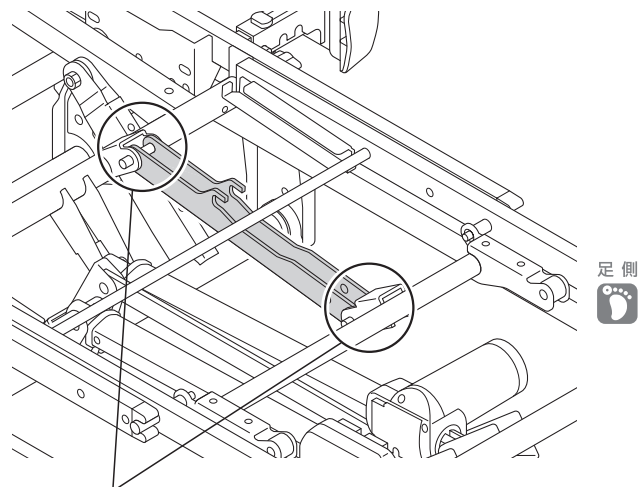
4 組立後の点検

8 背膝連動幹の取付け 背・高・背

- 連結ピンにスナップピン（大）が確実に差込まれていますか？（2ヶ所）
- 背膝連動幹が手元スイッチコードの上を通っていますか？

はい

いいえ → 94ページ参照



9 コード類の傷

プラグやコード類に傷などありませんか？

はい

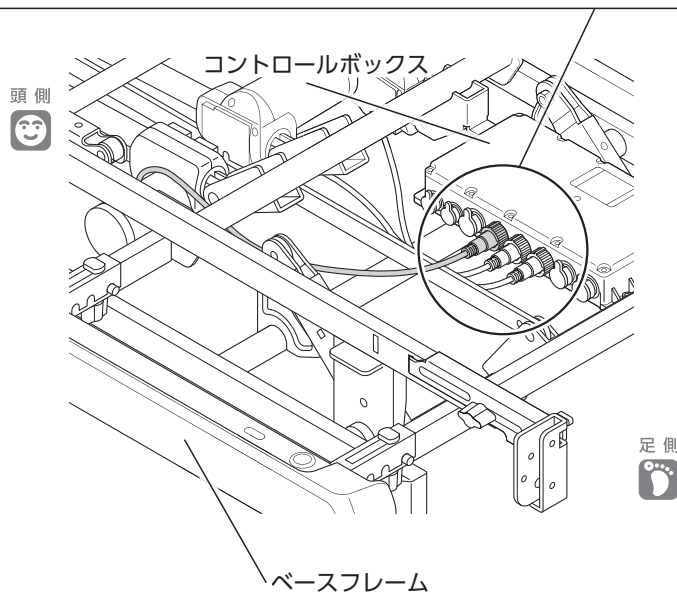
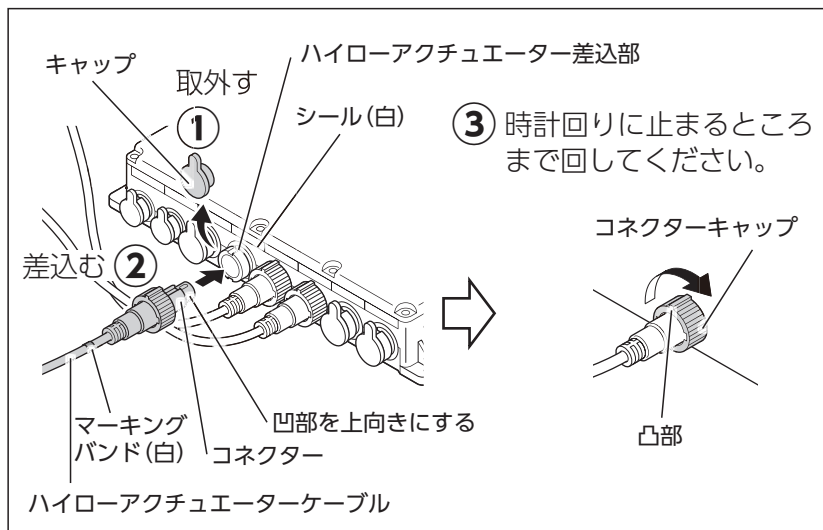
いいえ → 販売店またはパラテクノコールセンター（116ページ参照）へ連絡

10 ハイローアクチュエーターと
コントロールボックスの配線

- ケーブルが正しく配線されていますか？
- コネクターキャップの凸部が真上にきていますか？

はい

いいえ → 91ページ参照



4 組立後の点検

4

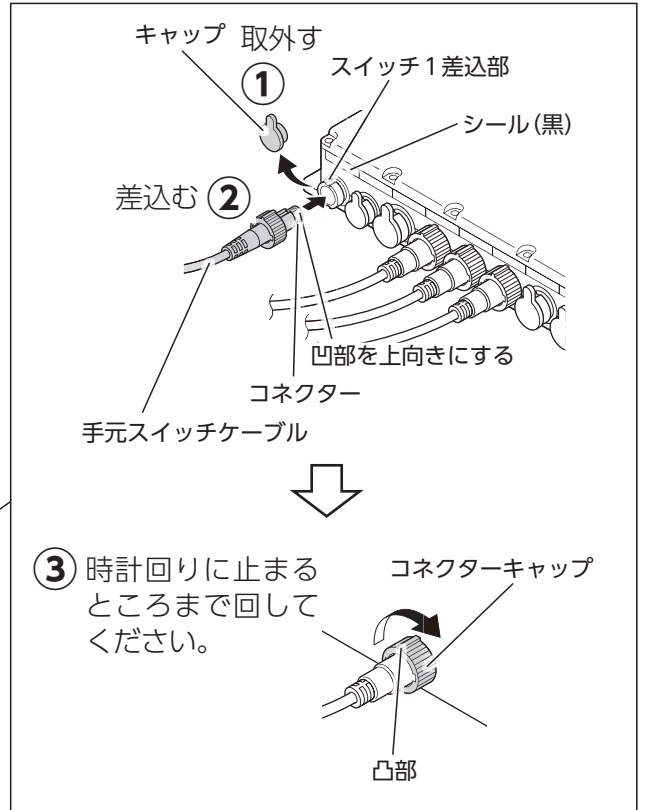
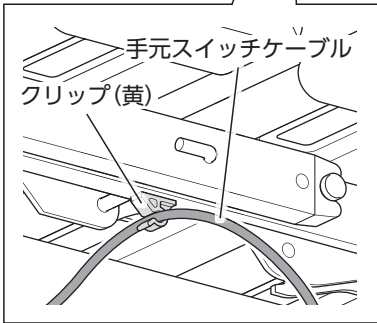
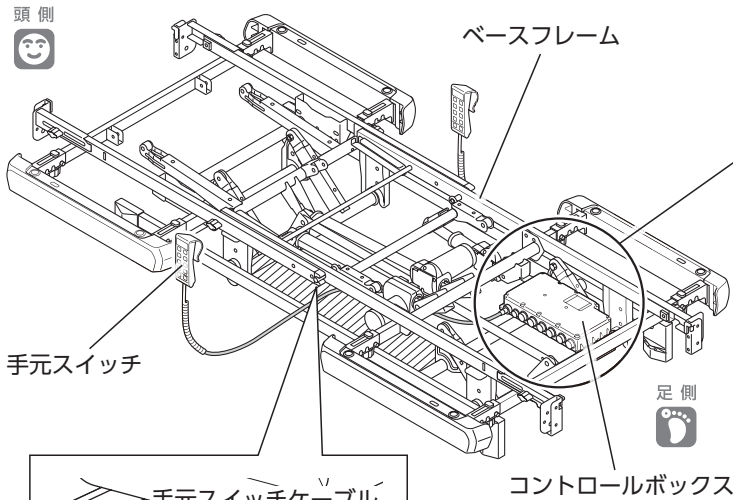
組立後の点検

11 手元スイッチコードの配線

- ケーブルが正しく配線されていますか？
- コネクターキャップの凸部が真上にきていますか？
- クリップ (黄) に固定されていますか？

はい

いいえ → 93ページ参照

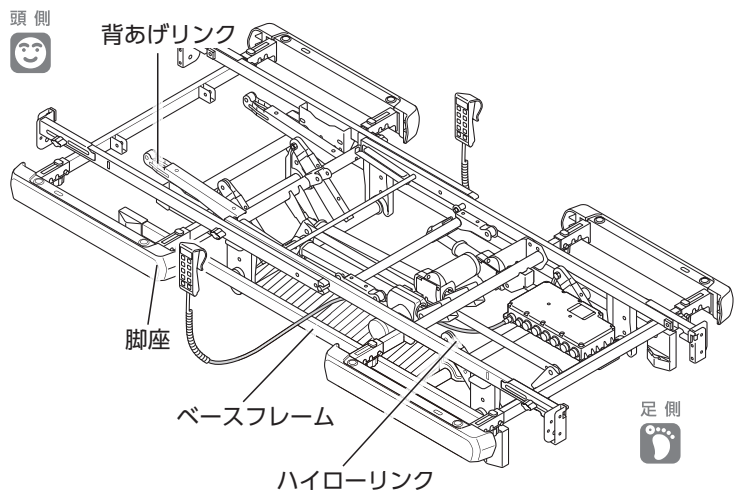


12 手元スイッチコードの確認

- 手元スイッチコードはベースフレームの角パイプの上側を通過していますか？
- ベッドの可動部に接触していませんか？
- 脚座・脚・キャスターなどで踏んでいませんか？

はい

いいえ → 93ページ参照

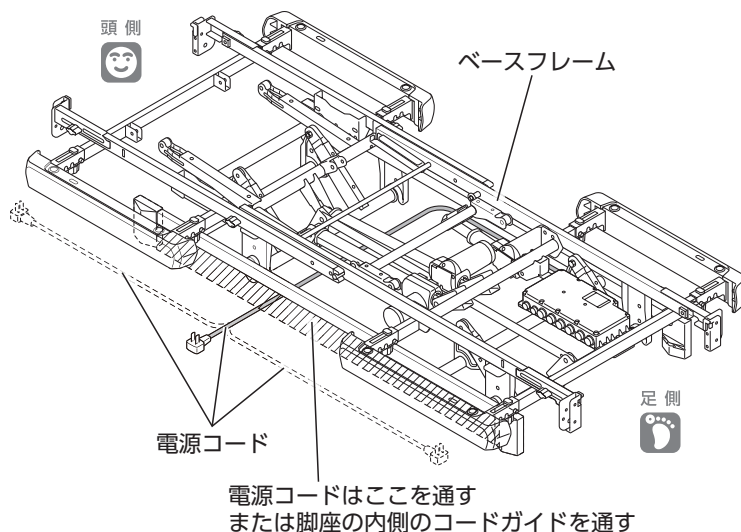


13 電源コードの確認

- ベースフレームの角パイプの下側を
通っていますか？
- ベッドの可動部に接触していませんか？
- 脚座・脚・キャスターなどで踏んで
いませんか？
- ベッドの内側にコードのたるみがありま
せんか？

はい

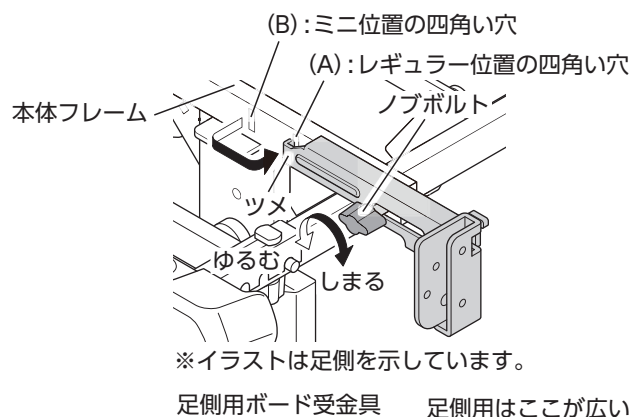
いいえ → 92ページ参照

14 ボード受金具の調節
(頭側左右各1ヶ所、足側左右各1ヶ所)

- ボトム長さにあった位置に取付けられていま
すか？
- 頭側用/足側用が正しく取付けられていますか？
- ノブボルトで確実に締付けられていますか？

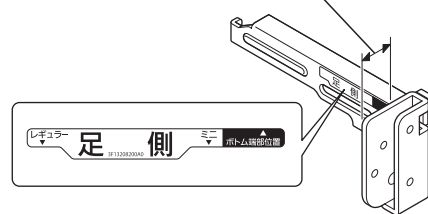
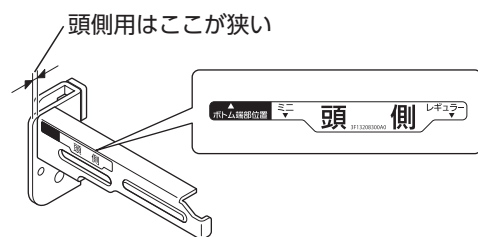
はい

いいえ → 96ページ参照



足側用ボード受金具 足側用はここが広い

頭側用ボード受金具



4 組立後の点検

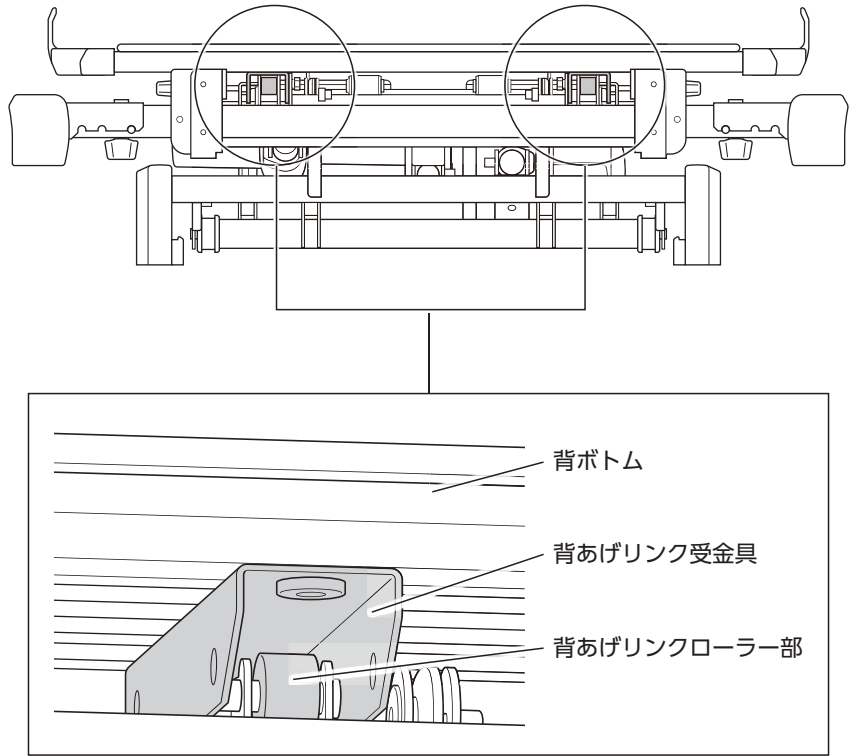
4

組立後の点検

15 背ボトムの取付け

左右の背あげリンク
ローラー部分が、背ボトムの
背あげリンク受金具の
内側の位置に入っていますか？

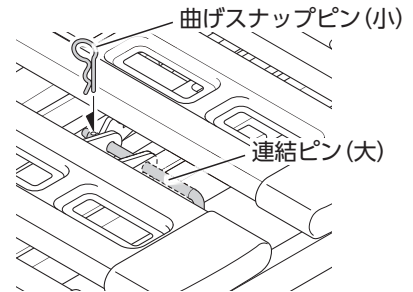
- はい
 いいえ → 98ページ参照



16 腰ボトムと膝・足ボトムの取付け

連結ピン (大) に曲げスナップピン (小) が確実に
差込まれていますか？ (左右各1ヶ所)

- はい
 いいえ → 100ページ参照



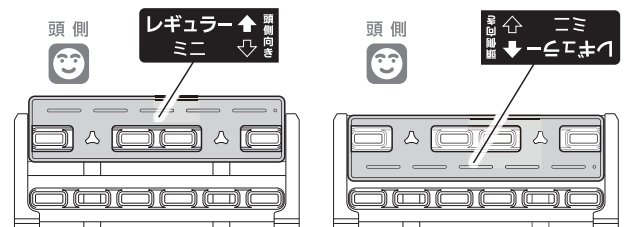
17 背ボトム長さの切換え

- 回転式金具のノブボルトが確実に
締付けられていますか？ (2ヶ所)
- 回転式金具がベッドの長さにあった
向きに取付けられていますか？

- はい
 いいえ → 101ページ参照

【レギュラーの場合】

【ミニの場合】

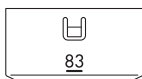


18 ボトム幅の切換え

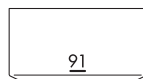
- ボトムエッジ (小) が外れないように奥まで差込まれていますか? (片側4ヶ所ずつ、合計8ヶ所)
- ボトムエッジ (小) が幅にあった向きに取付けられていますか?

切換えたいサイズの刻印が上側になるように取付けてください。

幅83cm

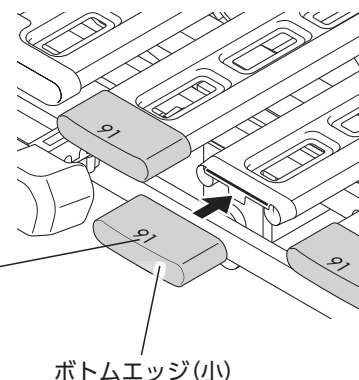


幅91cm



はい

いいえ → 102ページ参照



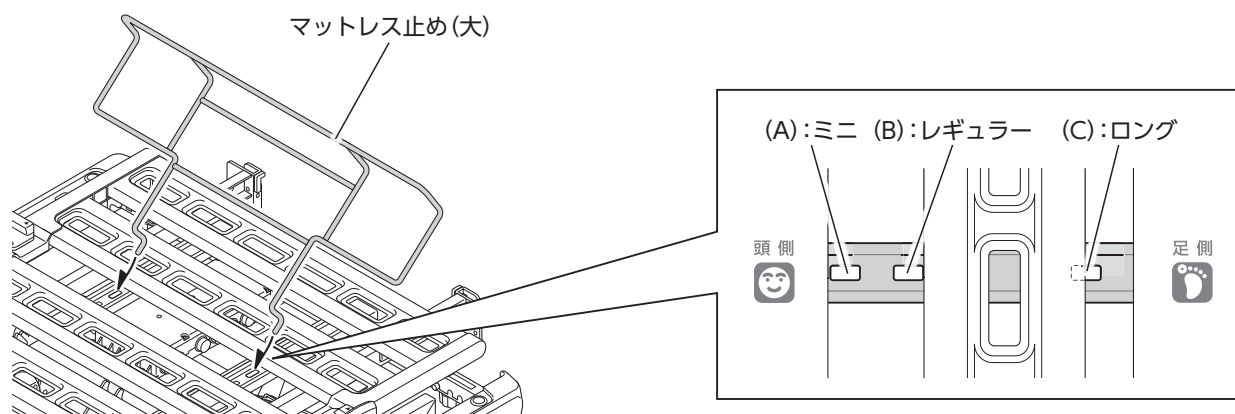
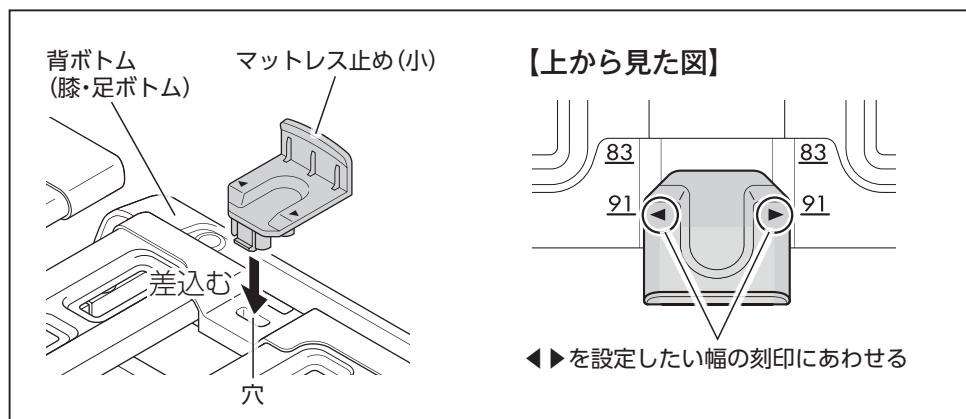
ボトムエッジ(小)

19 マットレス止めの取付け

- ボトムにしっかりと取付けられていますか?
- マットレス止め (小) は幅にあった位置に取付けられていますか? (4ヶ所)
- マットレス止め (大) はベッドサイズにあった位置に取付けられていますか?

はい

いいえ → 103・104ページ参照



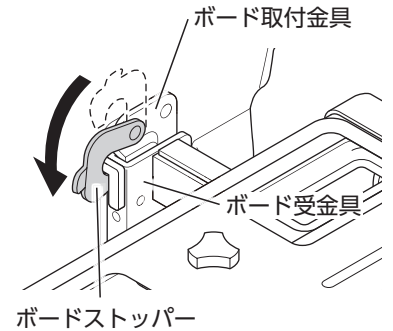
4 組立後の点検

20 ボードの取付け状況の確認 (頭側・足側)

- ボード取付金具がボード受金具にしっかりと入っていますか？
(頭側2ヶ所・足側2ヶ所)
- ボードストッパーがボード受金具の段差に確実に掛かっていますか？ (頭側2ヶ所・足側2ヶ所)
- いちじるしいがたつきがないですか？

はい

いいえ → 105ページ参照



21 手元スイッチの確認

- 電源プラグをコンセントに差し込むと手元スイッチの電源ランプが緑色に点灯しますか？
- 操作ボタンを押すと、操作選択ランプが点灯し、表示パネルに「On」が表示されますか？
(自動オフ設定が「有効」の場合のみ)

はい

いいえ → 21ページ参照

22 操作時の確認

手元スイッチで「らくらくモーション」「背あげ」「膝あげ」「高さ調節」の操作を最大まで行ったとき、以下の異常がありませんか？

異常なし

異常音がある → 販売店またはパラテクノコールセンター (116ページ参照) へ連絡
※場所や状態によってはお客様で注油を行うことができます。

動作しない (電源ランプが点滅する) → 65・66ページ参照

ベッドが家具などに当たる → ベッドを移動するか、障害物を取除いてください。

23 ベッド・電装品の傷や変形

- ボトムやフレームなどに、傷や変形がありませんか？
- 手元スイッチに、傷や破損がありませんか？

ない

ある → 販売店またはパラテクノコールセンター (116ページ参照) へ連絡

24 ラベルのはがれ

ラベルがはがれたり、文字が見えなくなったりしていませんか？

いいえ

はい（はがれている・文字が見えない） → 販売店またはパラテクノコールセンター（116ページ参照）へ連絡

25 ベッドのすべり

ベッドを前後・左右から押したとき、容易にすべりませんか？

すべらない

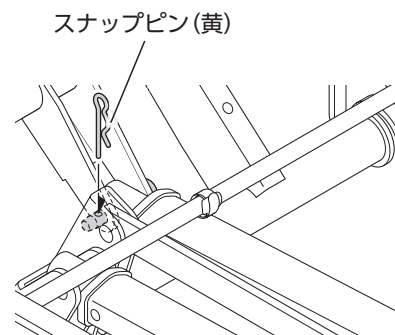
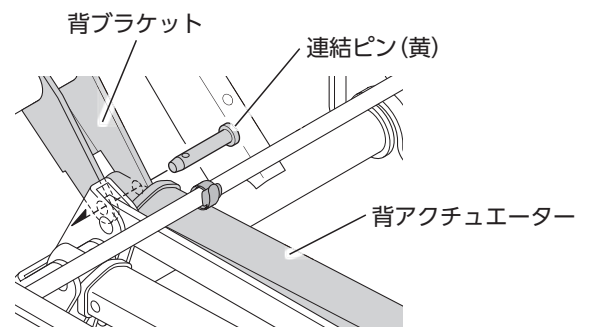
すべる → 脚座や脚の下に敷物や脚座ゴムシートKQ-P732（別売）などを敷いてください。

26 背アクチュエーターの確認

背アクチュエーターの連結ピン（黄）にスナップピン（黄）が確実に差込まれていますか？

はい

いいえ → 販売店またはパラテクノコールセンター（下記参照）へ連絡



調整・点検が必要な場合は、お買い上げの販売店またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

パラテクノコールセンター ☎ **0120-54-8639**

【受付時間】 平日8:00～18:00 / 土・日・祝日9:00～17:00（年始は休業いたします）

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは130ページの「アフターサービス」をご覧ください。

5 ベッドの分解方法

■ベッドの分解は、販売店に依頼することをおすすめします。万一、ご自分で行う場合は以下の手順に従ってください。

注意

- ベッドの分解は手順に従って行ってください。手順どおりに行わないと、コード類が断線したり、ベッドが破損・変形したりするおそれがあります。
- キャスター (KQ-PB3C・KQ-PB1C) を使用している場合は、キャスター (KQ-PB3C・KQ-PB1C) を固定状態 (回転・旋回しない状態) にしてから作業を行ってください。固定状態になっていないと、分解作業中にベッドが動いて思わぬけがをすることおそれがあります。

1. 分解作業前の準備



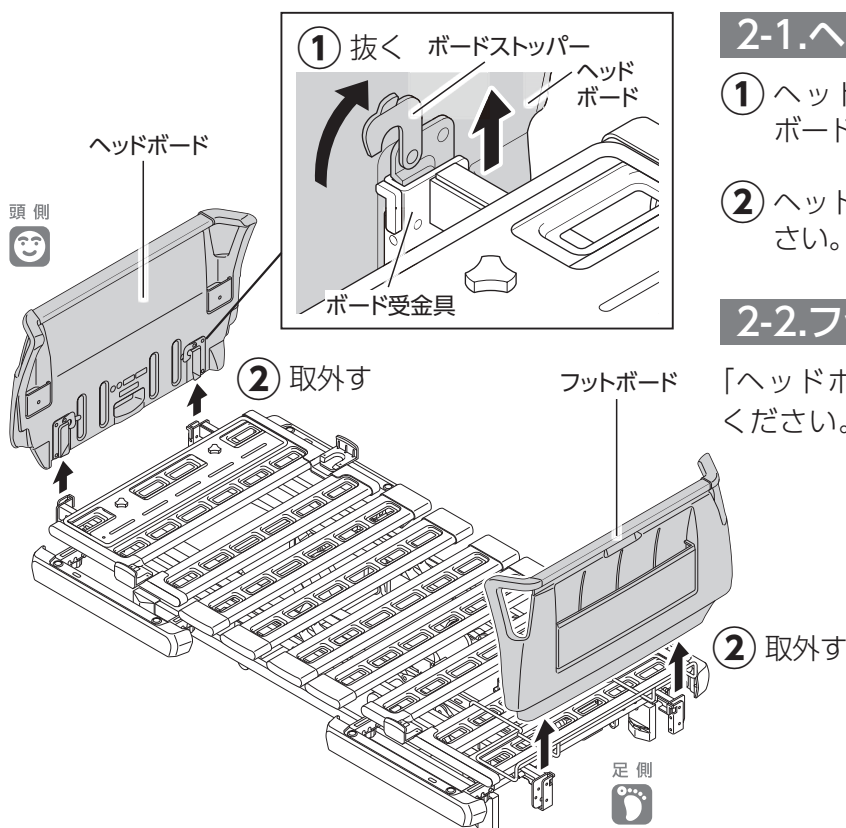
取外した連結ピン・スナップピンなどは、紛失しないように保管してください。

- ① キャスター (KQ-PB3C・KQ-PB1C) を取付けている場合は、ストッパーを固定状態にしてください。
- ② ベッドのオプション (ベッドサイドレール・ベッド用グリップなど) をベッドから取外してください。
- ③ 寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。
- ④ 電源プラグをコンセントに差込んでください。
- ⑤ ベッドの高さを最低高さまでさげてください。
- ⑥ 背ボトムと膝・足ボトムを水平にしてください。
- ⑦ 電源プラグをコンセントから抜いてください。

警告

ベッドの分解は、ベッド高さを最低高さまで下げた状態で行ってください。ベッドがあがった状態で分解しますと、部品の落下などにより思わぬけがをしたり、故障したりするおそれがあります。

2.ヘッドボードとフットボードの取外し



2-1.ヘッドボードの取外し

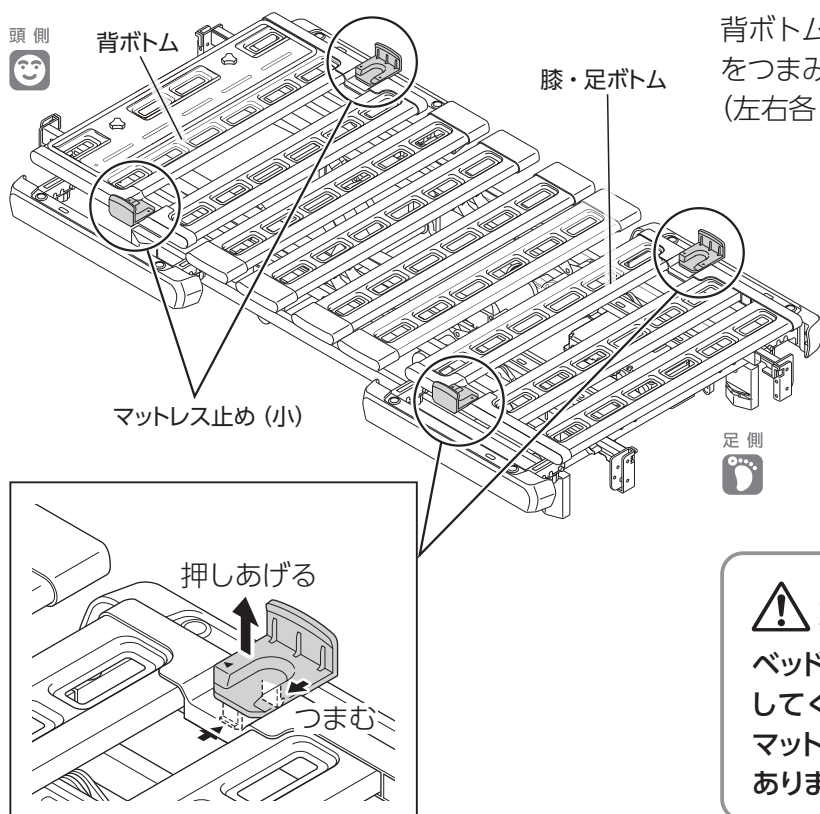
- ① ヘッドボードの左右のボードストッパーを、ボード受金具から抜いてください。(固定の解除)
- ② ヘッドボードを真上に持ちあげて取外してください。

2-2.フットボードの取外し

「ヘッドボードの取外し」と同じ要領で取外してください。

3.マットレス止めの取外し

3-1.マットレス止め(小)の取外し



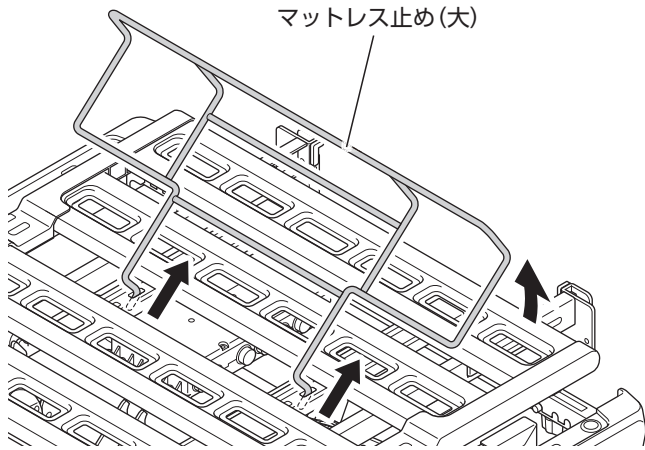
背ボトムと膝・足ボトムのマットレス止め(小)の下部をつまみながら押しあげてください。
(左右各2ヶ所:計4ヶ所)

注意

ベッドの分解時は、マットレス止め(小)を取外してください。身体をぶつけてけがをしたり、マットレス止め(小)が破損したりするおそれがあります。

5 ベッドの分解方法

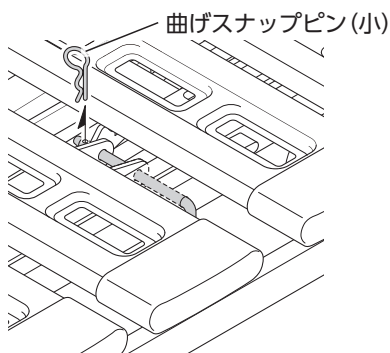
3-2. マットレス止め (大) の取外し



マットレス止めの取付け部を左右から少し押しながら、穴に引っ掛かっている部分を持ち上げて外してください。

4. ボトム の取外し

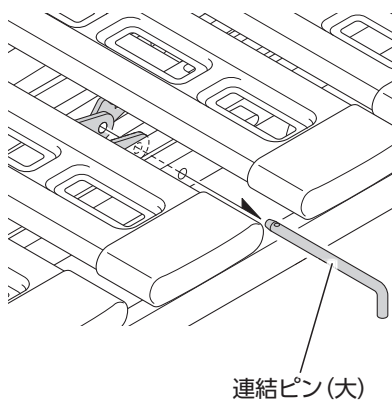
4-1. 膝・足ボトムの取外し



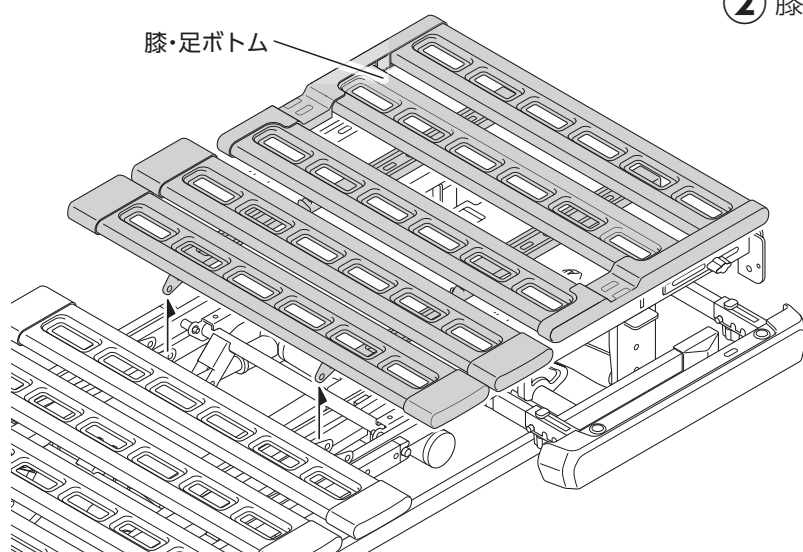
- ① 曲げスナップピン (小) を抜いて、腰ボトム、膝・足ボトムと頭側フレーム・足側フレームを連結している連結ピン (大) を抜き取ってください。(左右各1ヶ所)



取外した連結ピン (大) ・曲げスナップ (小) ピンは紛失しないように保管してください。

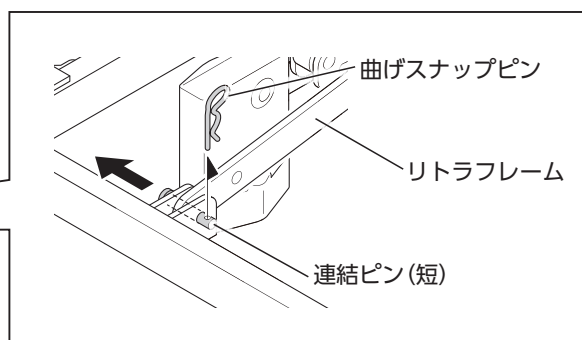
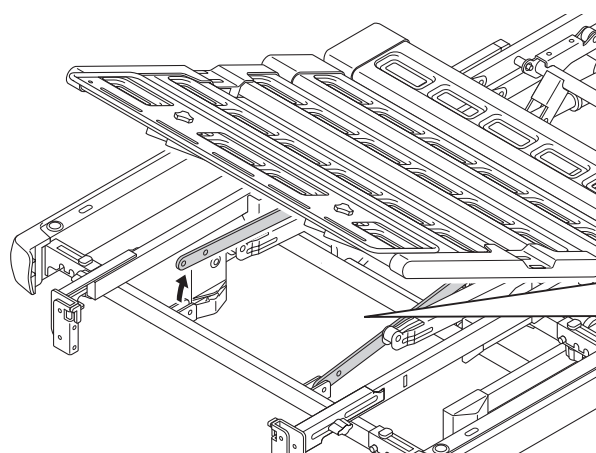


② 膝・足ボトムを取外してください。

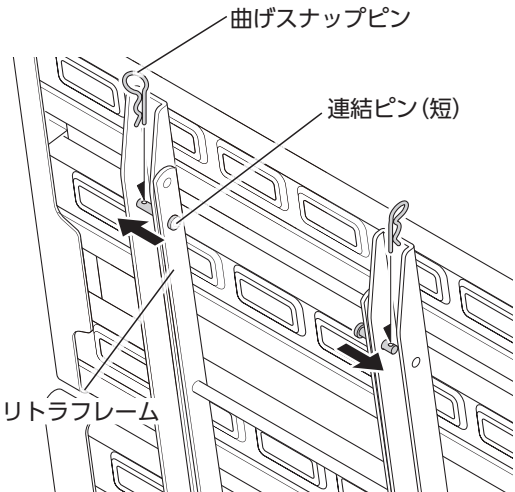


4-2.背ボトムの取外し

① リトラフレームの先端を固定している連結ピン(短)・曲げスナップピンを取外してください。



5 ベッドの分解方法

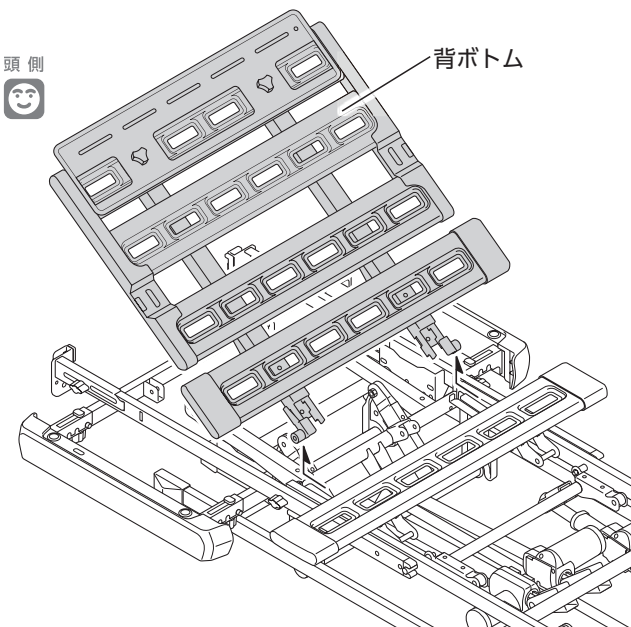


- ② ①で取外した連結ピン(短)を使用して、リトラフレームを背ボトムに取付けてください。(左右各1ヶ所)



連結ピン(短)は外側から内側へ差込んでください。

- ③ 連結ピン(短)に、①で取外した曲げスナップピンを差込み固定してください。

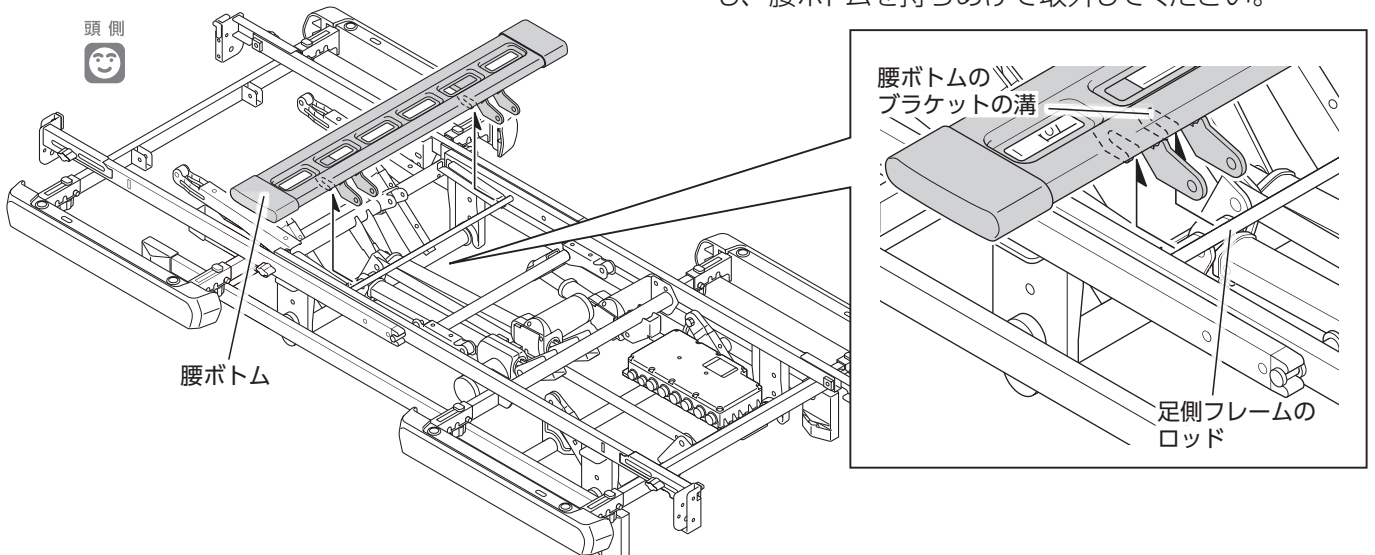


- ④ 背ボトムを起し、頭側に向けて、止まるまで平行にスライドさせてください。

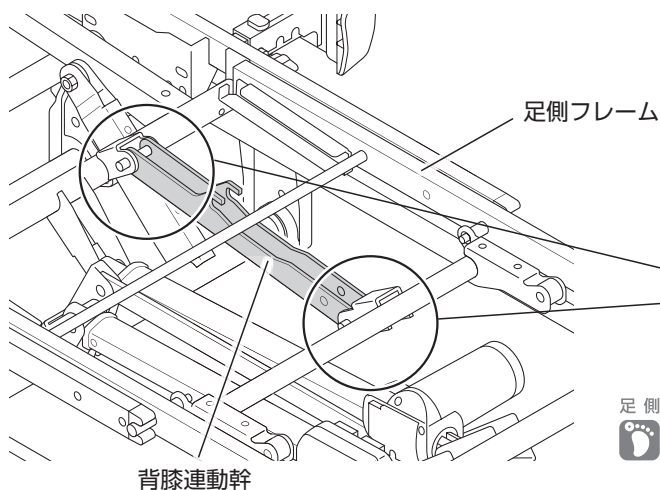
- ⑤ 背ボトムを斜め上に持ちあげて取外してください。

4-3.腰ボトムの取外し

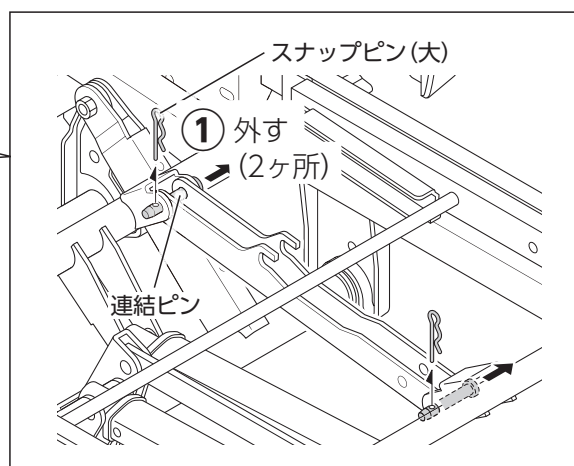
図のように腰ボトムを頭側にずらすようにして、腰ボトムのブラケットの溝を足側フレームのロッドから外し、腰ボトムを持ち上げて取外してください。



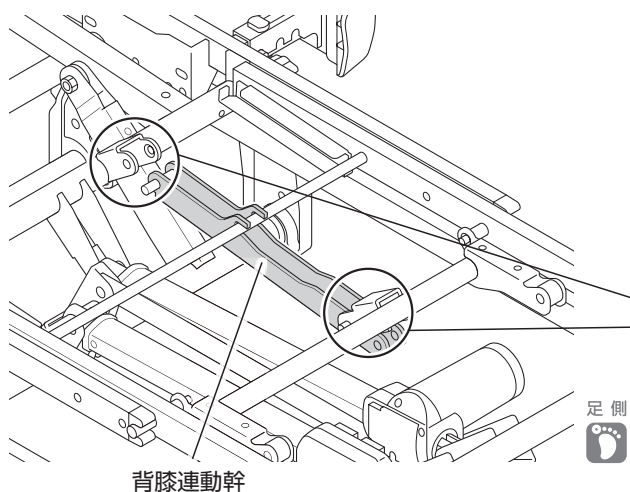
5.背膝連動幹の付替え (背・高 ・ 背のみ)



- ① 頭側・足側フレームと背膝連動幹を固定している連結ピン (2ヶ所) のスナップピン (大) を抜き、連結ピン (2ヶ所) を抜いてください。背膝連動幹が外れます。

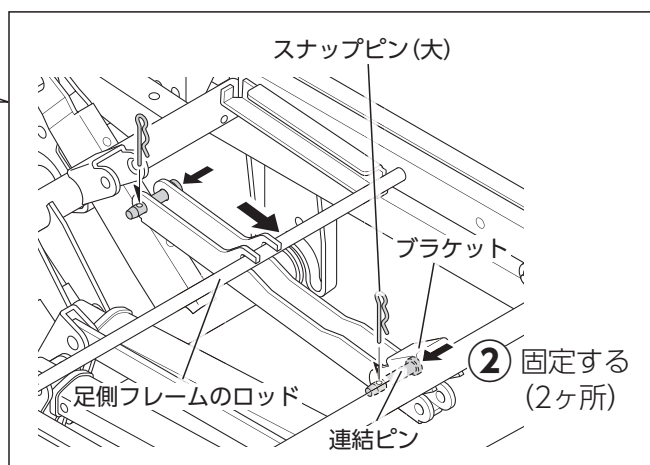


連結ピンを外すときは、背膝連動幹を手で支えてください。



- ② 背膝連動幹を足側フレームのロッドに引っ掛け、①で外した連結ピンとスナップピン (大) でブラケットに固定してください。

※頭側は穴に連結ピンとスナップピン (大) を取付けるのみ。



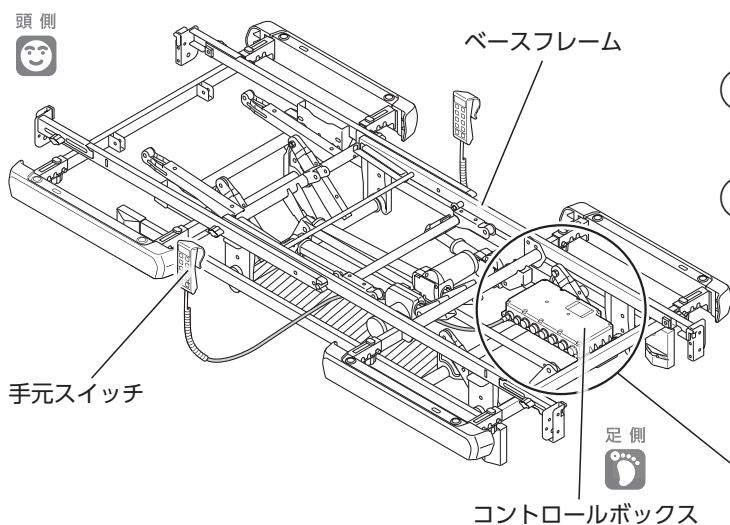
5 ベッドの分解方法

6. ケーブル・コード類の配線の取外し

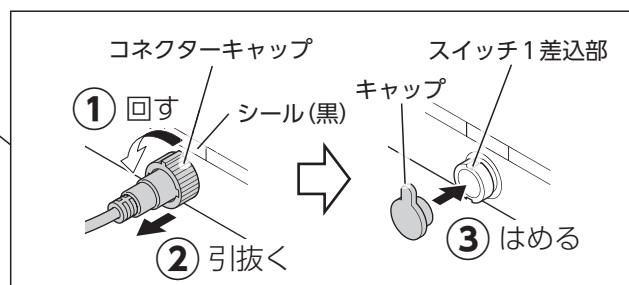
⚠ 注意

コネクタ部を落としたり、衝撃を加えたり、はさんだりしないでください。コネクタ部が破損するおそれがあります。

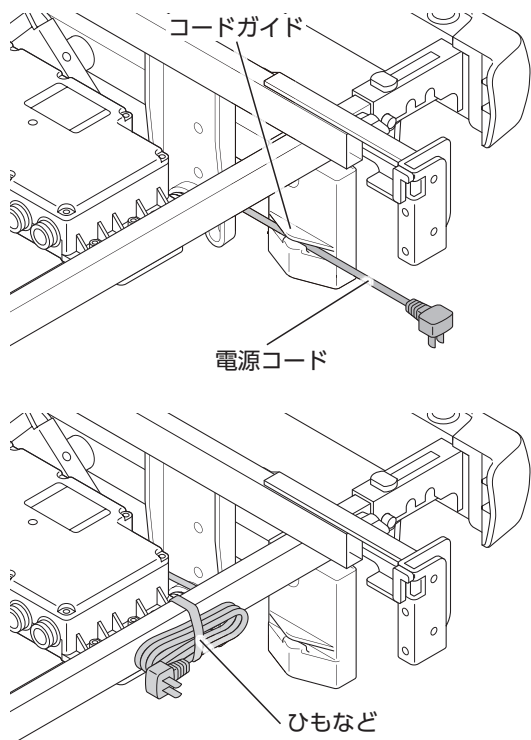
6-1. 手元スイッチコードの配線の取外し



- ① 手元スイッチのコネクタキャップを反時計回りに回してください。
- ② コントロールボックスのスイッチ1差込部（シール：黒）からコネクタを引き抜いてください。
- ③ 保管しているキャップを、コントロールボックスのスイッチ1差込部（シール：黒）にはめてください。

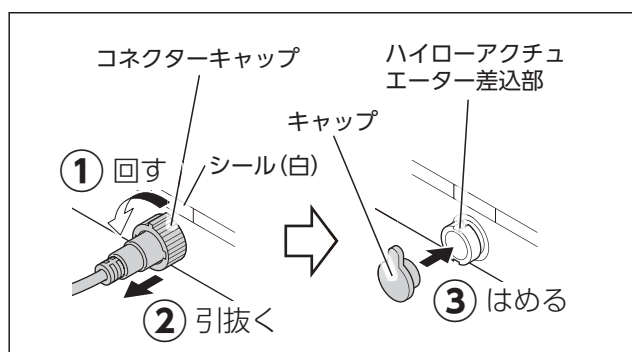


6-2. 電源コードの配線の取外し

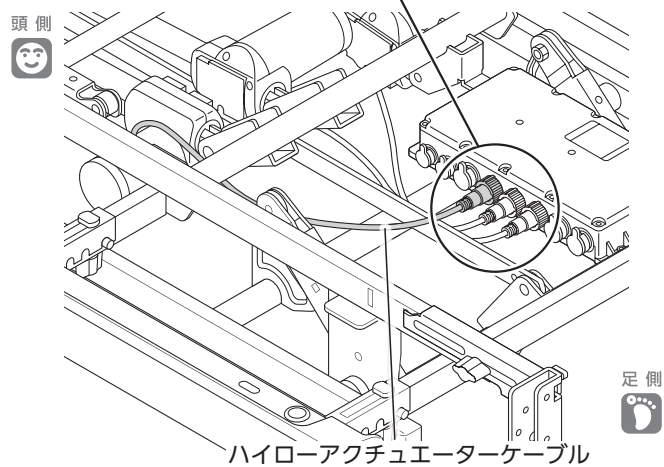


- ① 電源コードをコードガイドにはめ込んでいる場合は、電源コードを上にあげながら引き抜いてください。
- ② 電源コードをまとめ、足側フレームにひもなどで固定してください。

6-3.ハイローアクチュエーターの配線の取外し



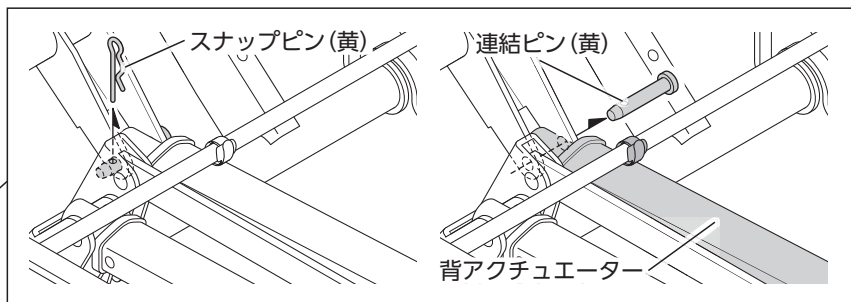
- ① ハイローアクチュエーターのコネクターキャップを反時計回りに回してください。
- ② コントロールボックスのハイローアクチュエーター差込部 (シール：白) からコネクターを引き抜いてください。
- ③ 保管しているキャップを、コントロールボックスのハイローアクチュエーター差込部 (シール：白) にはめてください。



5 ベッドの分解方法

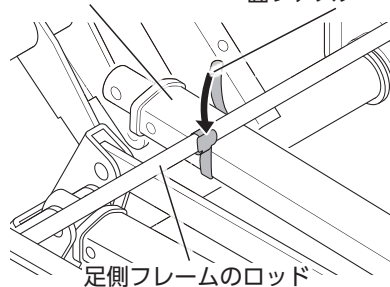
7. 頭側フレームの取外し

- ① 背アクチュエーターの先端を持ちながら、背アクチュエーター先端のスナップピン (黄) を抜いて、足側フレームと連結している連結ピン (黄) を取外してください。



- ② 背アクチュエーターを面ファスナーで足側フレームのロッドに固定してください。

背アクチュエーター 面ファスナー

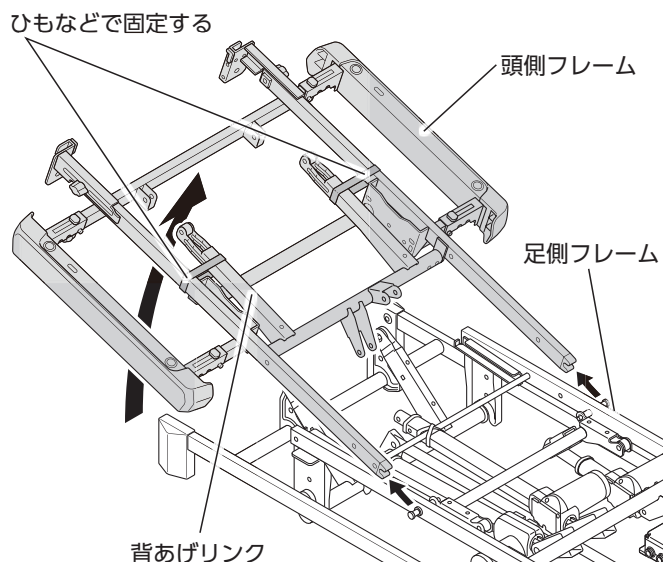
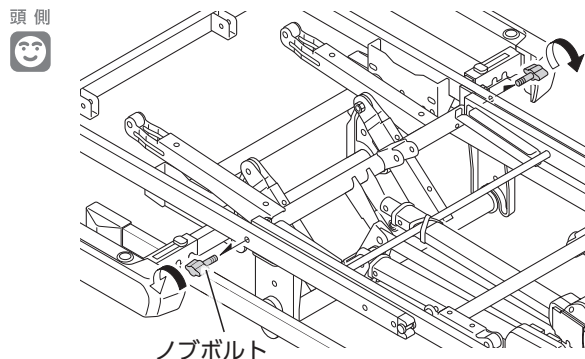
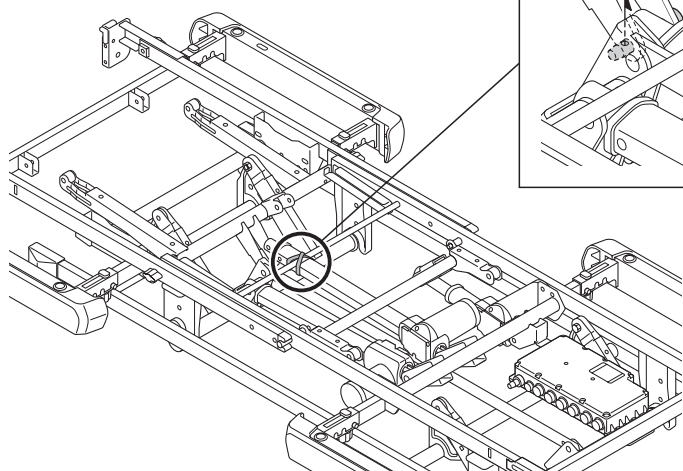


- ③ 頭側フレームと足側フレームを固定しているノブボルトを、取外してください。(左右各1ヶ所)



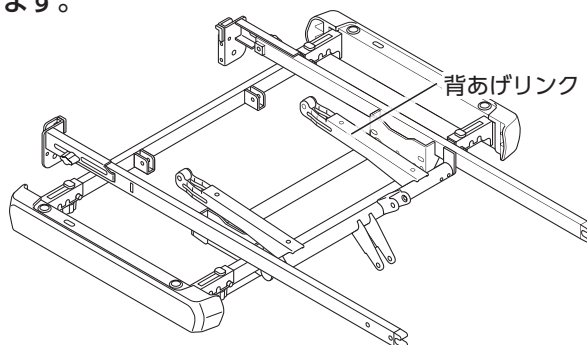
取外したノブボルトは紛失しないように保管してください。

- ④ 背あげリンクが動かないように、ひもなどで固定してください。
- ⑤ 頭側フレームを足側フレームから取外してください。



注意

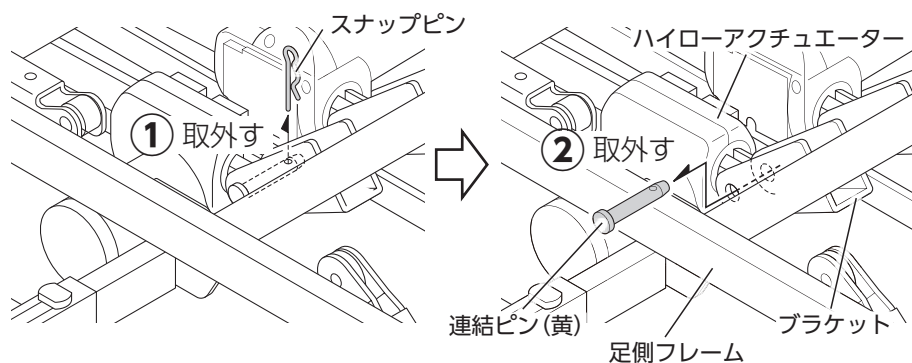
分解や持ち運びをするときは、背あげリンクを持たないでください。けがや破損の原因となります。



8. 足側フレームの取外し

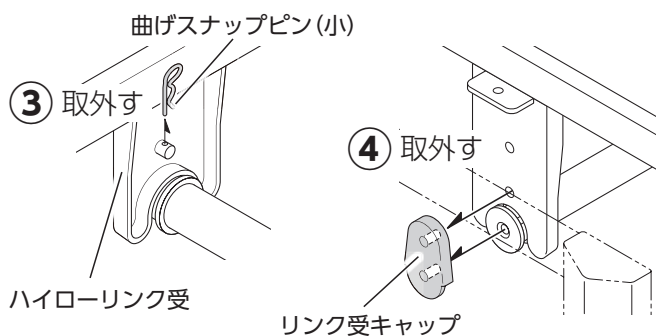
〈スナップピンの抜きかた〉

- ペンチ、プライヤー（小）ではさんで引っ張るかわりに、ライバーの先で引っ掛けると取外しが容易です。

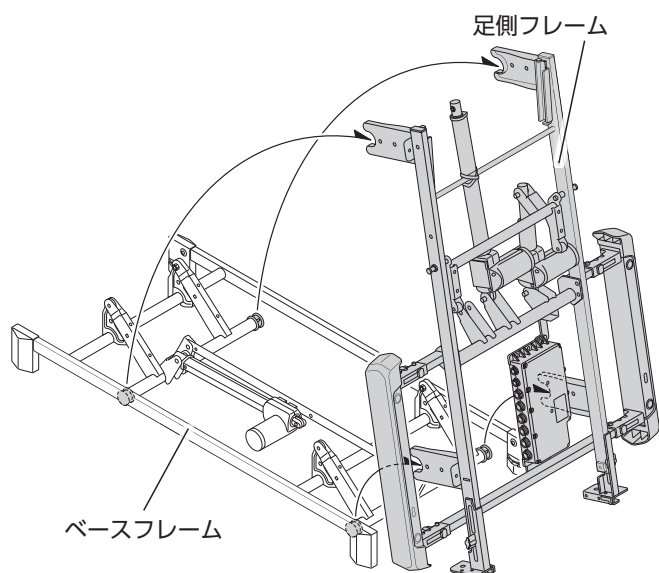
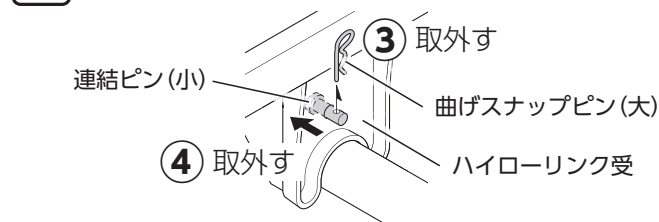


取外した連結ピン（黄）・スナップピンは手順⑥⑦で使用します。

背・ひざ・高 ・ 背・高 ・ 高 ・ 背 (高さモーター付き)



背



- ① ハイローアクチュエーター先端のスナップピンを抜いてください。
- ② 足側フレームのブラケットと連結している連結ピン（黄）を取外してください。

- ③ ハイローリンク受裏側の曲げスナップピン（小）または曲げスナップピン（大）を取外してください。（4ヶ所）
- ④ リンク受キャップまたは連結ピン（小）を取外してください。（4ヶ所）



取外したリンク受キャップ、連結ピン（小）、曲げスナップピン（小）、曲げスナップピン（大）は紛失しないように保管してください。

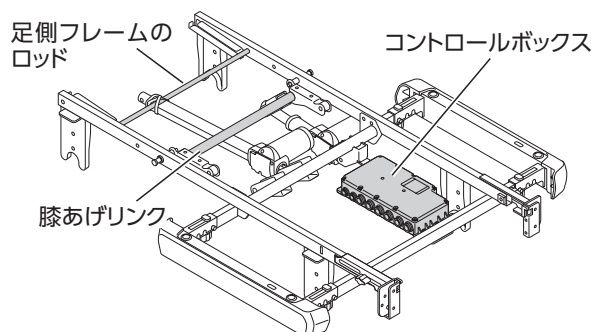
- ⑤ 図のように足側フレームを持ちあげ、ベースフレームから取外してください。



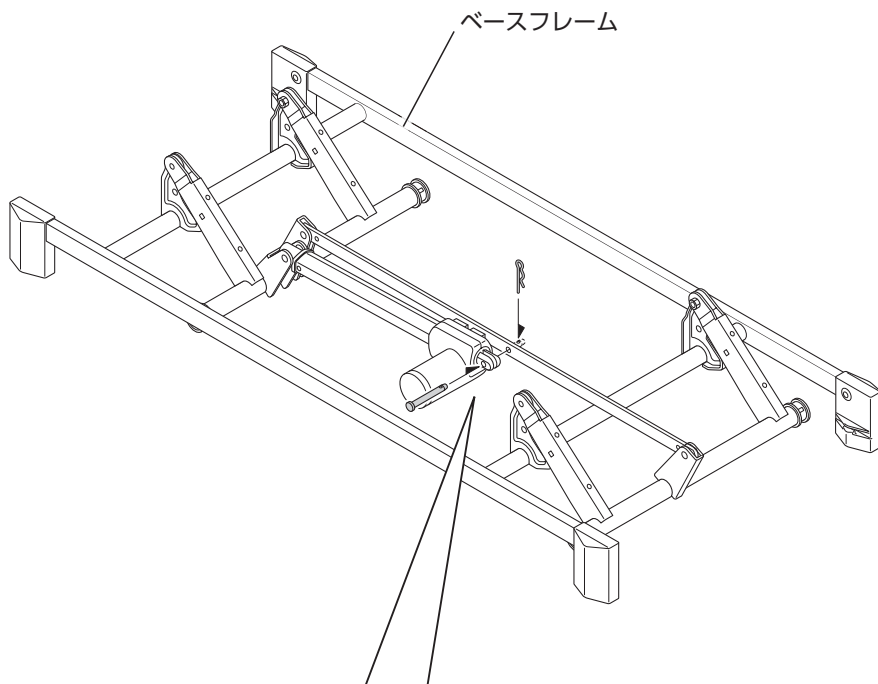
ベースフレームから足側フレームを取外す際には、電源コード、手元スイッチコードがベースフレームに引っ掛からないように注意してください。

注意

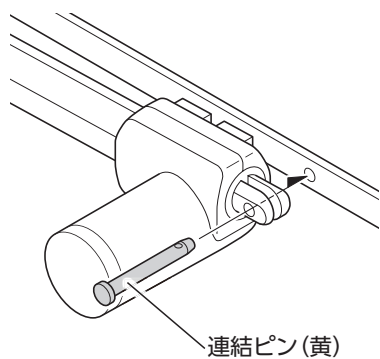
膝あげリンクや足側フレームのロッド、コントロールボックス周辺部を持たないでください。けがや破損の原因となります。



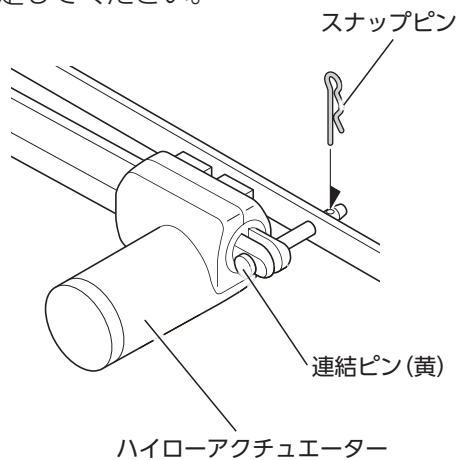
5 ベッドの分解方法



⑥ ハイローアクチュエーターとベースフレームを連結ピン(黄)で連結してください。



⑦ 連結ピン(黄)の穴にスナップピンを差し込み固定してください。



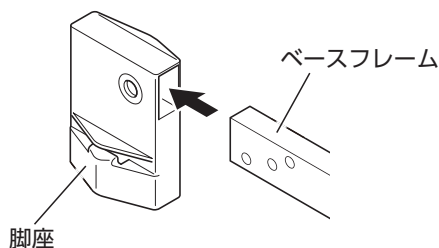
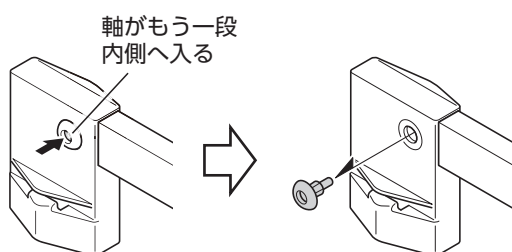
手順①②で取外した連結ピン(黄)・スナップピンを使用します。

9.脚座の取外し **背・ひざ・高** ・ **背・高** ・ **高** ・ **背** (高さモーター付き)

■ベースフレームから脚座を取外して保管したい場合や、キャスターを使用したいときは、下記の手順で脚座を取外してください。

注意

ベースフレームから脚座を取外すときは、ベッドを分解してベースフレームのみの状態にしてから作業を行ってください。バランスを崩してけがをしたり、ベッドが破損するおそれがあります。



- ① 脚座を固定しているプッシュリベットの軸を「カチッ」と音がするまで、指で押込んで固定を解除してください。

※指で押込めない場合は、押し込み過ぎないように注意しながらドライバーなどで軽く押し込んでください。

- ② プッシュリベットを脚座から取外してください。

- ③ 脚座をベースフレームから取外してください。(4ヶ所)



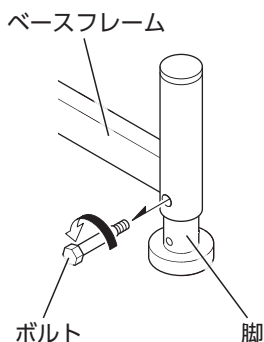
脚座とプッシュリベットは、紛失しないよう袋などに入れて保管してください。

※脚座を再度取付ける際は、プッシュリベットの軸を押し出してから使用してください。



10.脚の取外し **背**

■ベースフレームから脚を取外して保管したい場合や、キャスターを使用したいときは、下記の手順で脚を取外してください。



- ① ベースフレームの脚のボルトを取外してください。

- ② 脚をベースフレームから取外してください。(4ヶ所)



脚とボルトは、紛失しないよう袋などに入れて保管してください。

5 ベッドの分解方法

11. 付属部品と分解したユニットの保管

■付属品、組立付属部品、その他部品の保管

ベッドを分解した後、本取扱説明書および組立付属部品、その他の部品を袋などに入れて保管してください。

※付属部品とユニットの詳細につきましては、74～79ページの「**2** 梱包部品の確認」を参照してください。

アフターサービス

1. 保証書

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

販売店名・お買い上げ日の記入が無い場合は、品番・販売店・お買い上げ日が確認できるように、製品をお買い上げの領収書などを保証書と一緒に保管してください。

2. 修理を依頼される時

取扱説明書の65・66ページ「**故障かな?と思ったら**」に従って調べてください。それでも直らないときは、ベッドの電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社製品の修理受付窓口であるパラテクノコールセンター（右記参照）までご連絡ください。

■ 連絡していただきたい内容

- 品名、品番、製品識別表示ラベルの番号（ラベルの貼付位置は74～78ページ参照）
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- お名前、ご住所および電話番号

■ 消耗部品について

- 手元スイッチは消耗部品です。

保証期間内のとき

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理により使用できる製品については、ご希望により有償で修理いたします。

3. 部品の最低保有年数

弊社ではこのベッドの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間を製造打ち切り後8年としております。

4. アフターサービスについて ご不明な場合

お買い上げの販売店、またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

パラテクノコールセンター

フリーダイヤル **0120-54-8639**

受付時間：平日8:00～18:00

土・日・祝日9:00～17:00

（年始は休業いたします）

【パラテクノ株式会社について】

弊社製品の修理や保守点検などの各種サービスを実施する会社です。

<パラマウントベッド 株式会社>

本社	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎(03)3648-1111(大代)
東京支店	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎(03)3648-1171(代)
札幌支店	〒060-0062	札幌市中央区南2条西13丁目318番地11	☎(011)271-1181(代)
仙台支店	〒984-0015	仙台市若林区卸町2丁目3番地の3	☎(022)239-5211(代)
さいたま支店	〒336-0967	さいたま市緑区美園3丁目23番1	☎(048)878-0100(代)
横浜支店	〒194-0004	東京都町田市鶴間5丁目3番33号	☎(042)795-8800(代)
名古屋支店	〒461-0001	名古屋市東区泉1丁目20番17号	☎(052)963-0600(代)
大阪支店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀2丁目3番33号	☎(06)6443-8791(代)
高松営業所	〒761-8031	高松市郷東町223番1	☎(087)881-8900(代)
広島支店	〒733-0011	広島市西区横川町3丁目8番5号	☎(082)293-1311(代)
福岡支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号	☎(092)461-1131(代)



PARAMOUNT BED